

市民意識調査結果報告書

平成 2 9 年 3 月

澁 川 市

【目 次】

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査票の配布回収状況	1
4	標本誤差	1
5	グラフ中の表記	2
II	調査結果	3
○	回答者の属性について	3
1	性別	3
2	年代別	3
3	職業別	4
4	居住地区別	4
5	居住年数別	5
6	家族構成別	5
○	市政との関わりについて	6
問1	合併後のまちづくり	6
問2	合併後の市民サービス	8
問3	他の地区とのつながりが深まったと感じられるか	10
問4	市政の満足度	12
問5	今後の定住意識	13
○	総合計画について	14
問6	総合計画の認知度	14
問7	総合計画を知ったきっかけ	15
問8	総合計画の周知方法	16
○	これまでの市の取組に対する評価について	17
問9	市の取組に対する満足度と重要度	17
○	今後のよるまちづくりについて	46
問10	これからのまちづくりに期待する内容としてふさわしい言葉	46
問11	希望するまちの姿	49
問12	市民が取り組みたい活動	54
問13	自由意見	57
III	資料編	61
1	満足度重要度のマトリックス分析	61
2	平成23（2011）年度市民意識調査の満足度重要度との比較	70
3	市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による3区分比較	74
	【調査票】	87

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、第2次渋川市総合計画の策定に当たり、市民の本市に対する評価・意向や、今後のまちづくりへの意識を把握することを目的として実施しました。

2 調査方法

- (1) 調査地域 渋川市内
- (2) 調査対象 市内に居住する18歳以上の市民4,000人を無作為抽出
- (3) 調査方法 アンケート用紙による自記式アンケート
- (4) 調査時期 平成28(2016)年6月25日～平成28(2016)年7月8日
- (5) 配布回収方法 郵送による直接配布、直接回収

3 調査票の配布回収状況

- (1) 配布数 4,000通
- (2) 回収数 1,378通
- (3) 回収率 34.5%

4 標本誤差

この調査は、全体（母集団）の中から無作為抽出により4,000人（標本）を抜き出して結果を得る「標本調査」であるため、調査結果には一定の範囲で誤差（標本誤差）が出る可能性があります。

この調査の標本誤差は、次式によって得られます。（ただし、信頼度を95%とします。）

$$b = \pm 1.96 \sqrt{p(1-p) \div \frac{n(N-1)}{N-n}}$$

{

b = 標本誤差

N = 母集団数

n = 基数（サンプル数）

p = 回答比率

標本誤差の早見表は下表のとおりです。表の見方は、例えばある質問の回答者数が1,378人で、回答比率が50%であった場合、その標本誤差は、最大で±2.61%以内となることを示しています。

回答比率 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,378人	±1.57	±2.09	±2.40	±2.56	±2.61
1,000人	±1.85	±2.46	±2.82	±3.01	±3.08
500人	±2.62	±3.49	±4.00	±4.28	±4.37
100人	±5.88	±7.83	±8.97	±9.59	±9.79

※母集団である18歳以上人口を69,227人(住民基本台帳)で計算

5 グラフ中の表記

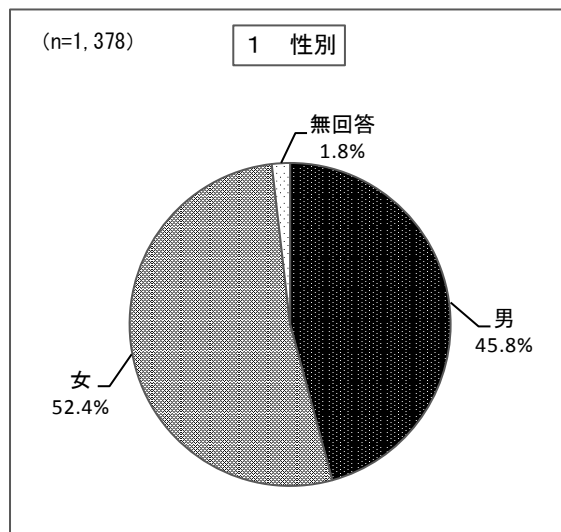
- (1) 各設問に対する回答者数を n で表記しています。
- (2) 数値は、小数第 2 位を四捨五入しているため、合計が 1 0 0 . 0 % にならない場合があります。
- (3) 各設問の属性別クロス集計表には「無回答」を含めていないため、全体の回答者数と各属性の回答者数の合計は一致しません。

Ⅱ 調査結果

○回答者の属性について

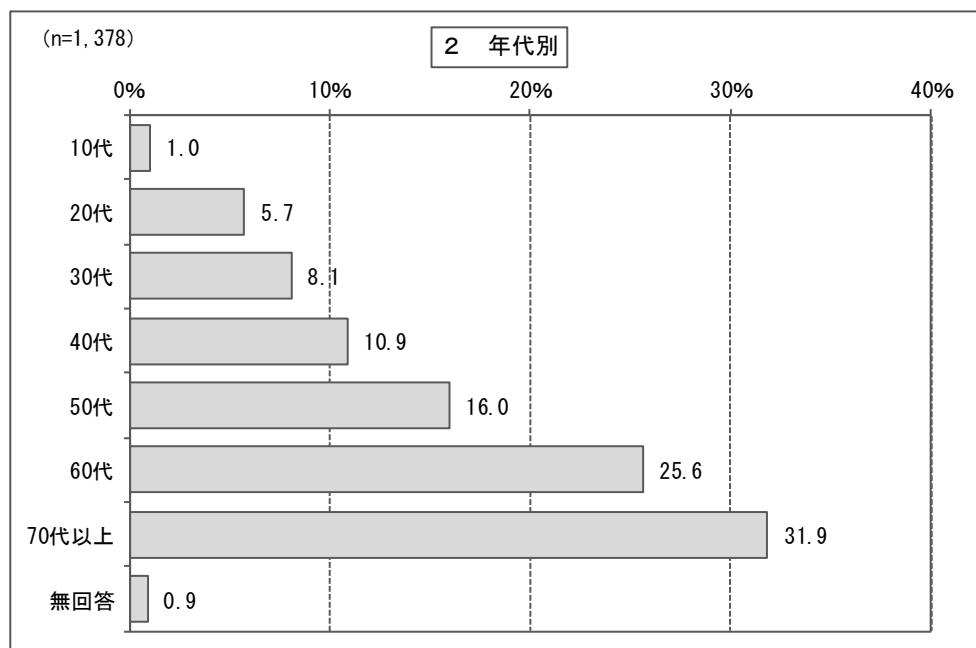
1 性別

回答者の性別は、「男性」が45.8%、「女性」が52.4%となっています。



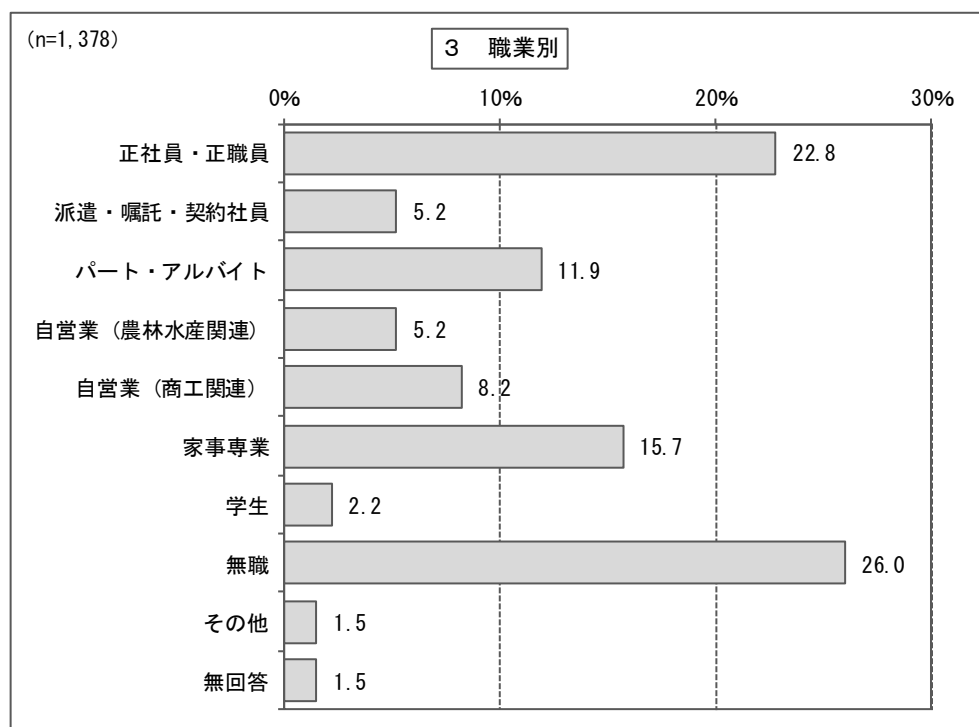
2 年代別

回答者の年代は、「10代」が1.0%、「20代」が5.7%、「30代」が8.1%、「40代」が10.9%、「50代」が16.0%、「60代」が25.6%、「70代以上」が31.9%となっています。



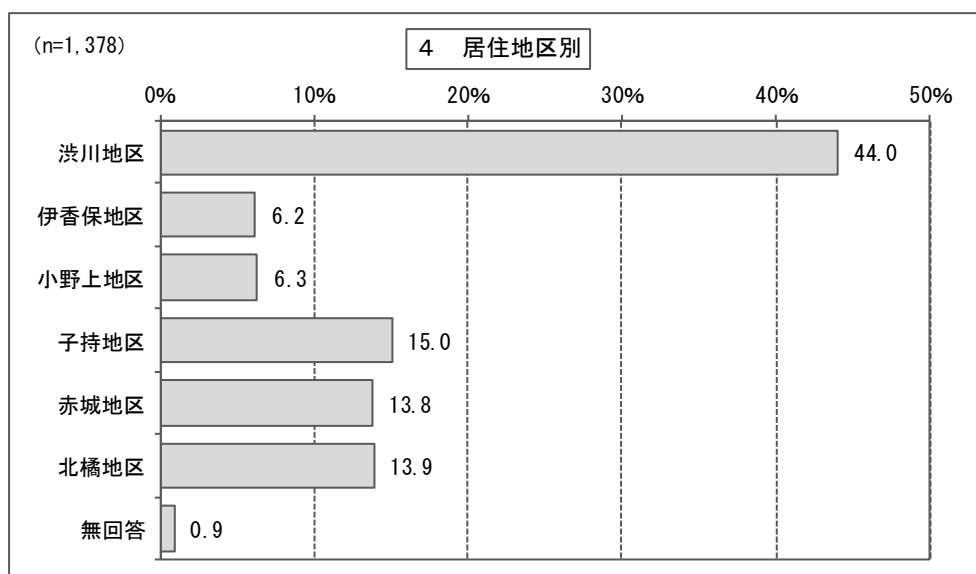
3 職業別

回答者の職業は、「正社員・正職員」が22.8%、「派遣・嘱託・契約社員」が5.2%、「パート・アルバイト」が11.9%、「自営業（農林水産関連）」が5.2%、「自営業（商工関連）」が8.2%、「家事専業」が15.7%、「学生」が2.2%、「無職」が26.0%となっています。



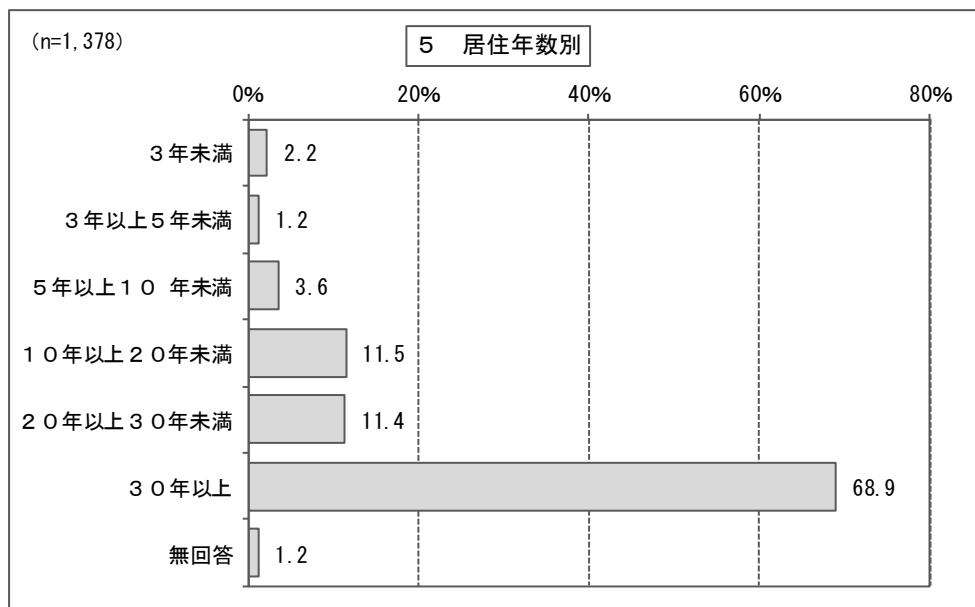
4 居住地区別

回答者の居住地区は、「渋川地区」が44.0%、「伊香保地区」が6.2%、「小野上地区」が6.3%、「子持地区」が15.0%、「赤城地区」が13.8%、「北橘地区」が13.9%となっています。



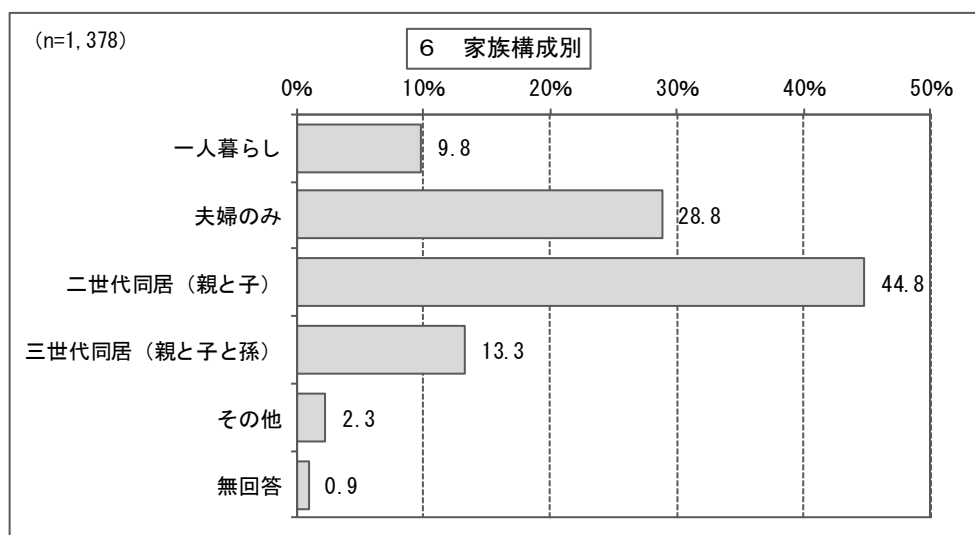
5 居住年数別

回答者の居住年数は、「3年未満」が2.2%、「3年以上5年未満」が1.2%、「5年以上10年未満」が3.6%、「10年以上20年未満」が11.5%、「20年以上30年未満」が11.4%、「30年以上」が68.9%となっています。



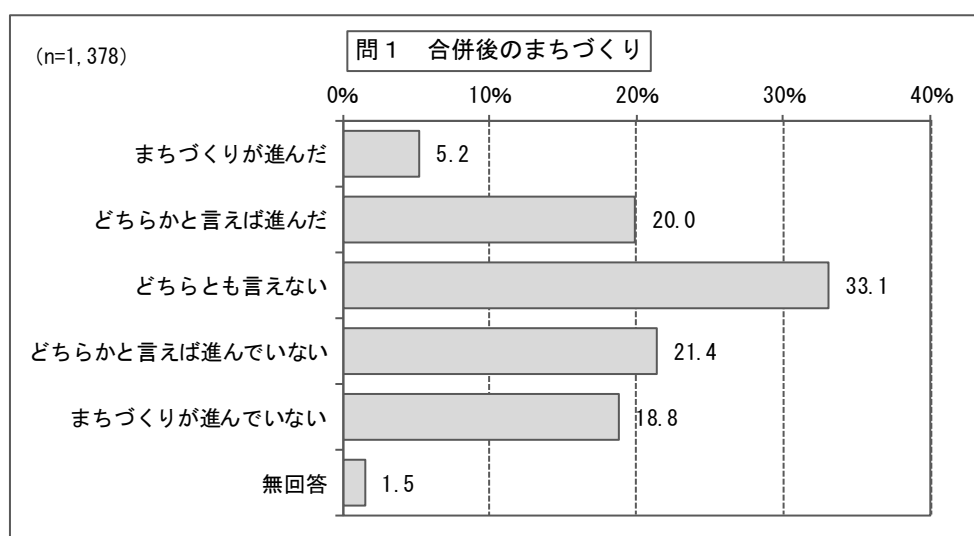
6 家族構成別

回答者の家族構成は、「一人暮らし」が9.8%、「夫婦のみ」が28.8%、「二世世代同居（親と子）」が44.8%、「三世世代同居（親と子と孫）」が13.3%となっています。



【問１】 あなたは合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。（1つ選んで○をつけてください。）

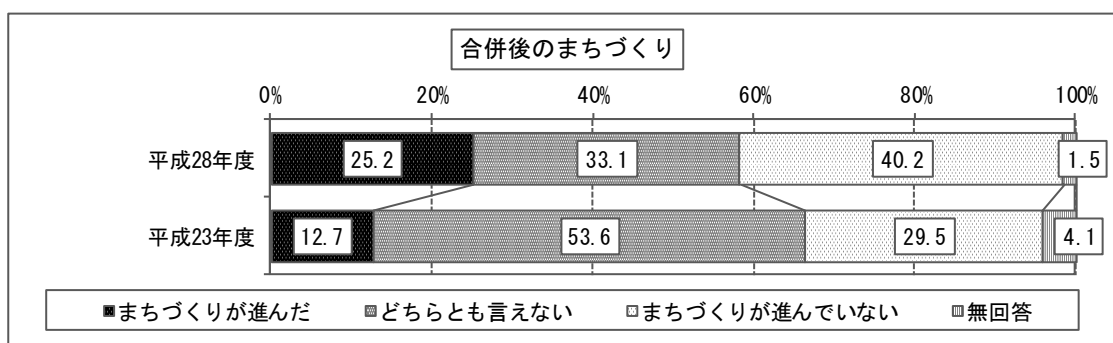
合併後のまちづくりについて、「まちづくりが進んだ」と「どちらかと言えば進んだ」を合わせた“進んだ”の回答割合は25.2%となっています。一方、「まちづくりが進んでいない」と「どちらかと言えば進んでいない」を合わせた“進んでいない”の回答割合は40.2%となっています。



【平成23（2011）年度市民意識調査との比較】

平成23（2011）年度市民意識調査と比較すると、「まちづくりが進んだ」と「まちづくりが進んでいない」の回答割合がともに増加し、「どちらとも言えない」の回答割合が減少しています。

※平成23（2011）年度市民意識調査では、「まちづくりが進んだ」、「どちらとも言えない」及び「まちづくりが進んでいない」の3つの選択肢となっているため、平成28（2016）年度市民意識調査結果もそれに合わせています。



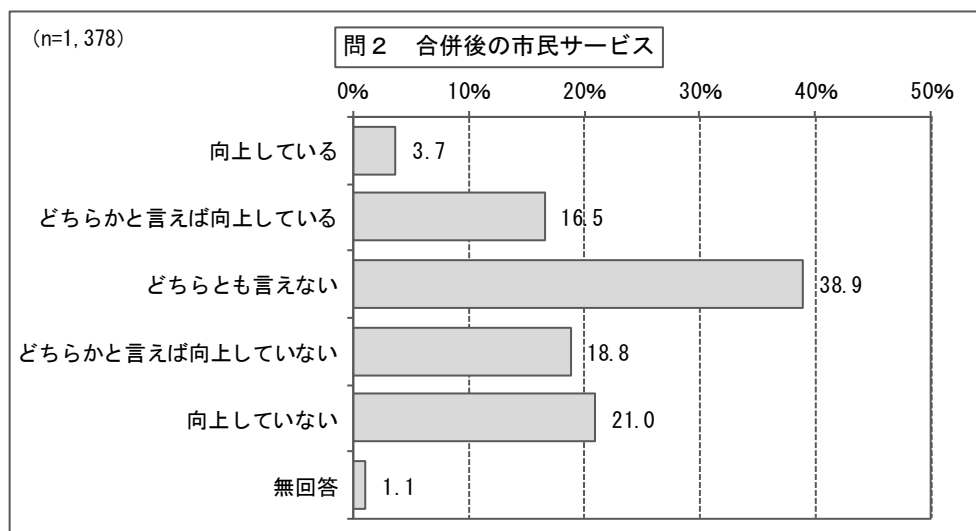
【「合併後のまちづくり」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		まちづくりが進んだ	どちらかと言えば進んだ	どちらとも言えない	どちらかと言えば進んでいない	まちづくりが進んでいない	無回答
全体 (n=1, 378)		5. 2	20. 0	33. 1	21. 4	18. 8	1. 5
性別	男 (n=631)	5. 5	18. 9	30. 6	21. 2	22. 8	1. 0
	女 (n=722)	4. 8	20. 4	35. 5	22. 0	15. 8	1. 5
年代別	10 代 (n=14)	7. 1	14. 3	42. 9	21. 4	14. 3	0. 0
	20 代 (n=79)	2. 5	21. 5	40. 5	22. 8	11. 4	1. 3
	30 代 (n=111)	4. 5	23. 4	36. 9	21. 6	13. 5	0. 0
	40 代 (n=150)	2. 0	20. 0	34. 7	26. 7	14. 7	2. 0
	50 代 (n=220)	4. 1	17. 7	35. 5	18. 2	24. 5	0. 0
	60 代 (n=353)	3. 1	18. 4	28. 6	25. 5	23. 2	1. 1
	70 代以上 (n=439)	8. 9	21. 2	32. 6	18. 0	17. 1	2. 3
居住 地区別	渋川地区 (n=606)	5. 8	19. 8	36. 6	20. 6	15. 3	1. 8
	伊香保地区 (n=85)	10. 6	25. 9	21. 2	20. 0	21. 2	1. 2
	小野上地区 (n=87)	1. 1	17. 2	28. 7	26. 4	25. 3	1. 1
	子持地区 (n=207)	7. 7	29. 5	34. 3	16. 9	9. 2	2. 4
	赤城地区 (n=190)	1. 6	14. 7	30. 0	23. 7	30. 0	0. 0
	北橘地区 (n=191)	3. 1	14. 1	31. 4	25. 7	25. 7	0. 0

【問 2】 あなたは合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。（1つ選んで○をつけてください。）

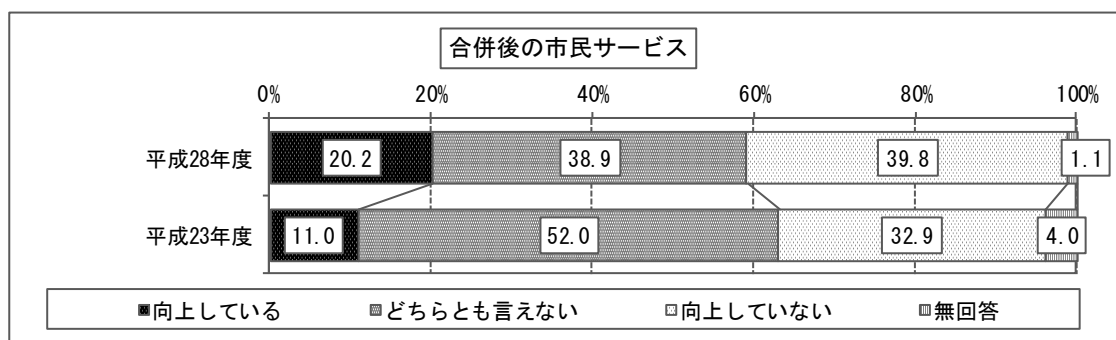
合併後の市民サービスについて、「向上している」と「どちらかと言えば向上している」を合わせた“向上している”の回答割合は20.2%となっています。一方、「向上していない」と「どちらかと言えば向上していない」を合わせた“向上していない”の回答割合は39.8%となっています。



【平成23（2011）年度市民意識調査との比較】

平成23（2011）年度市民意識調査と比較すると、市民サービスが「向上している」と「向上していない」の回答割合がともに増加し、「どちらとも言えない」の回答割合が減少しています。

※平成23（2011）年度市民意識調査では、「向上している」、「どちらとも言えない」及び「向上していない」の3つの選択肢となっているため、平成28（2016）年度市民意識調査結果もそれに合わせています。



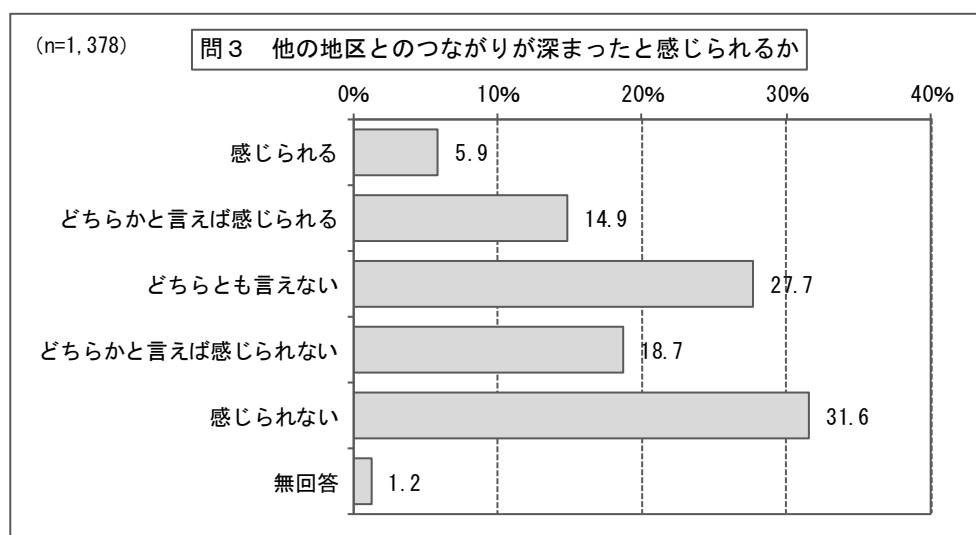
【「合併後の市民サービス」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		向上している	どちらかと言えば向上している	どちらとも言えない	どちらかと言えば向上していない	向上していない	無回答
全体 (n=1, 378)		3. 7	16. 5	38. 9	18. 8	21. 0	1. 1
性別	男 (n=631)	3. 5	17. 3	35. 7	18. 1	25. 0	0. 5
	女 (n=722)	3. 6	15. 8	41. 7	19. 8	18. 0	1. 1
年代別	10 代 (n=14)	0. 0	21. 4	42. 9	14. 3	21. 4	0. 0
	20 代 (n=79)	0. 0	16. 5	51. 9	15. 2	15. 2	1. 3
	30 代 (n=111)	1. 8	14. 4	44. 1	21. 6	18. 0	0. 0
	40 代 (n=150)	3. 3	15. 3	40. 7	25. 3	14. 7	0. 7
	50 代 (n=220)	0. 5	15. 5	37. 3	16. 8	30. 0	0. 0
	60 代 (n=353)	2. 8	14. 4	34. 3	22. 4	25. 5	0. 6
	70 代以上 (n=439)	7. 1	19. 6	39. 2	15. 0	17. 3	1. 8
居住 地区別	渋川地区 (n=606)	3. 8	17. 2	46. 0	16. 3	15. 7	1. 0
	伊香保地区 (n=85)	3. 5	16. 5	30. 6	24. 7	23. 5	1. 2
	小野上地区 (n=87)	3. 4	6. 9	31. 0	27. 6	29. 9	1. 1
	子持地区 (n=207)	6. 8	23. 7	39. 1	17. 4	12. 1	1. 0
	赤城地区 (n=190)	0. 5	15. 8	28. 4	18. 9	36. 3	0. 0
	北橘地区 (n=191)	3. 1	12. 0	34. 6	22. 0	27. 7	0. 5

【問3】 あなたは市内の他の地区とのつながりが深まったと感じられるようになりましたか。（1つ選んで○をつけてください。）

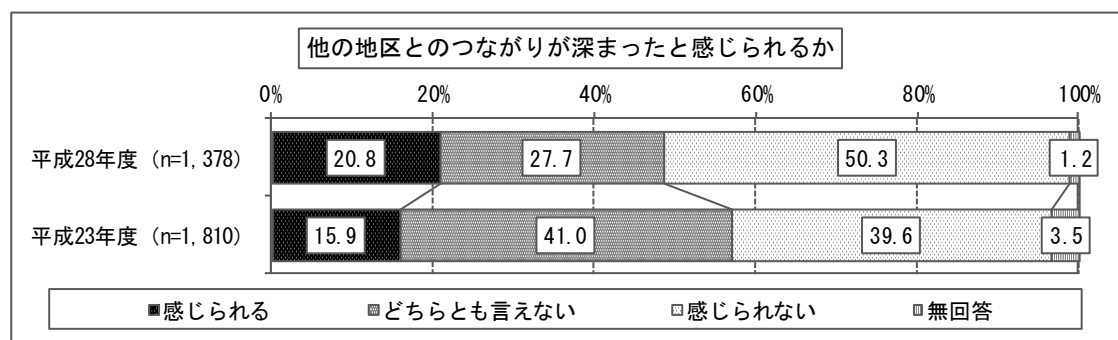
他の地区とのつながりが深まったと感じられるようになったかについて、「感じられる」と「どちらかと言えば感じられる」を合わせた“感じられる”の回答割合は20.8%となっています。一方、「感じられない」と「どちらかと言えば感じられない」を合わせた“感じられない”の回答割合は50.3%となっています。



【平成23（2011）年度市民意識調査との比較】

平成23（2011）年度市民意識調査と比較すると、他の地区とのつながりが「感じられる」と「感じられない」の回答割合がともに増加し、「どちらとも言えない」の回答割合が減少しています。

※平成23（2011）年度市民意識調査では、「感じられる」、「どちらとも言えない」及び「感じられない」の3つの選択肢となっているため、平成28（2016）年度市民意識調査結果もそれに合わせています。

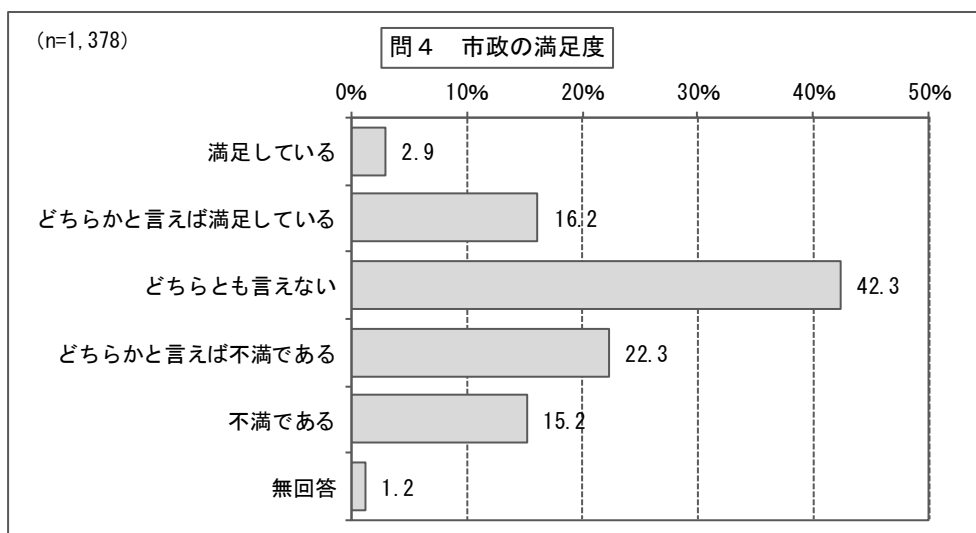


【「他の地区とのつながりが深まったと感じられるか」に係る属性別クロス集計表】
(%)

		感じられる	どちらかと言えば 感じられる	どちらとも言えない	どちらかとも言えない 感じられない	感じられない	無回答
全体 (n=1, 378)		5. 9	14. 9	27. 7	18. 7	31. 6	1. 2
性別	男 (n=631)	6. 0	16. 2	25. 7	16. 8	34. 7	0. 6
	女 (n=722)	5. 8	14. 0	28. 9	20. 6	29. 4	1. 2
年代別	10 代 (n=14)	7. 1	28. 6	21. 4	14. 3	28. 6	0. 0
	20 代 (n=79)	1. 3	20. 3	36. 7	16. 5	25. 3	0. 0
	30 代 (n=111)	4. 5	10. 8	28. 8	23. 4	31. 5	0. 9
	40 代 (n=150)	4. 7	18. 0	27. 3	15. 3	34. 0	0. 7
	50 代 (n=220)	4. 1	12. 7	24. 1	20. 0	38. 6	0. 5
	60 代 (n=353)	5. 4	15. 3	21. 0	22. 9	34. 6	0. 8
	70 代以上 (n=439)	8. 9	14. 6	33. 3	15. 3	26. 2	1. 8
居住 地区別	渋川地区 (n=606)	5. 9	13. 9	32. 2	16. 3	30. 7	1. 0
	伊香保地区 (n=85)	7. 1	14. 1	21. 2	29. 4	24. 7	3. 5
	小野上地区 (n=87)	6. 9	18. 4	21. 8	21. 8	29. 9	1. 1
	子持地区 (n=207)	10. 1	18. 4	27. 5	23. 7	19. 3	1. 0
	赤城地区 (n=190)	2. 6	13. 7	22. 6	16. 8	43. 2	1. 1
	北橘地区 (n=191)	3. 7	15. 2	24. 6	17. 3	39. 3	0. 0

【問4】 あなたは、市政についてどの程度満足していますか。（1つ選んで○をつけてください。）

市政に対する満足度は、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合わせた“満足している”の回答割合は19.1%となっています。一方、「不満である」と「どちらかと言えば不満である」を合わせた“不満である”の回答割合は37.5%となっています。



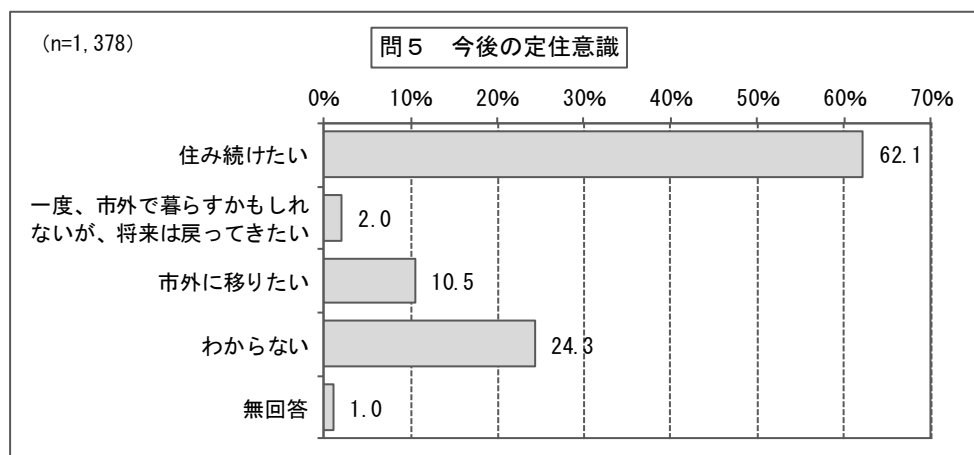
【「市政の満足度」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		満足している	どちらかと言えば満足している	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満である	不満である	無回答
全体 (n=1,378)		2.9	16.2	42.3	22.3	15.2	1.2
性別	男 (n=631)	2.7	17.7	38.8	22.2	18.2	0.3
	女 (n=722)	3.0	14.7	45.7	22.2	13.0	1.4
年代別	10代 (n=14)	0.0	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0
	20代 (n=79)	1.3	15.2	60.8	13.9	8.9	0.0
	30代 (n=111)	0.9	18.0	45.9	14.4	19.8	0.9
	40代 (n=150)	1.3	12.7	54.0	18.7	12.7	0.7
	50代 (n=220)	1.8	11.4	42.7	25.0	19.1	0.0
	60代 (n=353)	1.7	14.7	35.1	26.6	20.4	1.4
	70代以上 (n=439)	5.9	20.5	39.6	22.3	10.3	1.4
居住地区別	渋川地区 (n=606)	3.1	16.5	44.6	22.1	12.5	1.2
	伊香保地区 (n=85)	4.7	10.6	38.8	28.2	15.3	2.4
	小野上地区 (n=87)	1.1	19.5	29.9	29.9	18.4	1.1
	子持地区 (n=207)	5.3	22.2	48.8	15.9	7.2	0.5
	赤城地区 (n=190)	1.6	13.2	35.8	22.6	25.8	1.1
	北橘地区 (n=191)	1.0	12.6	42.4	23.0	20.9	0.0

【問5】 あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。それとも他のところへ移りたいと思いますか。（1つ選んで○をつけてください。）

今後の定住意識については、「住み続けたい」が62.1%、「一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」が2.0%、「市外に移りたい」が10.5%、「わからない」が24.3%となっています。



【「今後の定住意識」に係る属性別クロス集計表】

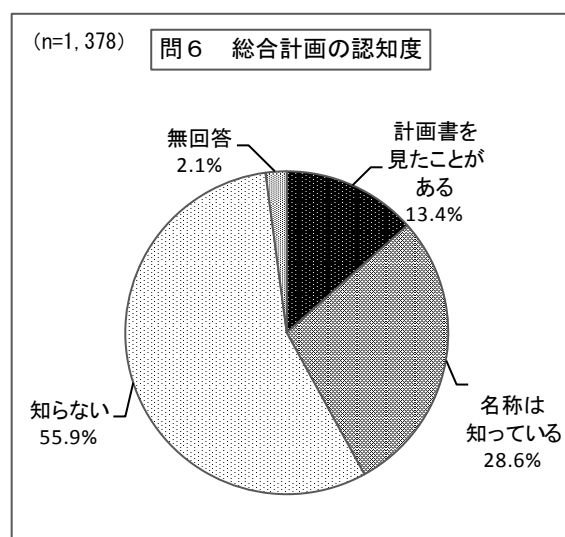
(%)

		住み続けたい	一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい	市外に移りたい	わからない	無回答
全体 (n=1,378)		62.1	2.0	10.5	24.3	1.0
性別	男 (n=631)	64.0	1.7	9.7	24.1	0.5
	女 (n=722)	60.0	2.4	11.5	25.2	1.0
年代別	10代 (n=14)	21.4	14.3	14.3	50.0	0.0
	20代 (n=79)	24.1	15.2	24.1	36.7	0.0
	30代 (n=111)	42.3	4.5	18.9	33.3	0.9
	40代 (n=150)	54.7	0.7	16.7	27.3	0.7
	50代 (n=220)	57.3	1.4	9.5	31.8	0.0
	60代 (n=353)	67.1	0.6	9.3	21.5	1.4
	70代以上 (n=439)	76.1	0.7	5.5	16.9	0.9
居住地区別	渋川地区 (n=606)	62.9	2.0	10.1	24.1	1.0
	伊香保地区 (n=85)	47.1	3.5	17.6	30.6	1.2
	小野上地区 (n=87)	62.1	2.3	12.6	21.8	1.1
	子持地区 (n=207)	67.1	2.9	7.2	21.7	1.0
	赤城地区 (n=190)	61.1	1.6	9.5	27.9	0.0
	北橘地区 (n=191)	62.3	1.0	13.1	23.0	0.5

○総合計画について

【問6】 あなたは渋川市の総合計画を知っていますか。（1つ選んで○をつけてください。）

渋川市の総合計画の認知度は、「計画書を見たことがある」と「名称は知っている」を合わせた“総合計画を知っている”の回答割合は42.0%となっています。一方、“総合計画を知らない”が55.9%となっています。



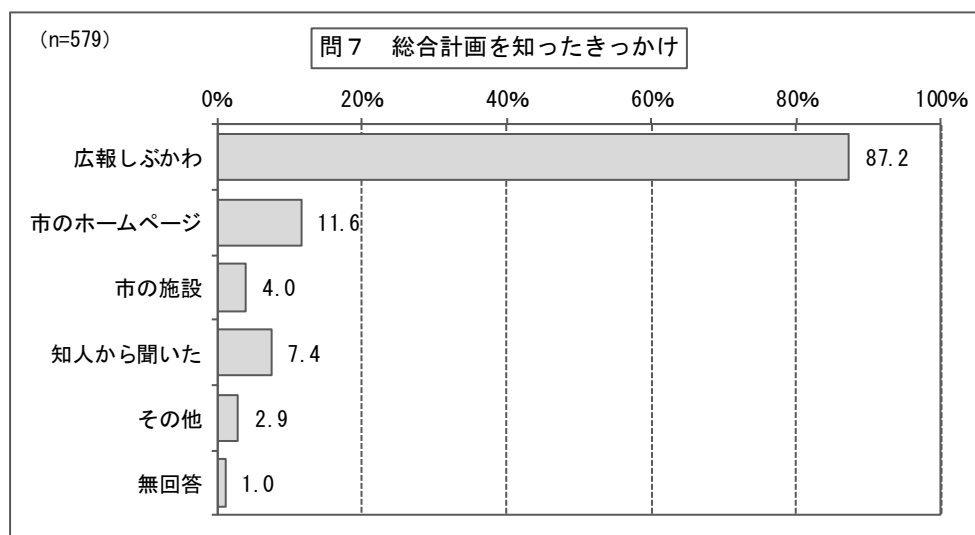
【「総合計画の認知度」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		計画書を見たことがある	名称は知っている	知らない	無回答
全体 (n=1,378)		13.4	28.6	55.9	2.1
性別	男 (n=631)	17.6	30.3	51.2	1.0
	女 (n=722)	9.8	27.4	60.1	2.6
年代別	10代 (n=14)	7.1	14.3	78.6	0.0
	20代 (n=79)	7.6	15.2	75.9	1.3
	30代 (n=111)	5.4	13.5	80.2	0.9
	40代 (n=150)	12.0	20.7	66.7	0.7
	50代 (n=220)	10.5	27.7	61.4	0.5
	60代 (n=353)	14.4	33.7	50.7	1.1
	70代以上 (n=439)	18.0	34.9	43.1	4.1
居住地区別	渋川地区 (n=606)	13.4	28.4	56.4	1.8
	伊香保地区 (n=85)	17.6	41.2	40.0	1.2
	小野上地区 (n=87)	16.1	32.2	50.6	1.1
	子持地区 (n=207)	13.0	31.4	52.2	3.4
	赤城地区 (n=190)	11.6	26.3	60.5	1.6
	北橘地区 (n=191)	13.1	23.0	62.3	1.6

【問7】 前問【問6】で1、2を選んだ方にお聞きします。総合計画をどこで知りましたか。（該当するものすべてに○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。）

【問6】で「計画書を見たことがある」及び「名称は知っている」と回答した人（579人）を対象に、知ったきっかけをお聞きしたところ、「広報しぶかわ」が87.2%、「市のホームページ」が11.6%、「市の施設」が4.0%、「知人から聞いた」が7.4%となっています。



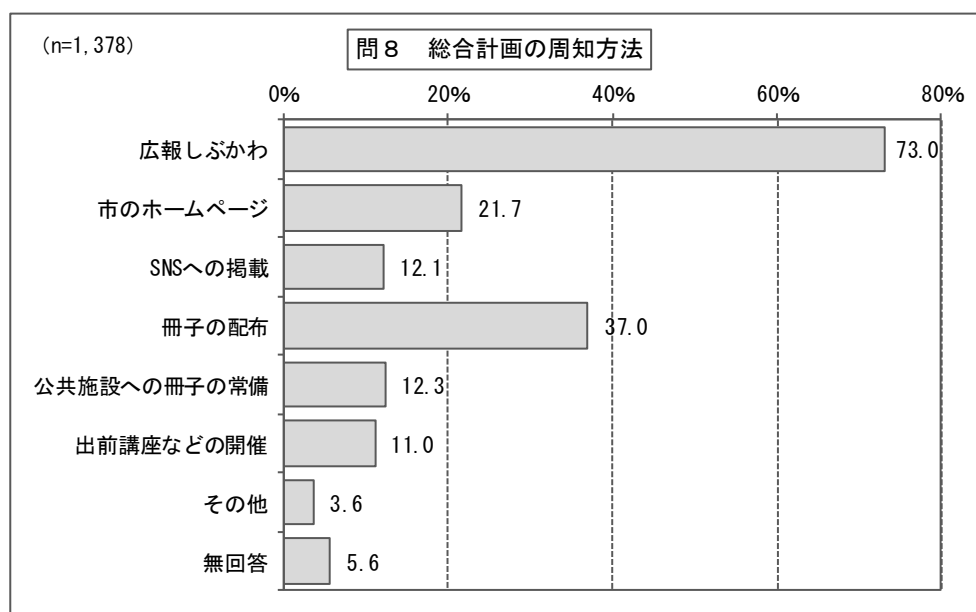
【「総合計画を知ったきっかけ」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		広報しぶかわ	市のホームページ	市の施設	知人から聞いた	その他	無回答
全体 (n=579)		87.2	11.6	4.0	7.4	2.9	1.0
性別	男 (n=302)	86.1	14.6	4.6	6.6	3.0	1.7
	女 (n=269)	88.5	8.2	3.3	8.2	3.0	0.0
年代別	10代 (n=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	20代 (n=18)	77.8	22.2	0.0	0.0	11.1	5.6
	30代 (n=21)	66.7	23.8	0.0	14.3	0.0	0.0
	40代 (n=49)	81.6	18.4	8.2	6.1	4.1	0.0
	50代 (n=84)	86.9	19.0	6.0	6.0	2.4	0.0
	60代 (n=170)	88.2	8.2	3.5	8.2	3.5	0.6
	70代以上 (n=232)	90.9	7.8	3.4	6.9	1.7	1.7
居住地区別	渋川地区 (n=253)	88.1	11.1	4.0	7.5	2.8	1.2
	伊香保地区 (n=50)	88.0	6.0	4.0	6.0	4.0	2.0
	小野上地区 (n=42)	83.3	16.7	2.4	2.4	2.4	2.4
	子持地区 (n=92)	89.1	12.0	2.2	13.0	0.0	0.0
	赤城地区 (n=72)	91.7	5.6	6.9	4.2	2.8	0.0
	北橘地区 (n=69)	78.3	18.8	4.3	5.8	7.2	1.4

【問8】 市民の皆さんに総合計画を身近に感じていただくためには、どのようにお知らせすればよいと思いますか。（該当するものすべてに○をつけてください。
選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。）

総合計画を身近に感じてもらうための周知方法は、「広報しぶかわ」が73.0%、「市のホームページ」が21.7%、「SNSへの掲載」が12.1%、「冊子の配布」が37.0%、「公共施設への冊子の常備」が12.3%、「出前講座などの開催」が11.0%となっています。



【「総合計画の周知方法」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		広報しぶかわ	市のホームページ	SNSへの掲載	冊子の配布	公共施設への冊子の常備	出前講座などの開催	その他	無回答
	全体 (n=1,378)	73.0	21.7	12.1	37.0	12.3	11.0	3.6	5.6
性別	男 (n=631)	72.6	26.3	10.9	40.6	11.7	11.6	4.4	4.4
	女 (n=722)	73.8	18.1	13.4	34.3	12.9	10.9	2.8	6.1
年代別	10代 (n=14)	64.3	35.7	57.1	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0
	20代 (n=79)	64.6	29.1	44.3	36.7	22.8	3.8	3.8	2.5
	30代 (n=111)	64.0	32.4	27.0	36.0	17.1	9.9	6.3	4.5
	40代 (n=150)	69.3	29.3	22.7	42.7	16.7	7.3	5.3	4.0
	50代 (n=220)	76.8	28.6	12.7	40.9	13.2	13.2	4.5	3.6
	60代 (n=353)	73.1	19.5	5.1	35.1	9.6	13.9	3.1	5.9
	70代以上 (n=439)	77.2	13.2	3.2	35.1	9.6	10.9	2.3	7.1
居住地区別	渋川地区 (n=606)	71.8	21.1	15.2	34.8	12.5	11.7	4.1	5.3
	伊香保地区 (n=85)	74.1	25.9	9.4	36.5	12.9	15.3	5.9	5.9
	小野上地区 (n=87)	67.8	20.7	10.3	44.8	13.8	12.6	1.1	9.2
	子持地区 (n=207)	77.8	21.7	9.2	33.8	12.6	8.7	2.4	6.8
	赤城地区 (n=190)	74.7	22.1	7.9	40.0	12.1	14.7	2.6	4.7
	北橘地区 (n=191)	74.3	22.5	12.6	41.4	10.5	5.8	4.2	2.6

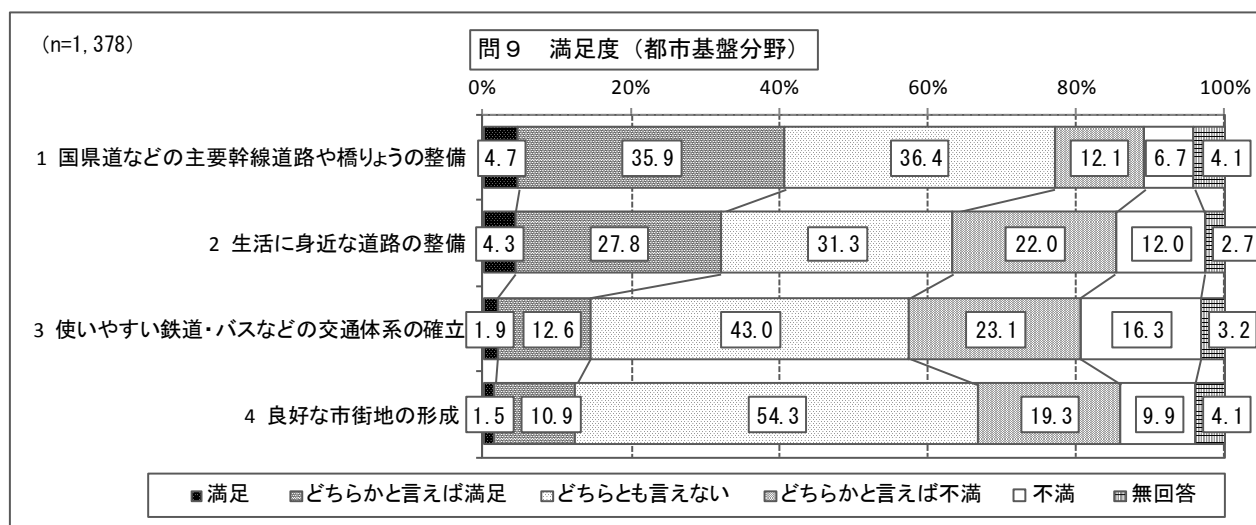
○これまでの市の取組に対する評価について

【問9】 あなたは市の取組について、どのように感じていますか。また、これからのまちづくりに、どのような取組が重要になると思いますか。（次の1～48までの項目それぞれについて、「満足度」欄および「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで番号に○をつけてください。）

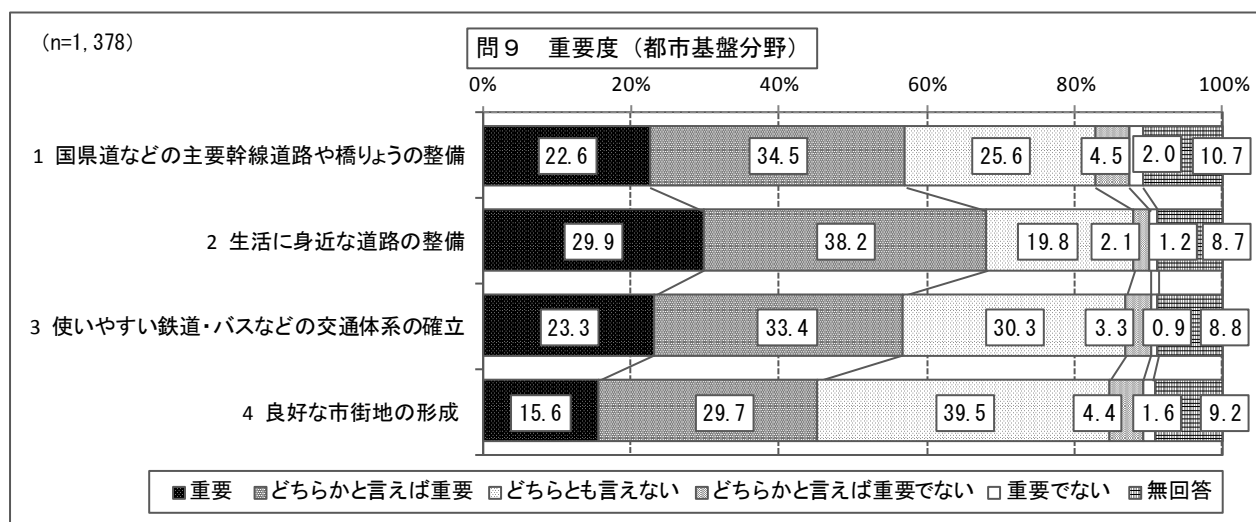
現総合計画後期基本計画に基づく48施策の「満足度」及び「重要度」は、次のとおりです。

（1）都市基盤分野

【満足度】

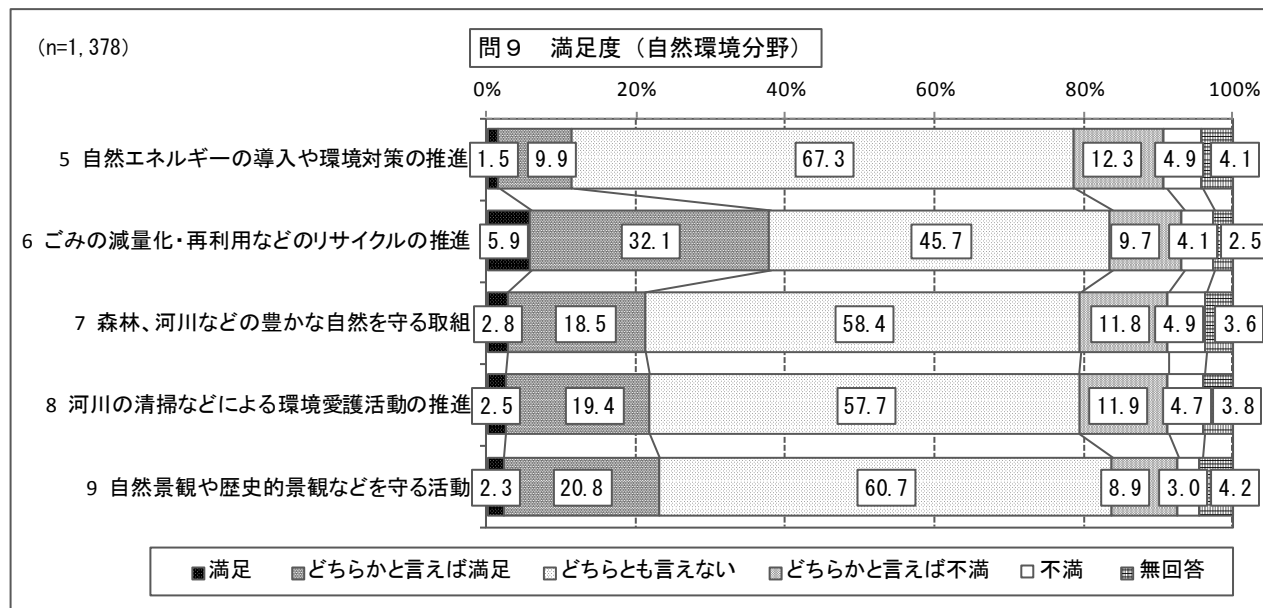


【重要度】

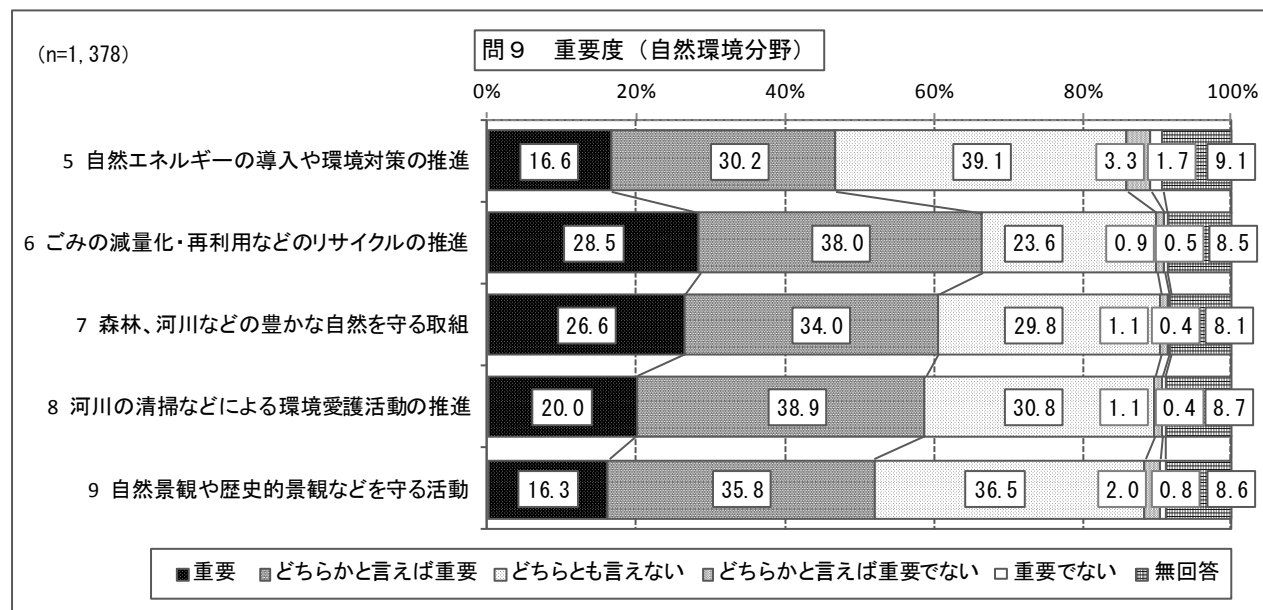


(2) 自然環境分野

【満足度】

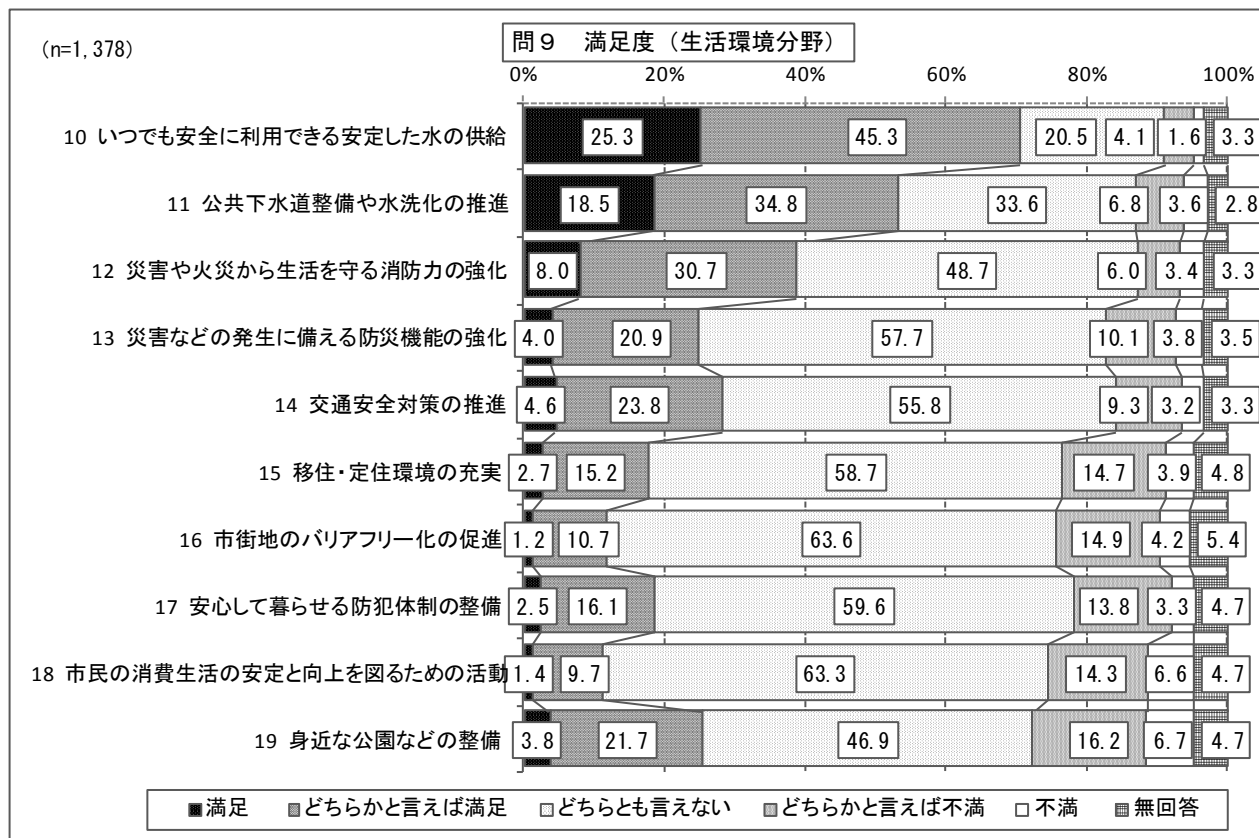


【重要度】

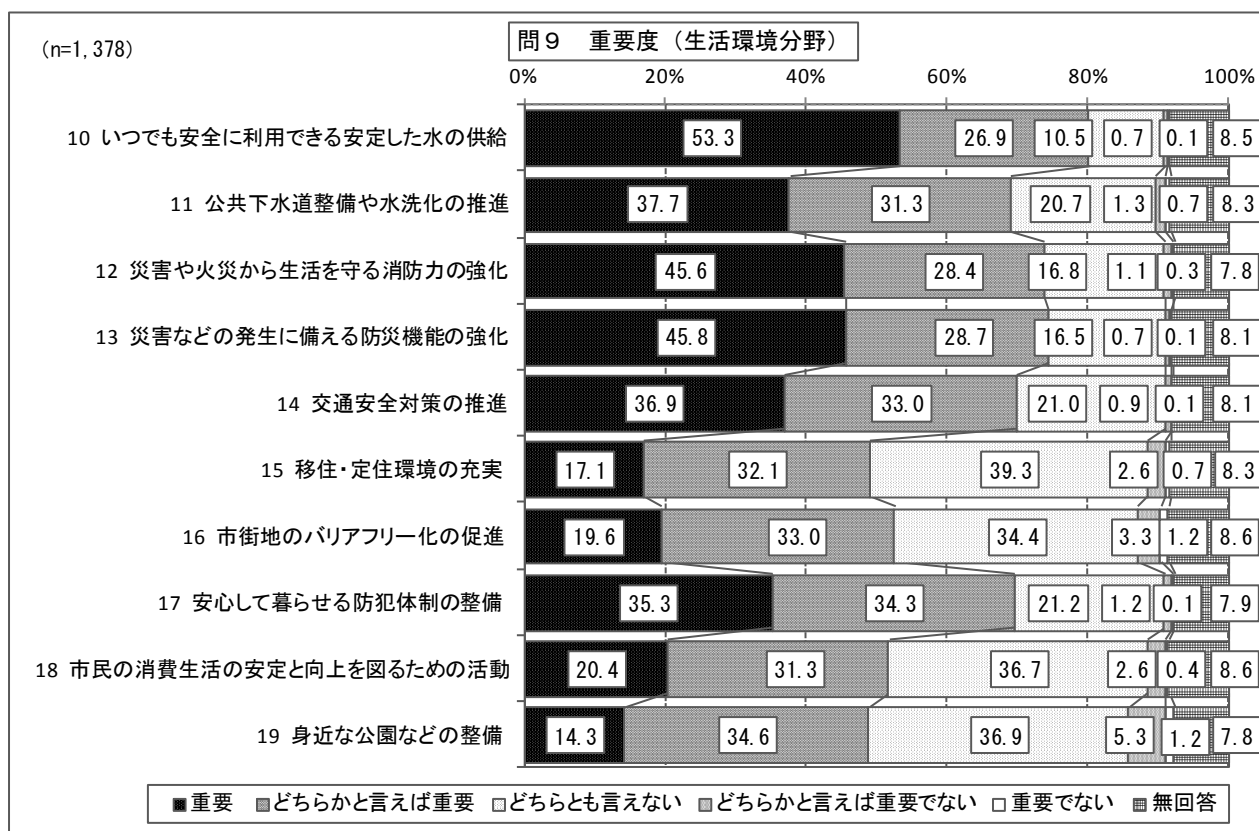


(3) 生活環境分野

【満足度】

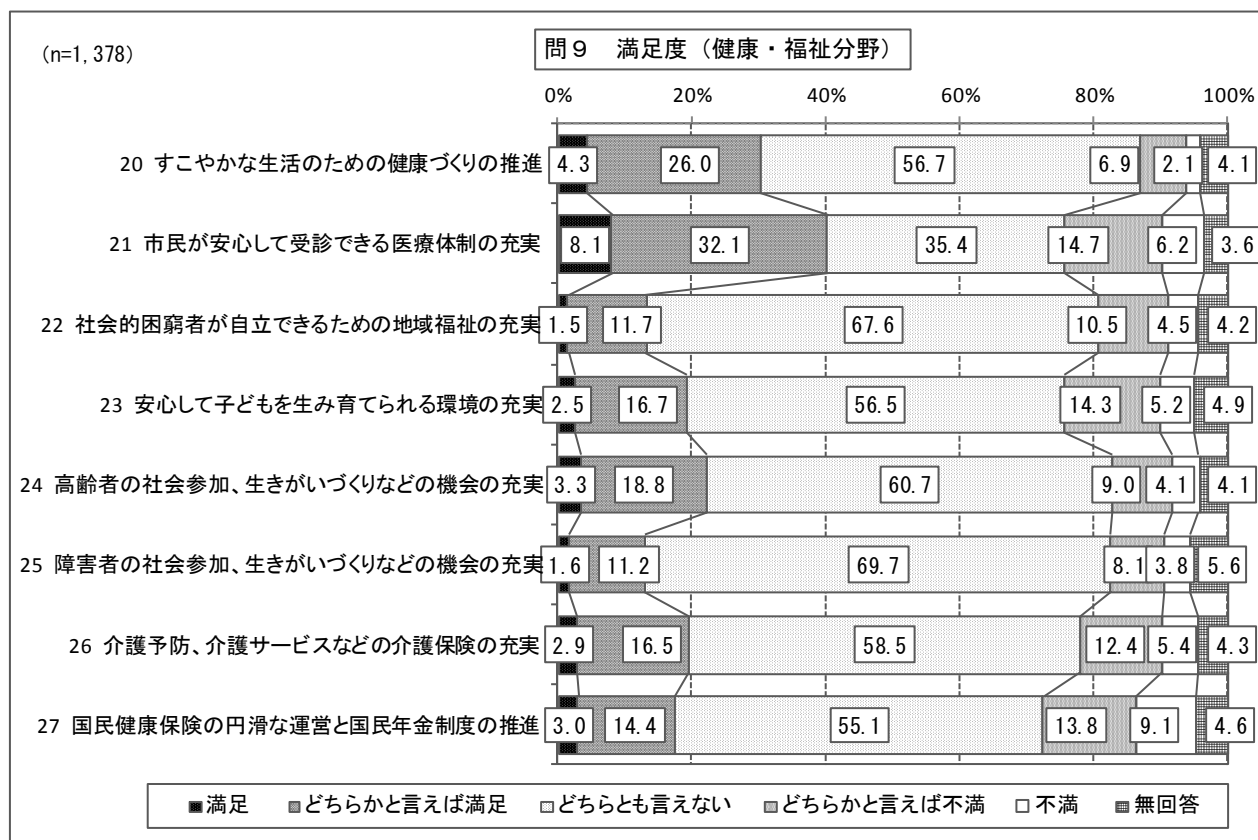


【重要度】

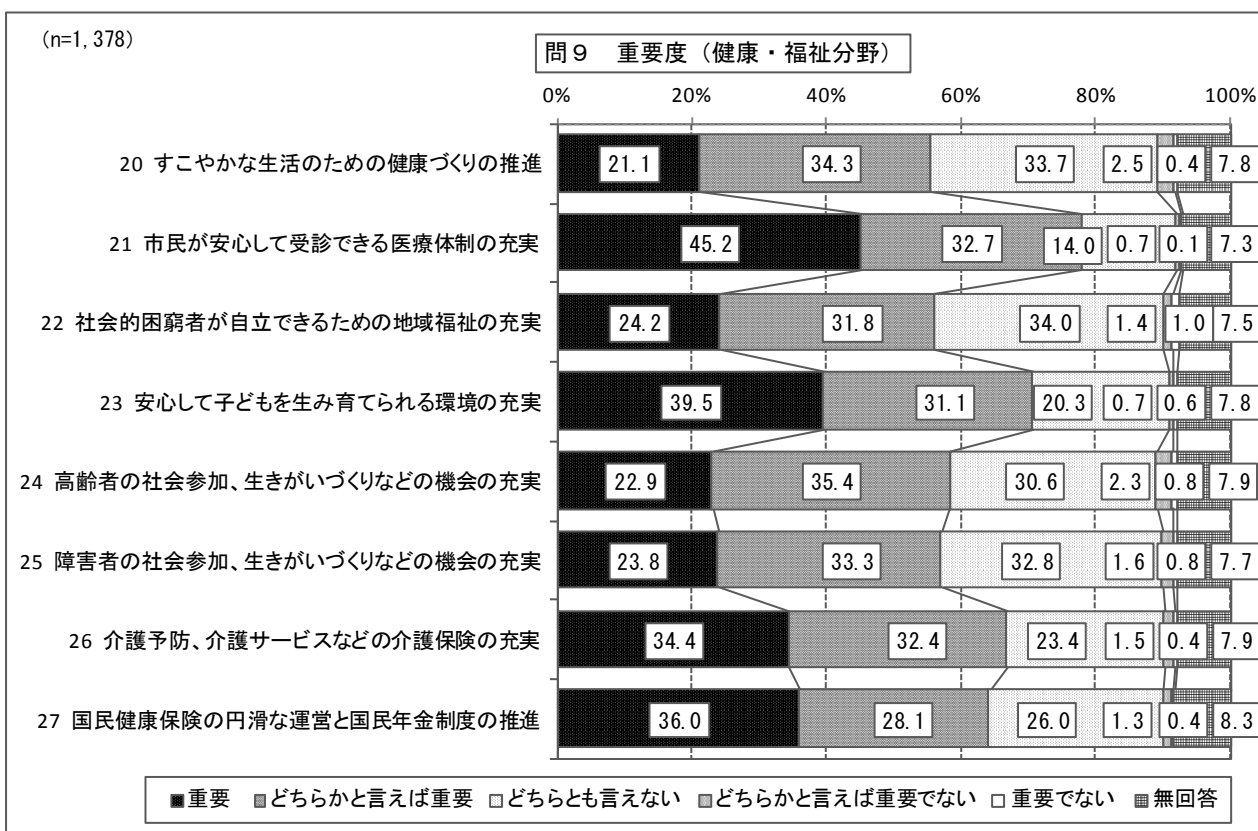


(4) 健康・福祉分野

【満足度】

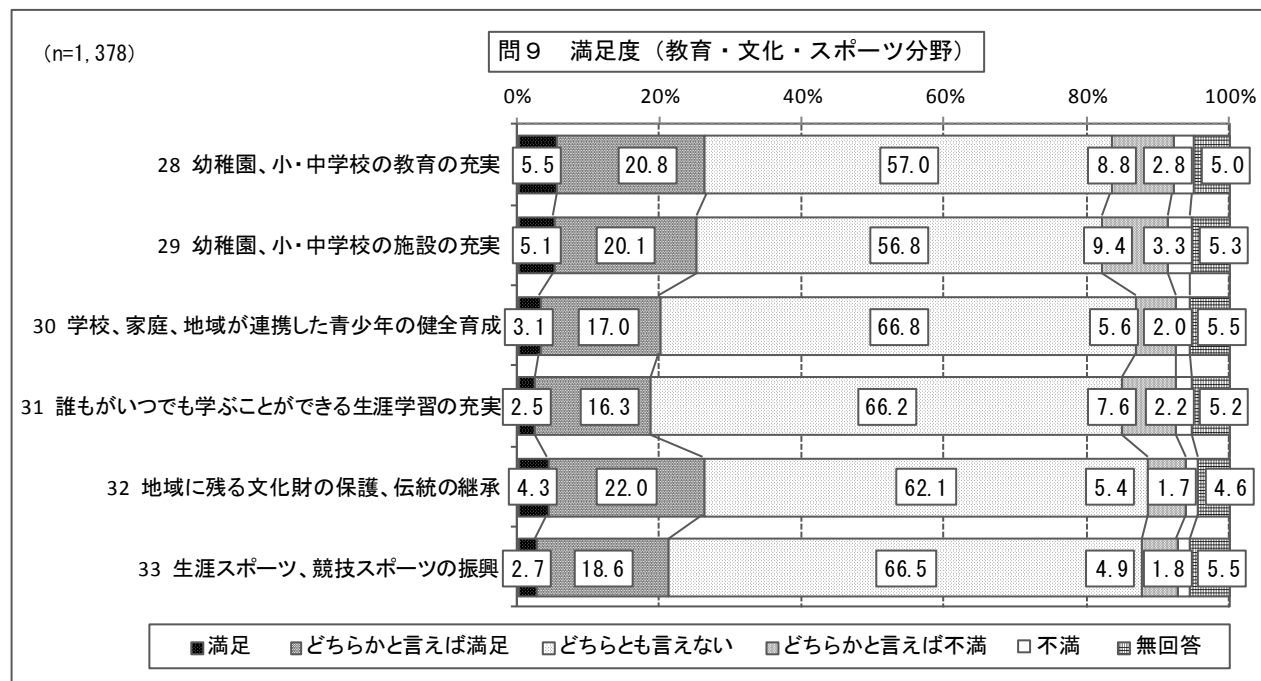


【重要度】

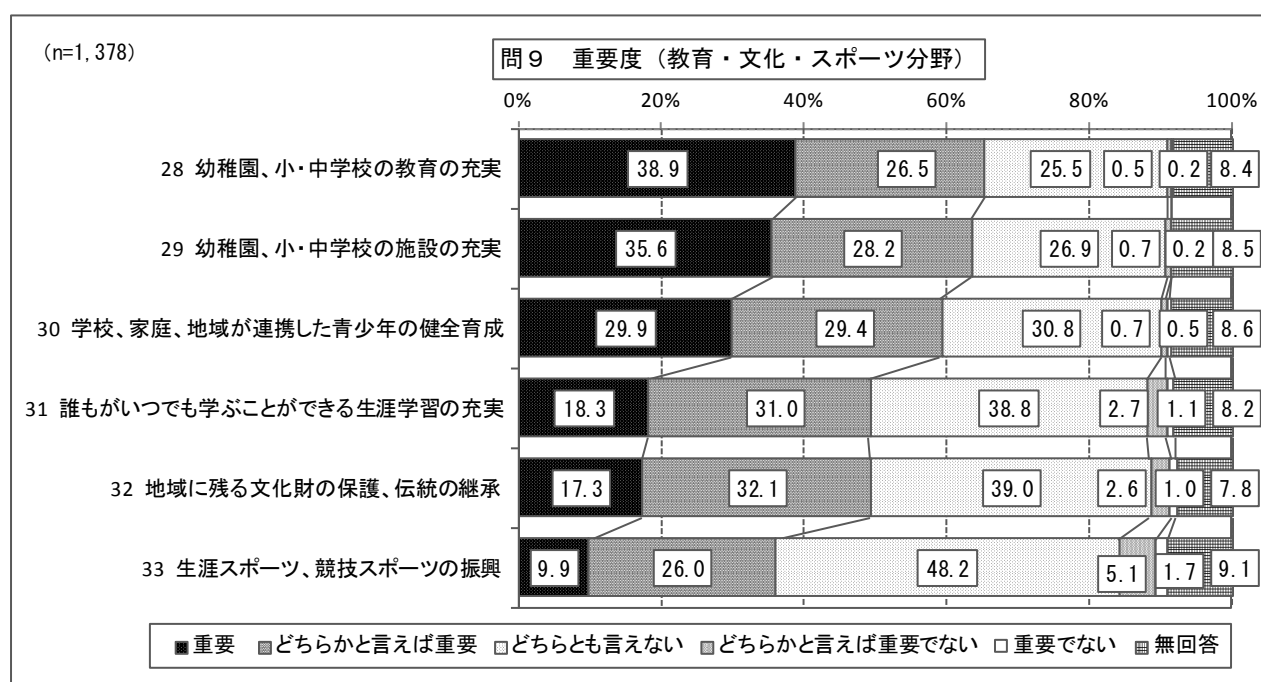


(5) 教育・文化・スポーツ分野

【満足度】

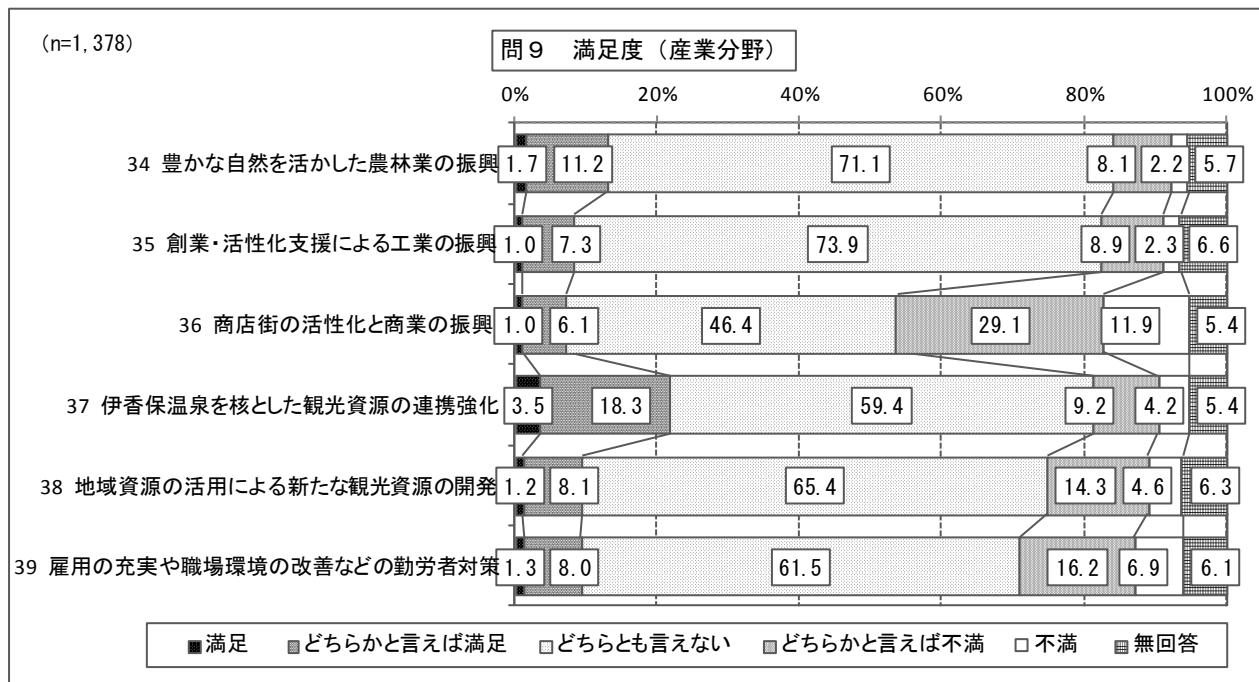


【重要度】

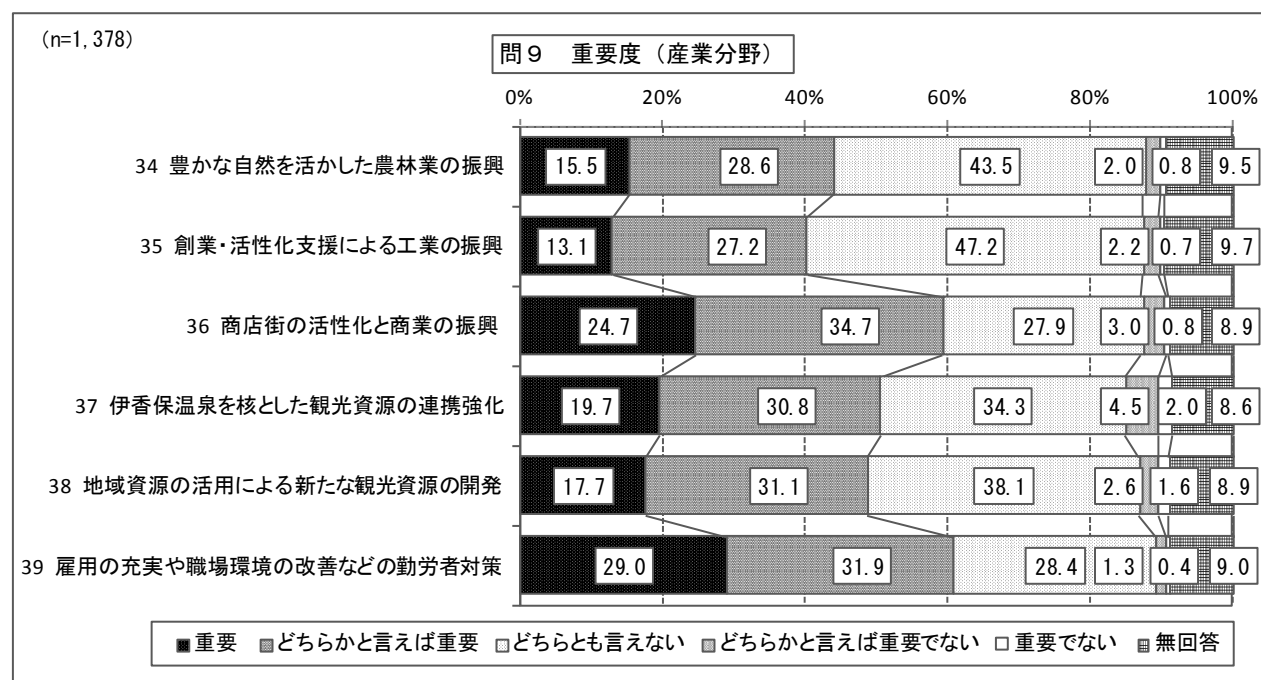


(6) 産業分野

【満足度】

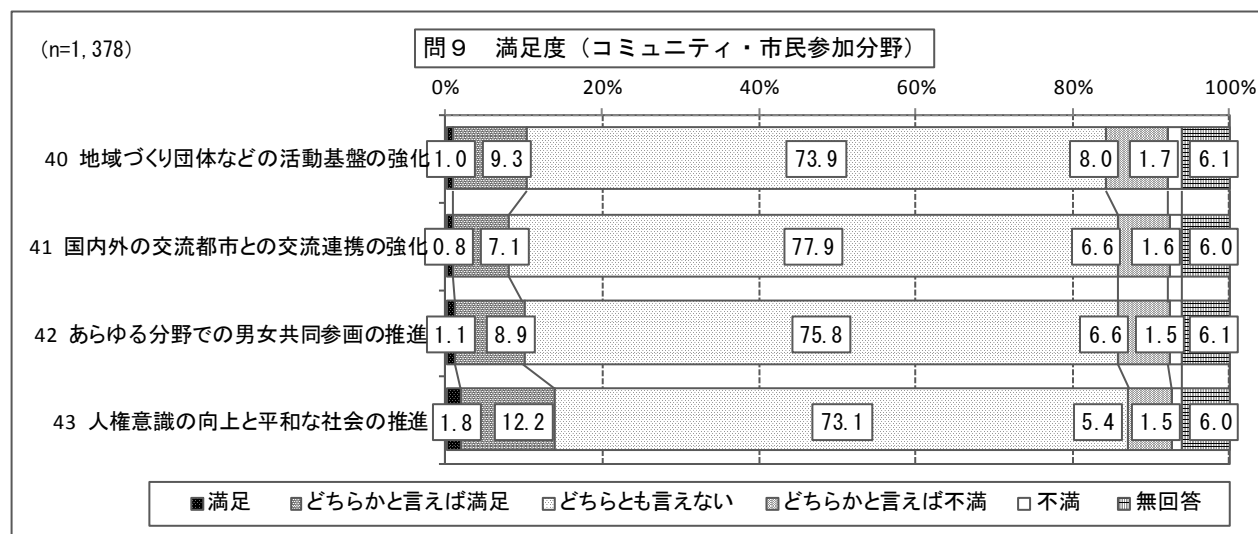


【重要度】

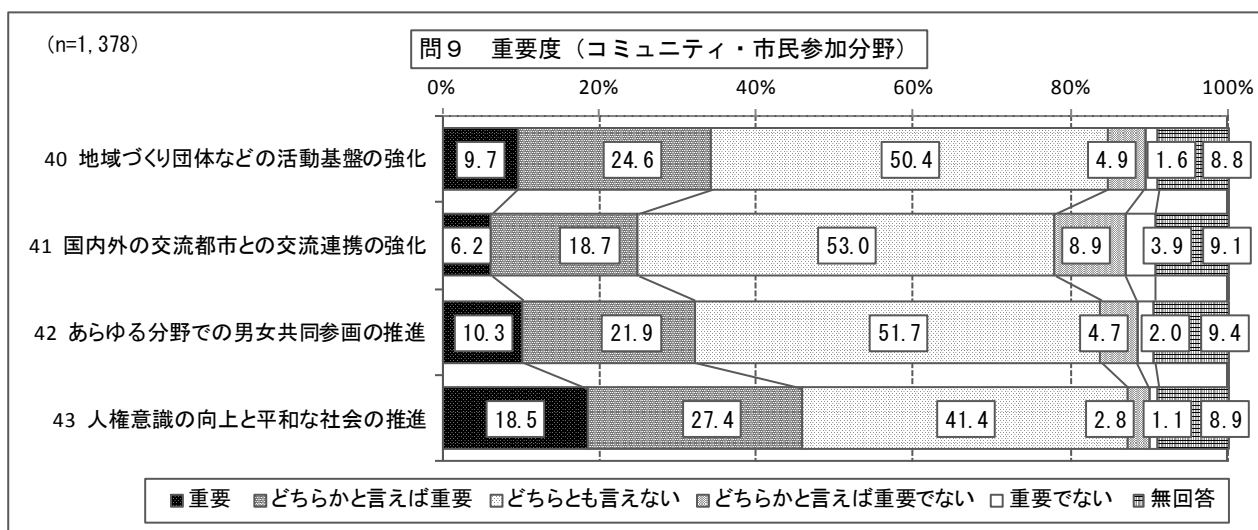


(7) コミュニティ・市民参加分野

【満足度】

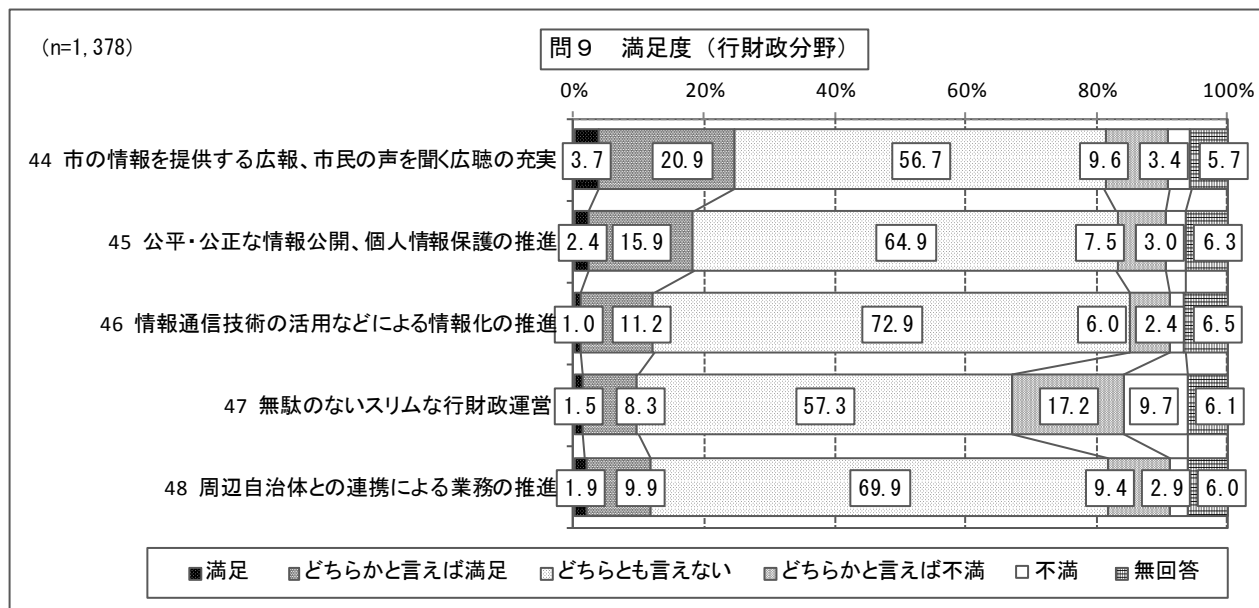


【重要度】

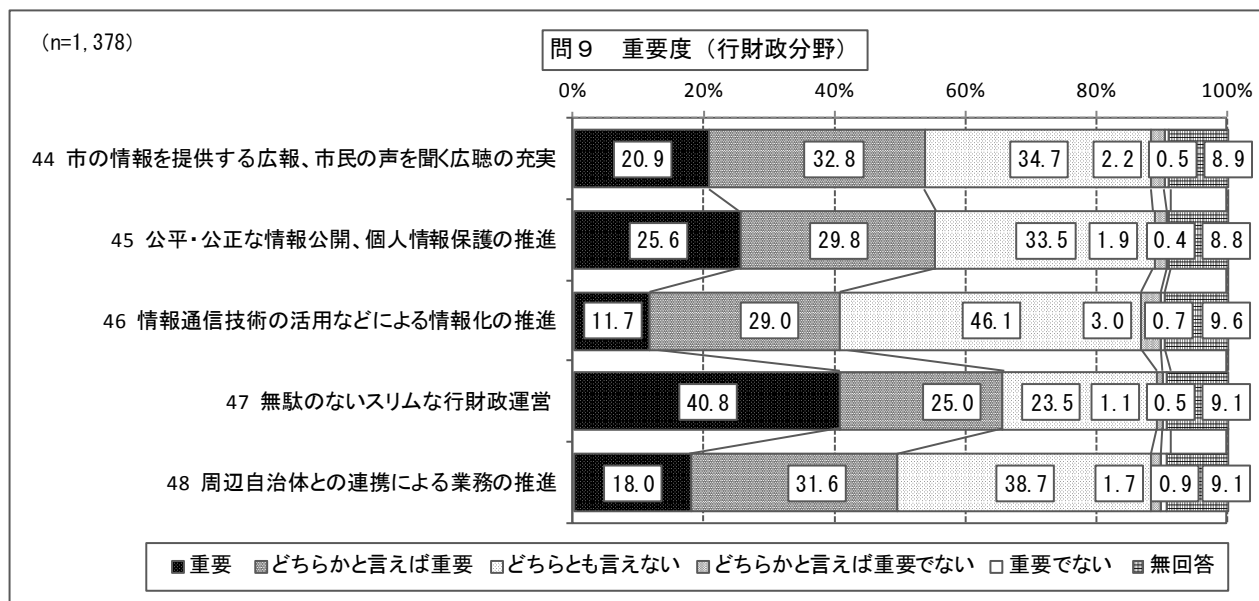


(8) 行財政分野

【満足度】



【重要度】



【満足度の高い項目】

現総合計画の後期基本計画に基づく４８施策について、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた“満足”の回答割合が高い上位１０項目は、以下のとおりです。

項 目	回答割合（％）
１０ いっでも安全に利用できる安定した水の供給	70.6
１１ 公共下水道整備や水洗化の推進	53.3
１ 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	40.6
２１ 市民が安心して受診できる医療体制の充実	40.2
１２ 災害や火災から生活を守る消防力の強化	38.7
６ ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	38.0
２ 生活に身近な道路の整備	32.1
２０ すこやかな生活のための健康づくりの推進	30.3
１４ 交通安全対策の推進	28.4
２８ 幼稚園、小・中学校の教育の充実	26.3

【満足度の低い項目】

現総合計画の後期基本計画に基づく４８施策について、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた“満足”の回答割合が低い上位１０項目は、以下のとおりです。

項 目	回答割合（％）
３６ 商店街の活性化と商業の振興	7.1
４１ 国内外の交流都市との交流連携の強化	7.9
３５ 創業・活性化支援による工業の振興	8.3
３８ 地域資源の活用による新たな観光資源の開発	9.3
３９ 雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	9.3
４７ 無駄のないスリムな行財政運営	9.8
４２ あらゆる分野での男女共同参画の推進	10.0
４０ 地域づくり団体などの活動基盤の強化	10.3
１８ 市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	11.1
５ 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	11.4

【重要度の高い項目】

現総合計画の後期基本計画に基づく４８施策について、「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた“重要”の回答割合が高い上位１０項目は、以下のとおりです。

項 目	回答割合（％）
１０ いつでも安全に利用できる安定した水の供給	80.2
２１ 市民が安心して受診できる医療体制の充実	77.9
１３ 災害などの発生に備える防災機能の強化	74.5
１２ 災害や火災から生活を守る消防力の強化	74.0
２３ 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	70.6
１４ 交通安全対策の推進	69.9
１７ 安心して暮らせる防犯体制の整備	69.6
１１ 公共下水道整備や水洗化の推進	69.0
２ 生活に身近な道路の整備	68.1
２６ 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	66.8

【重要度の低い項目】

現総合計画の後期基本計画に基づく４８施策について、「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた“重要”の回答割合が低い上位１０項目は、以下のとおりです。

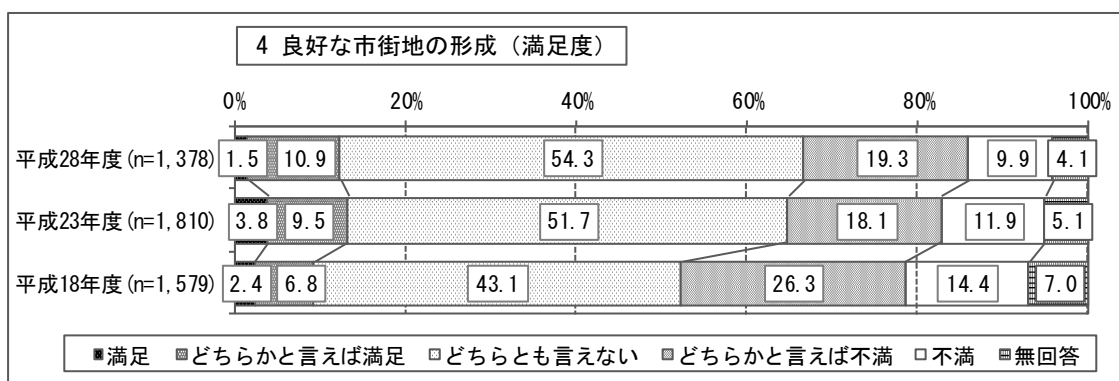
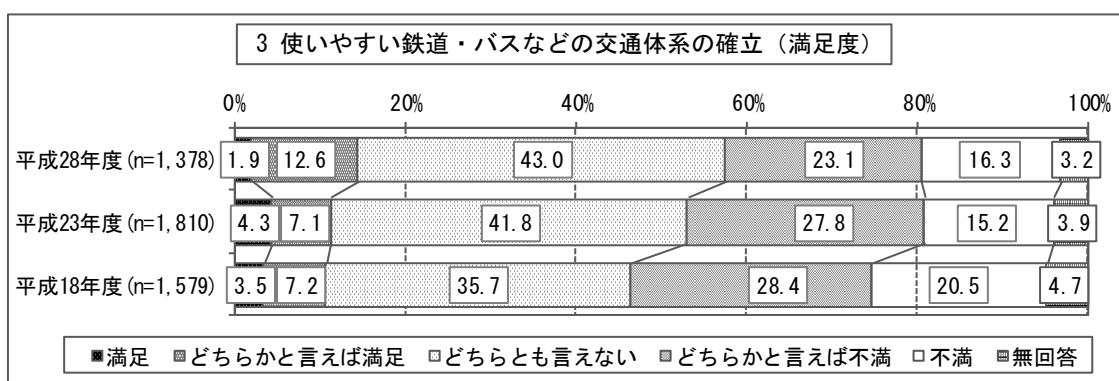
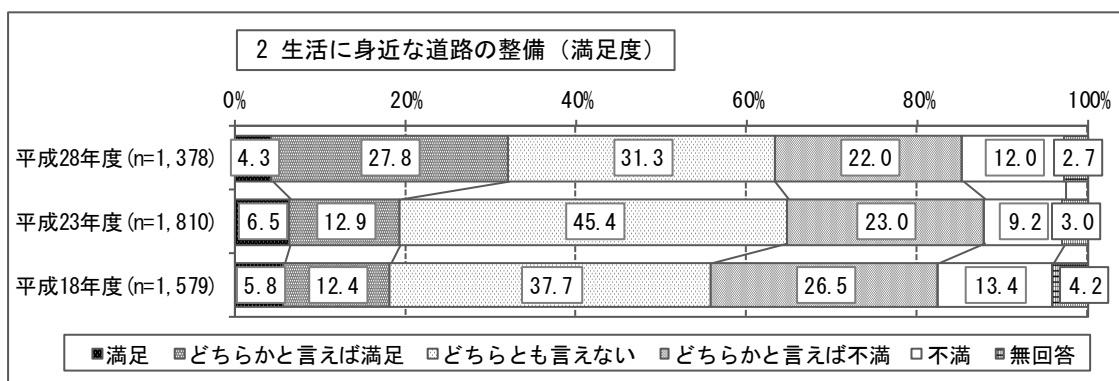
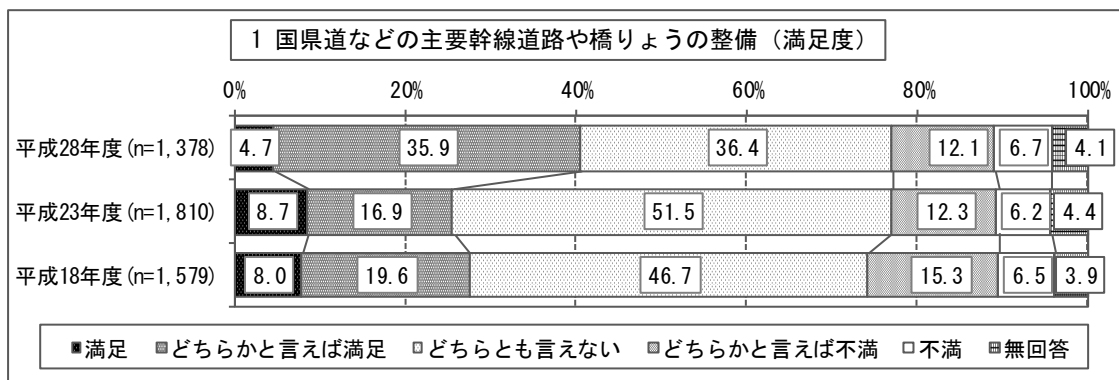
項 目	回答割合（％）
４１ 国内外の交流都市との交流連携の強化	24.9
４２ あらゆる分野での男女共同参画の推進	32.2
４０ 地域づくり団体などの活動基盤の強化	34.3
３３ 生涯スポーツ、競技スポーツの振興	35.9
３５ 創業・活性化支援による工業の振興	40.3
４６ 情報通信技術の活用などによる情報化の推進	40.7
３４ 豊かな自然を活かした農林業の振興	44.1
４ 良好な市街地の形成	45.3
４３ 人権意識の向上と平和な社会の推進	45.9
５ 自然エネルギーの導入や環境対策の推進	46.8

◎過去の市民意識調査結果との比較

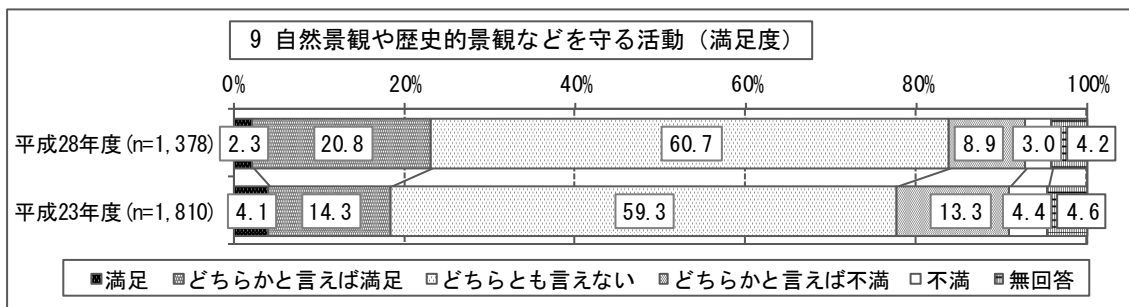
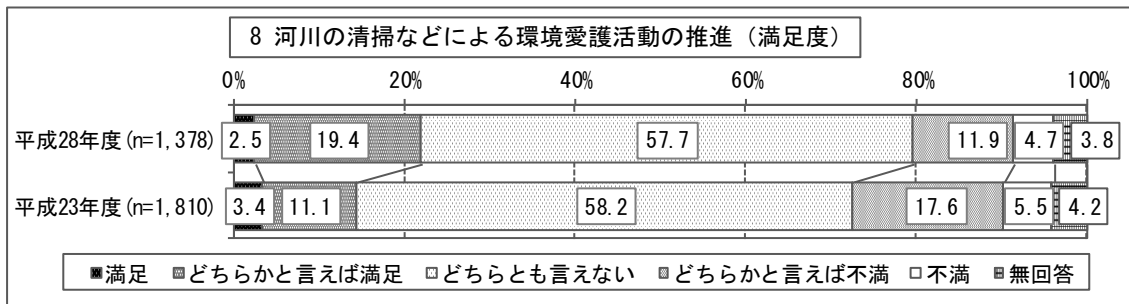
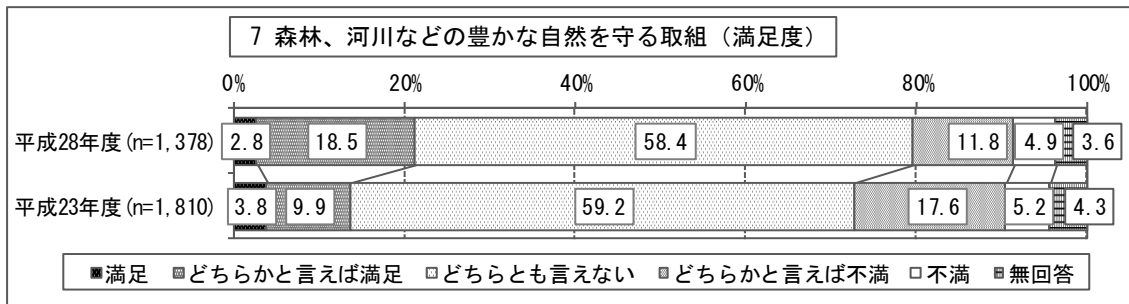
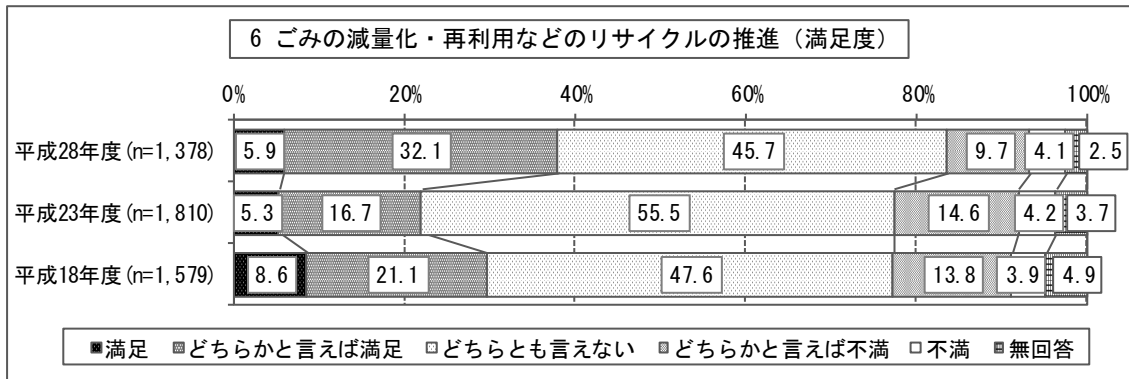
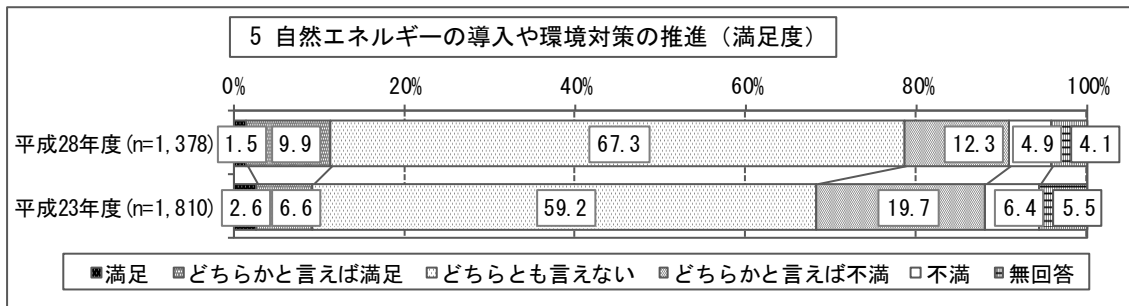
平成18（2006）年度市民意識調査及び平成23（2011）年度市民意識調査と比較した結果は、以下のとおりです。

【満足度】

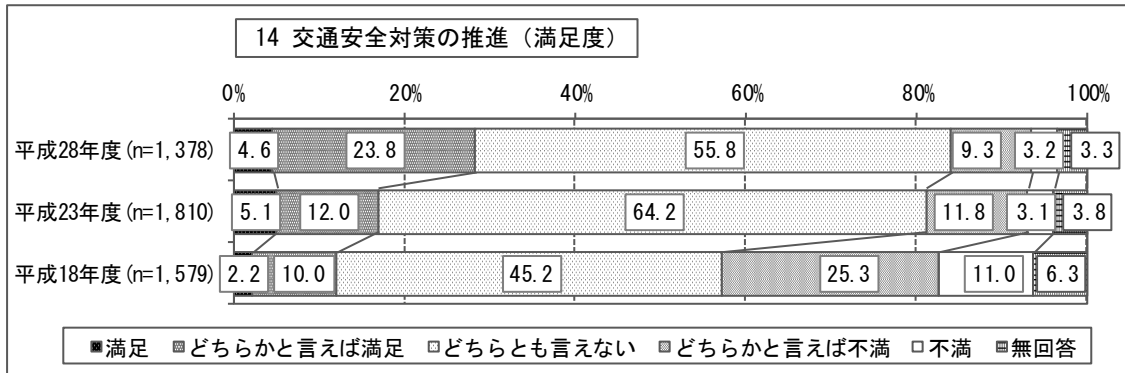
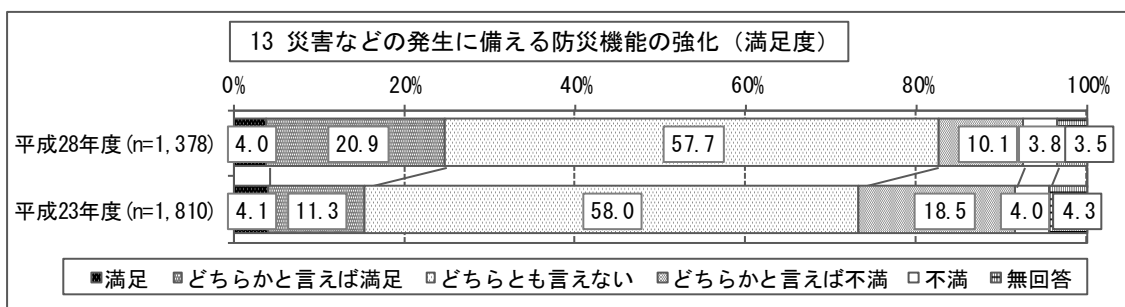
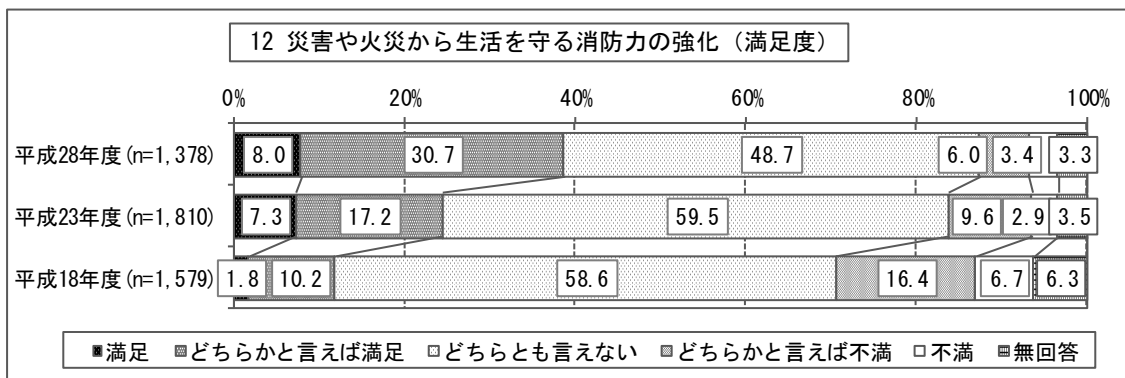
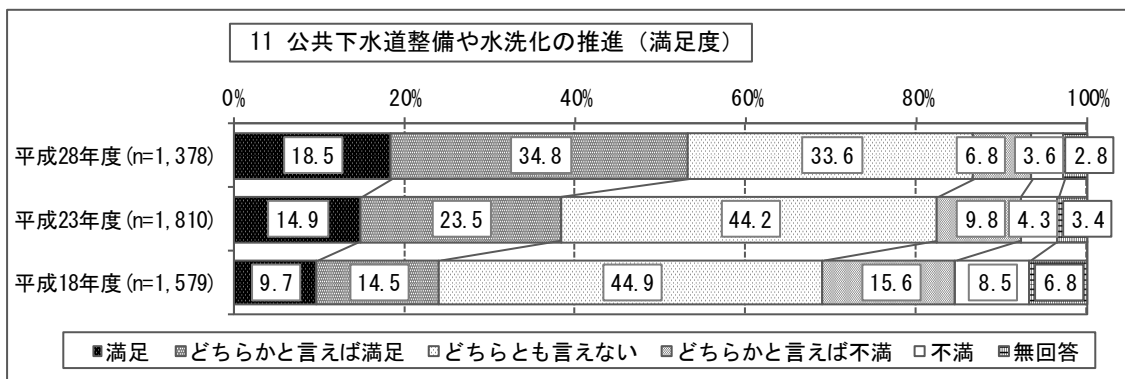
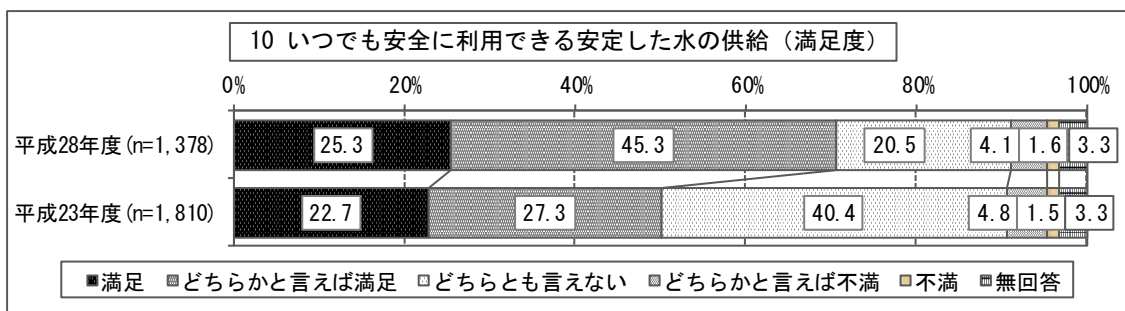
（1）都市基盤分野

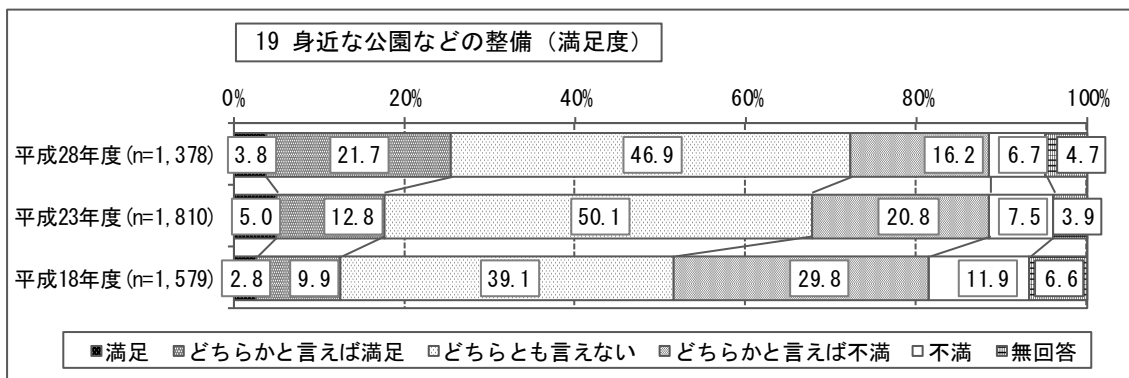
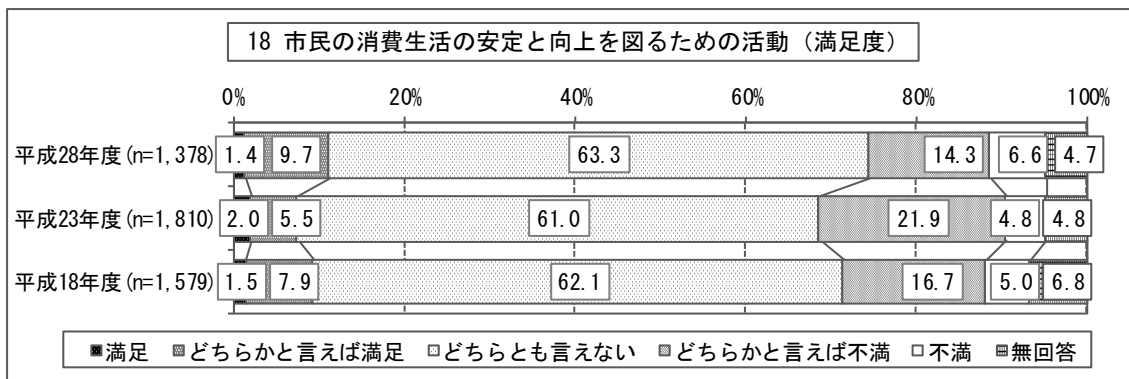
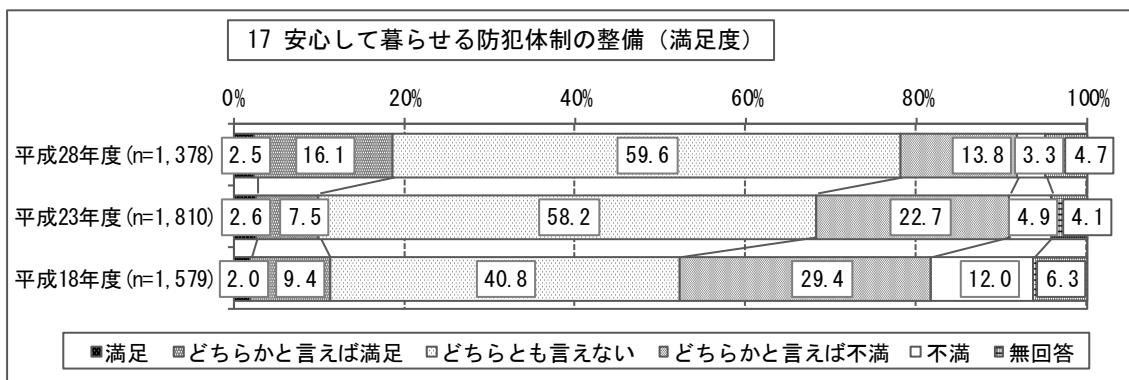
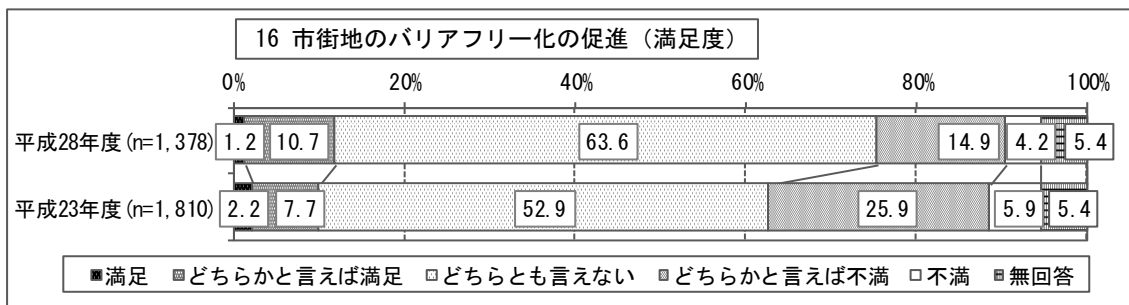
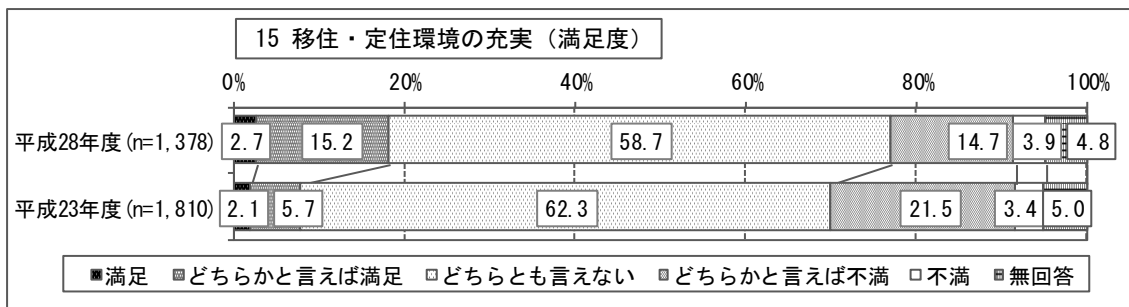


(2) 自然環境分野

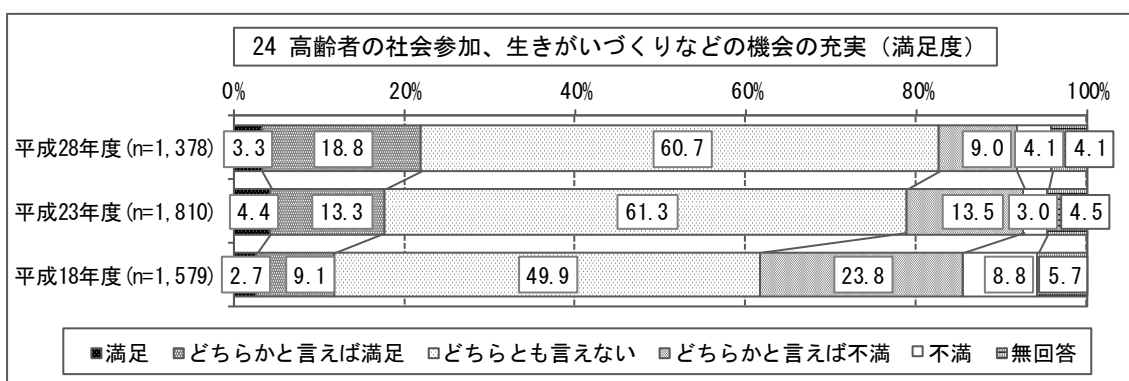
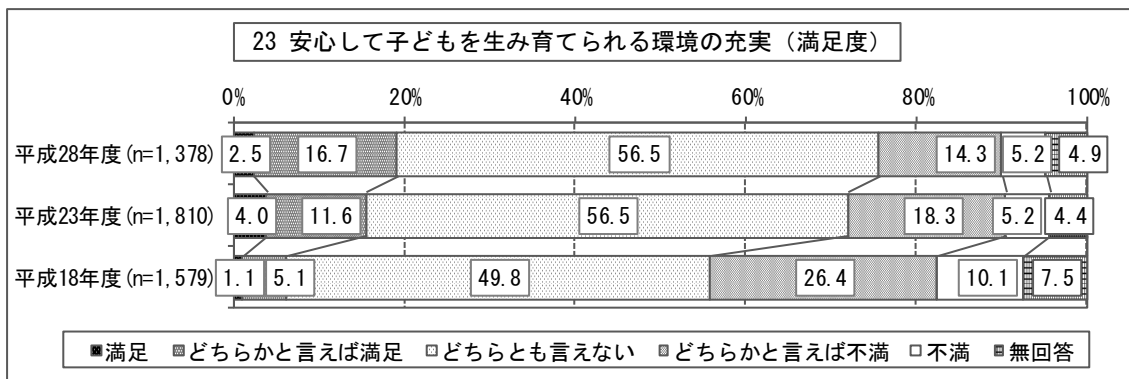
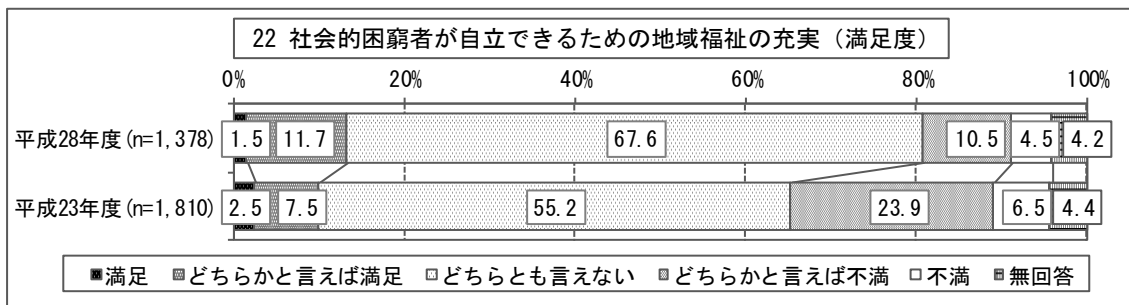
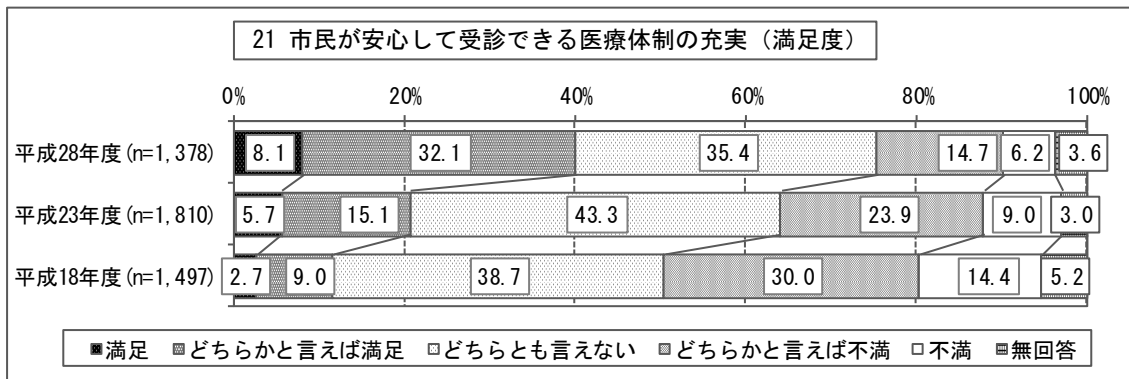
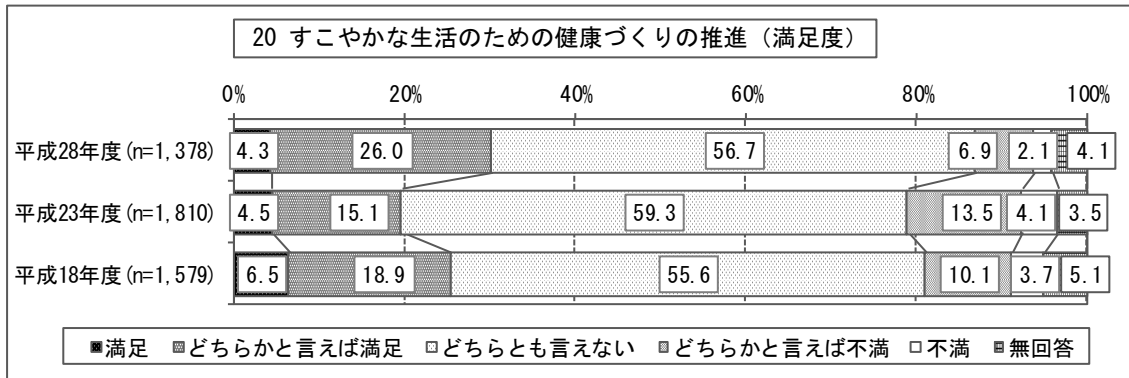


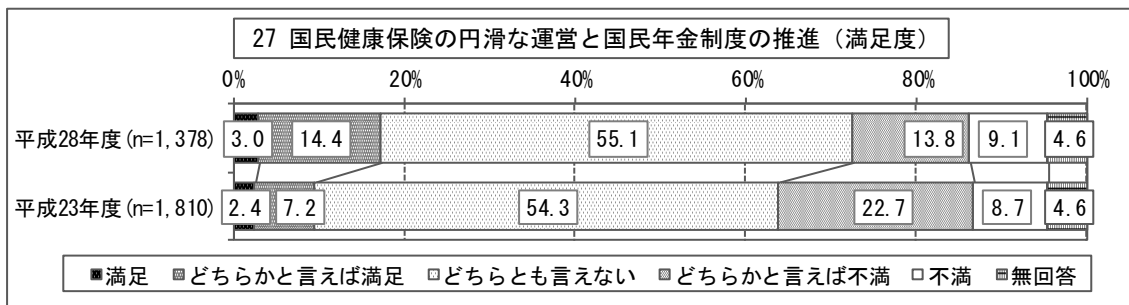
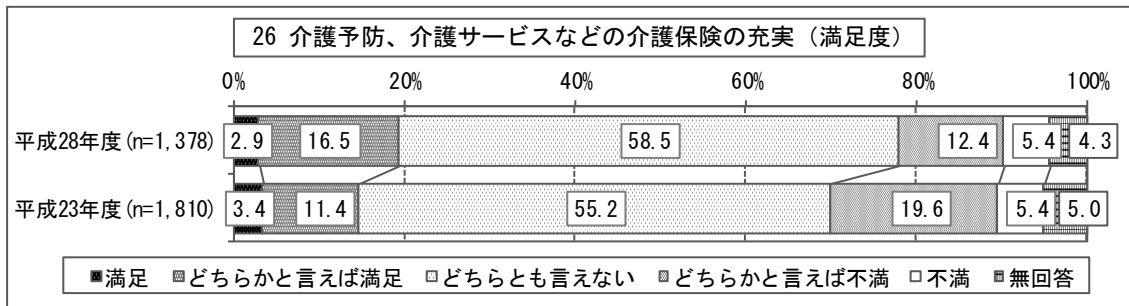
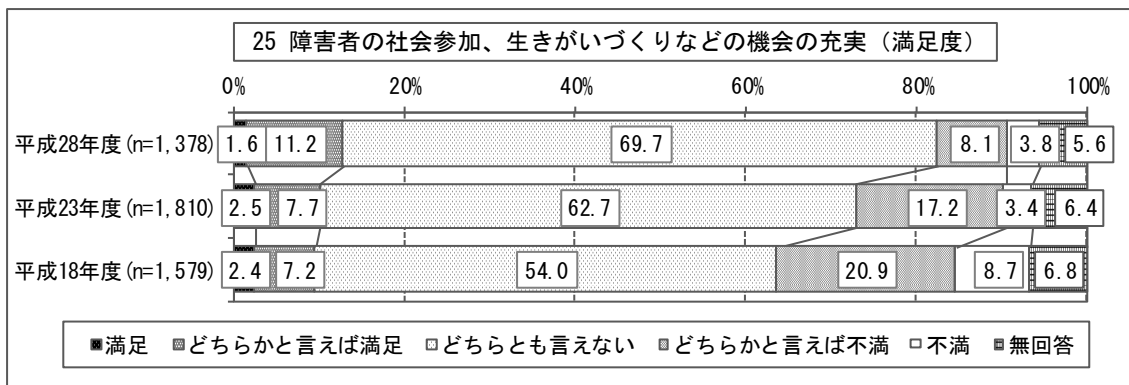
(3) 生活環境分野



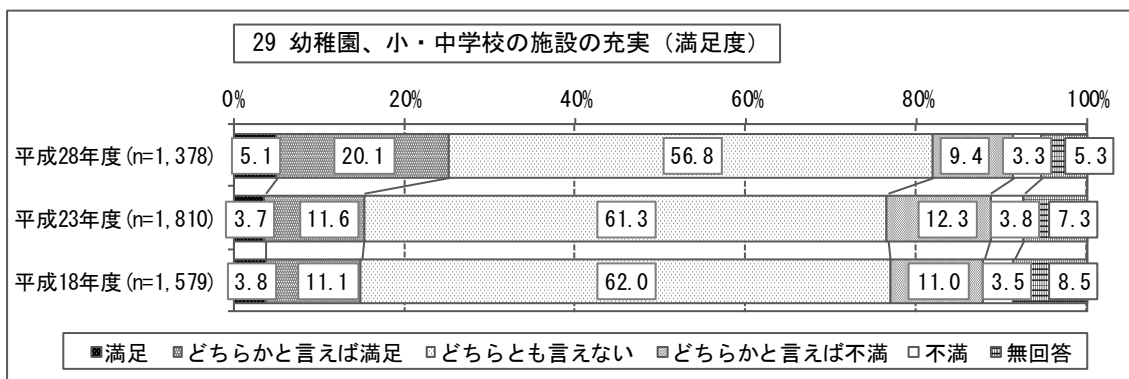
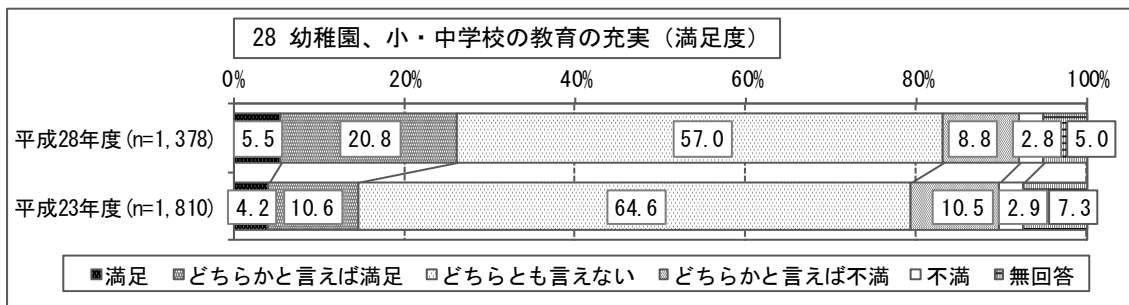


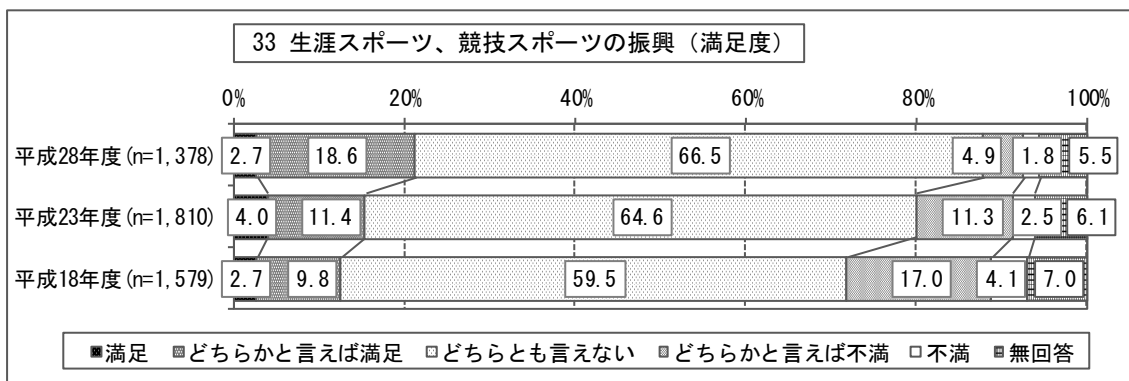
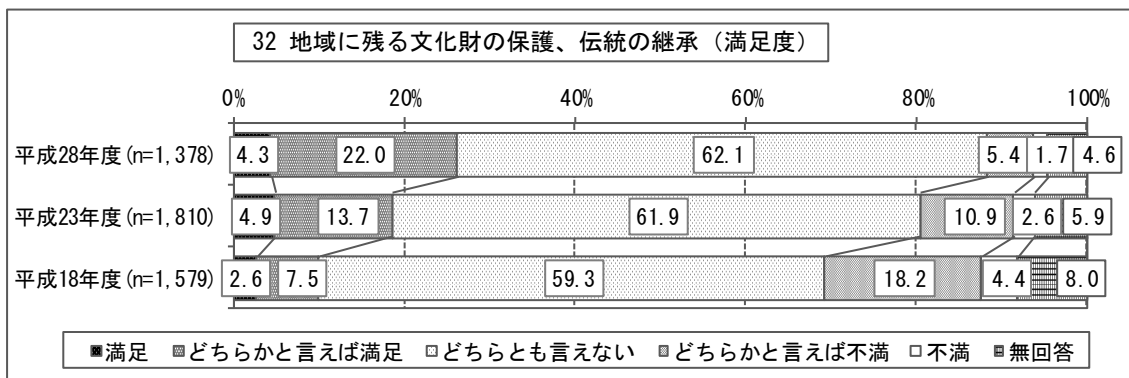
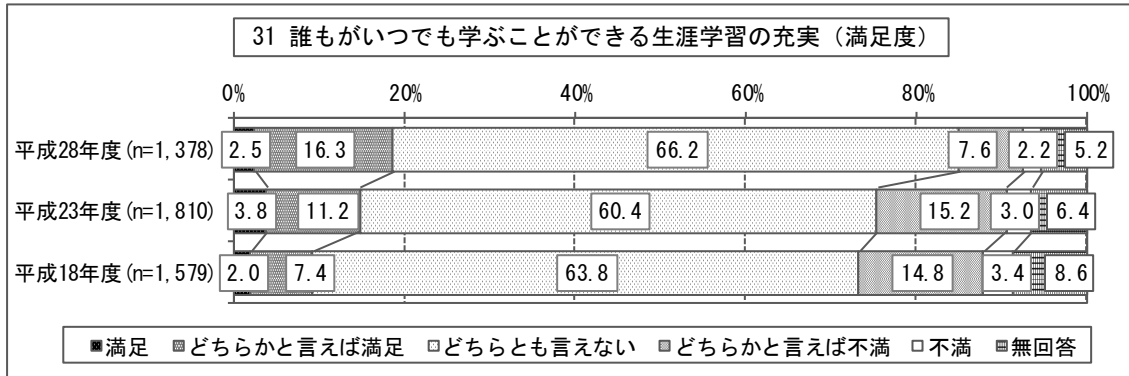
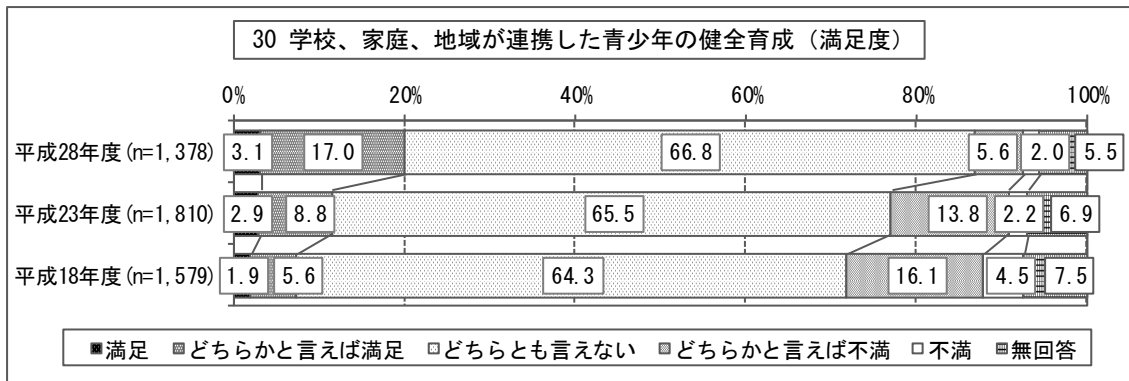
(4) 健康・福祉分野



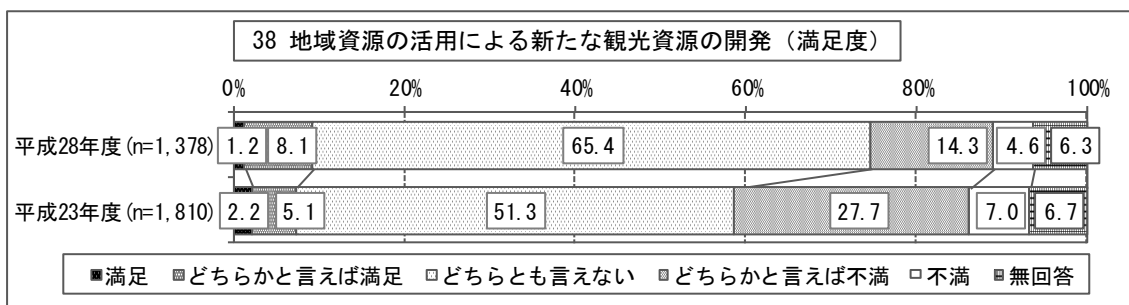
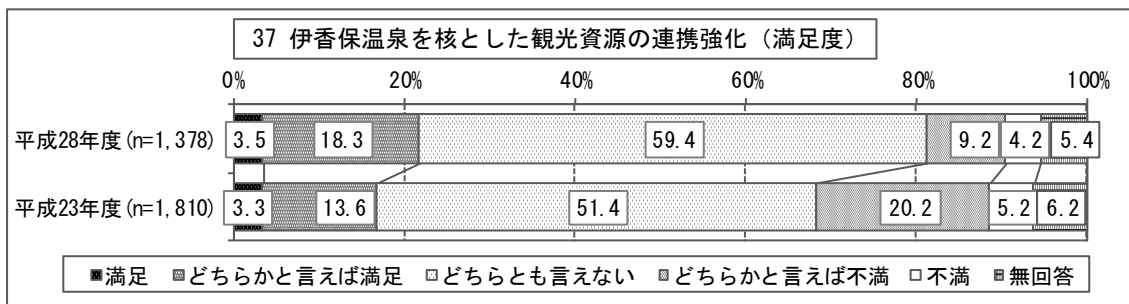
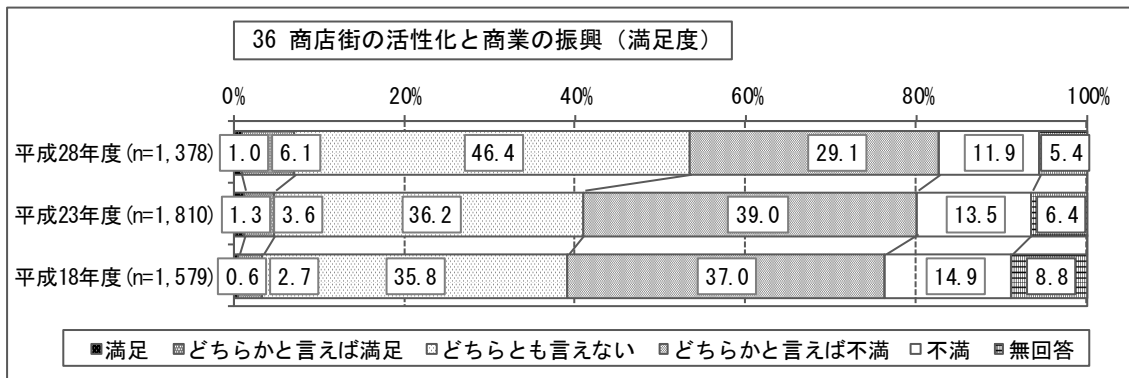
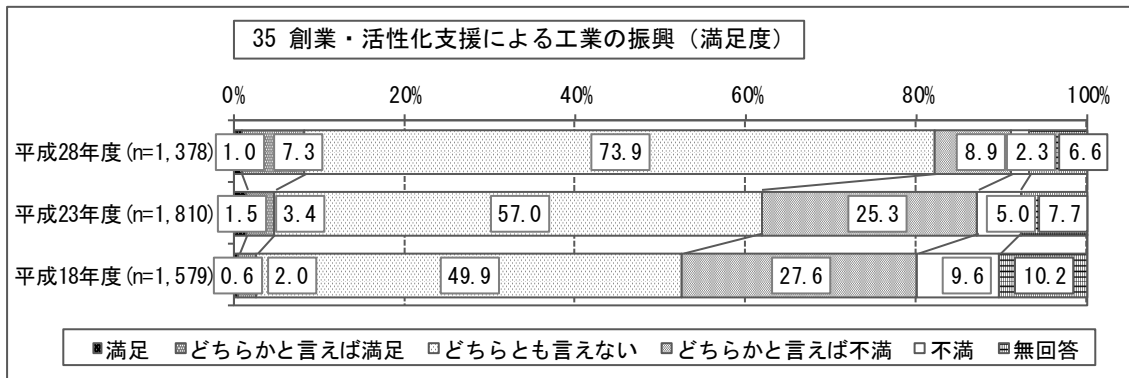
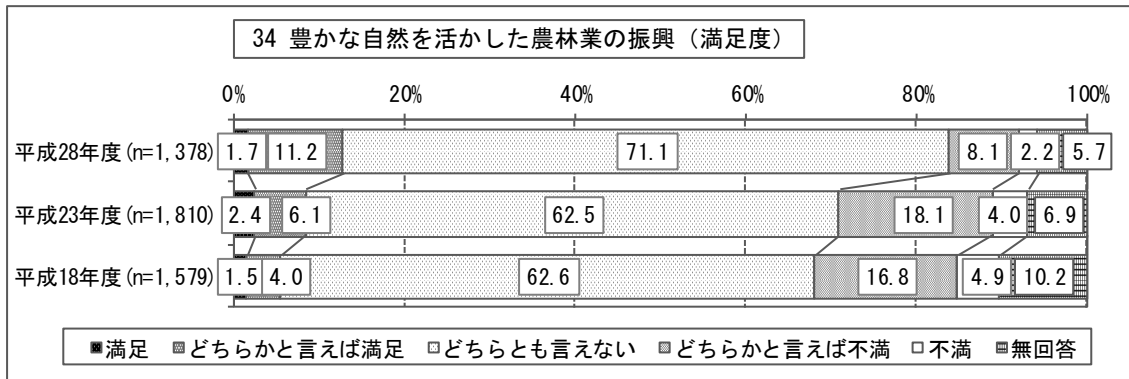


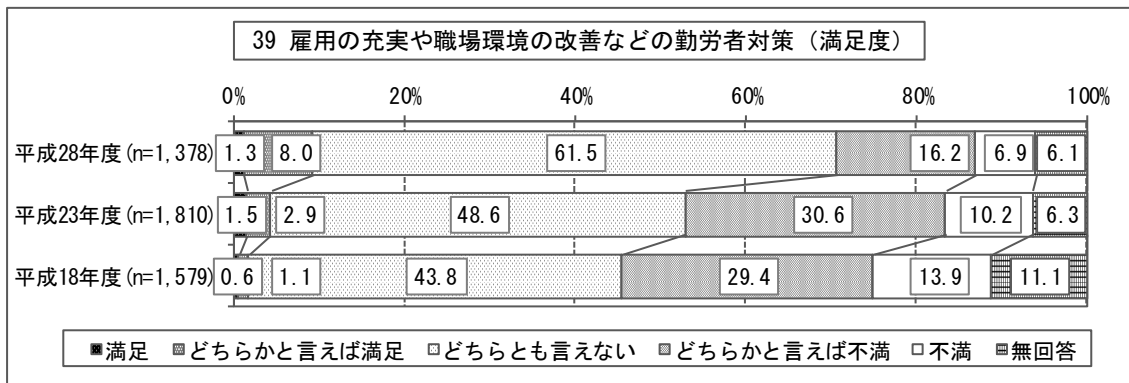
（５）教育・文化・スポーツ分野



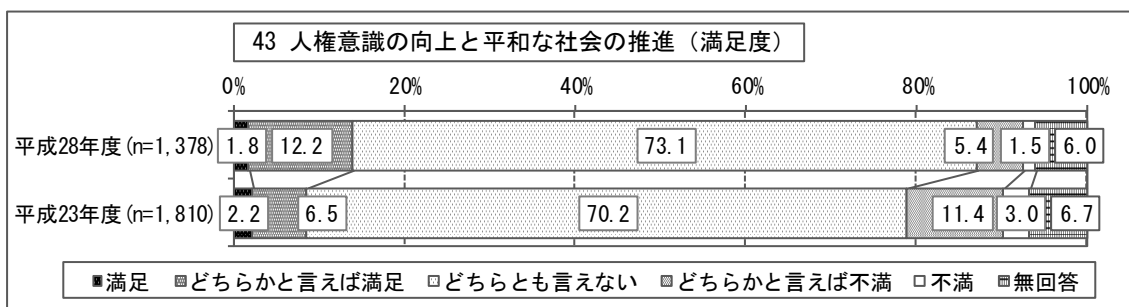
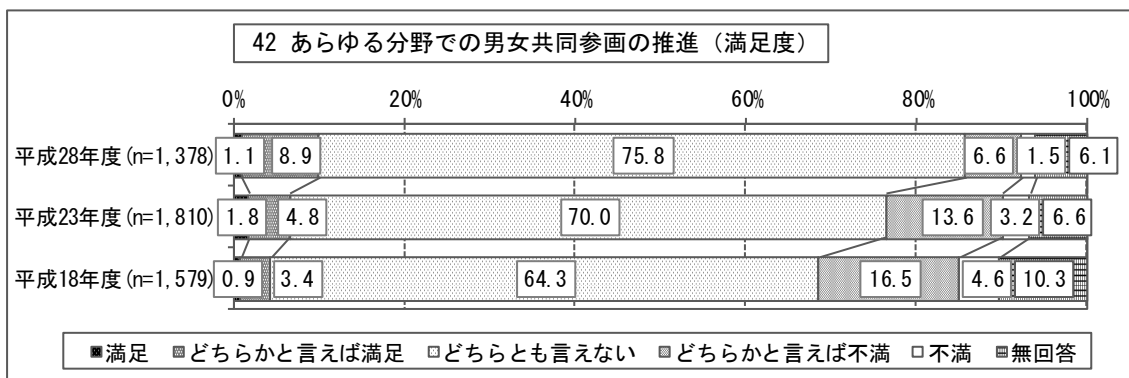
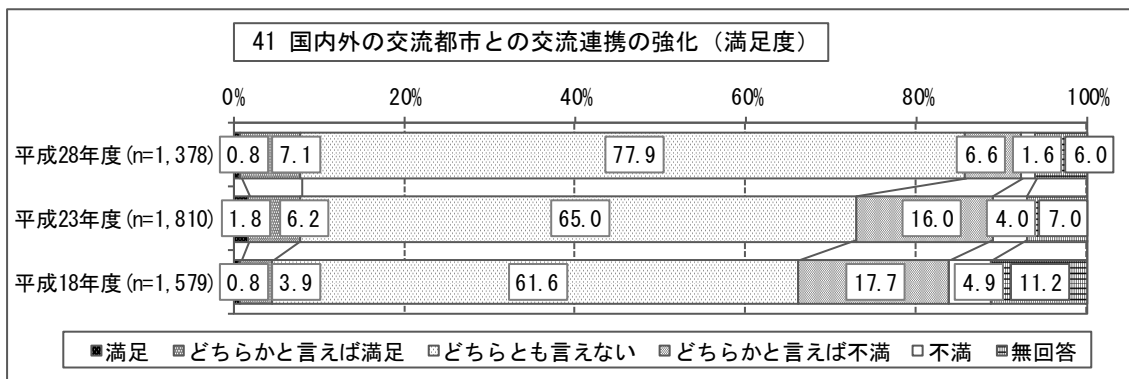
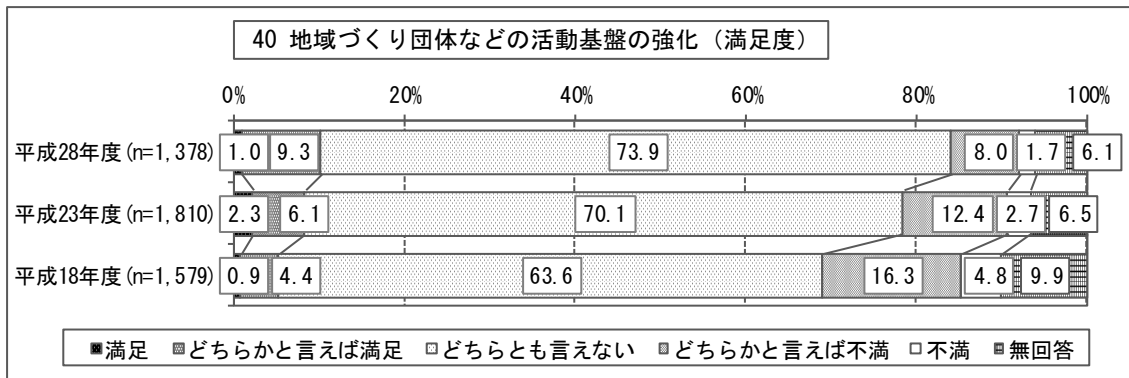


(6) 産業分野

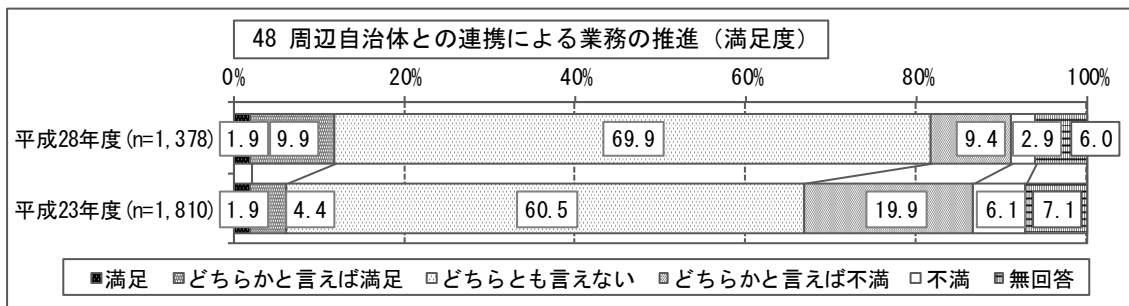
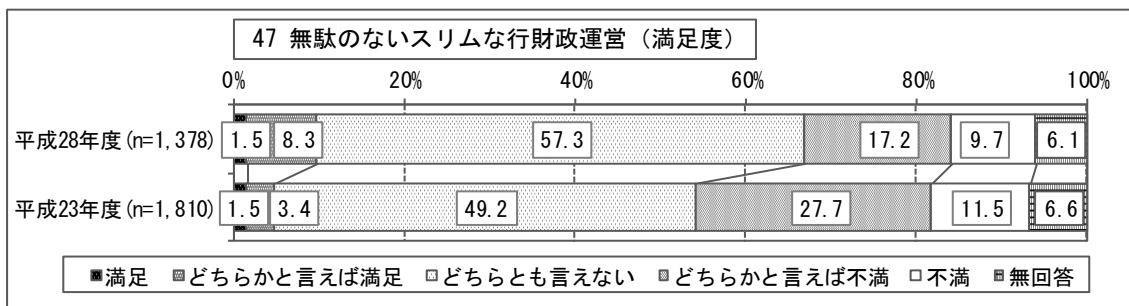
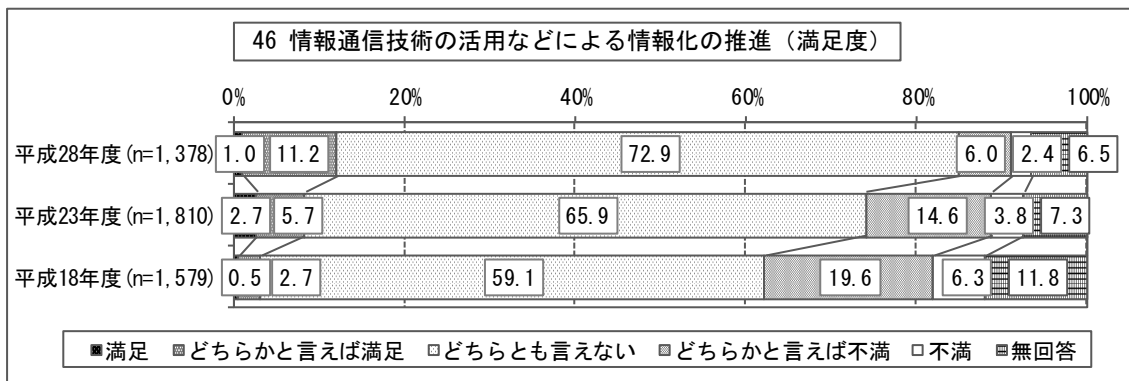
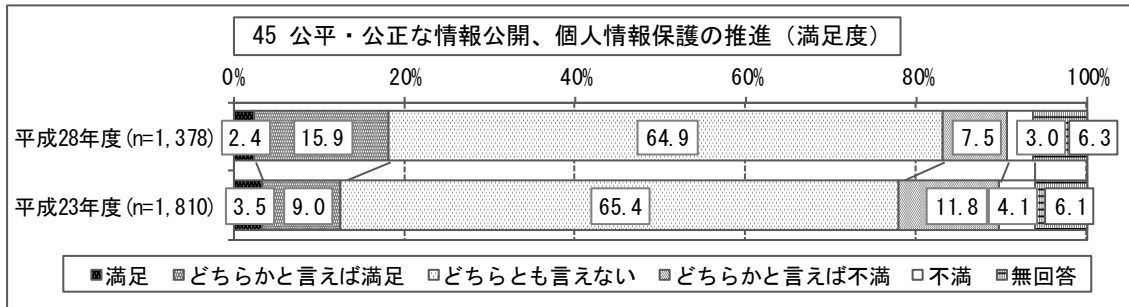
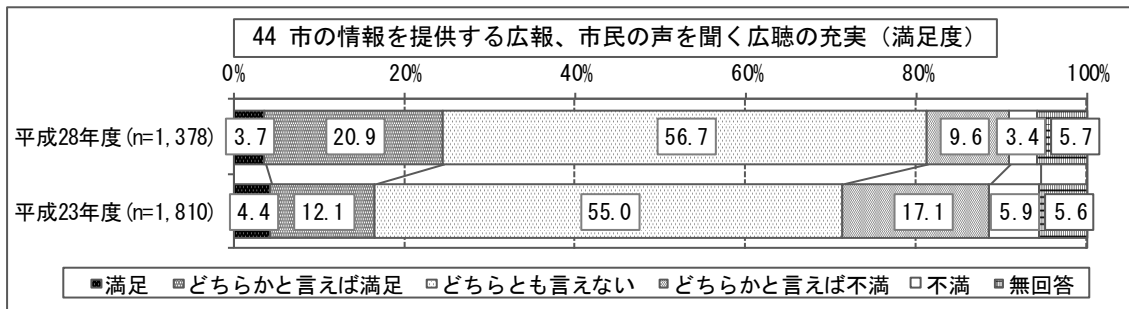




(7) コミュニティ・市民参加分野

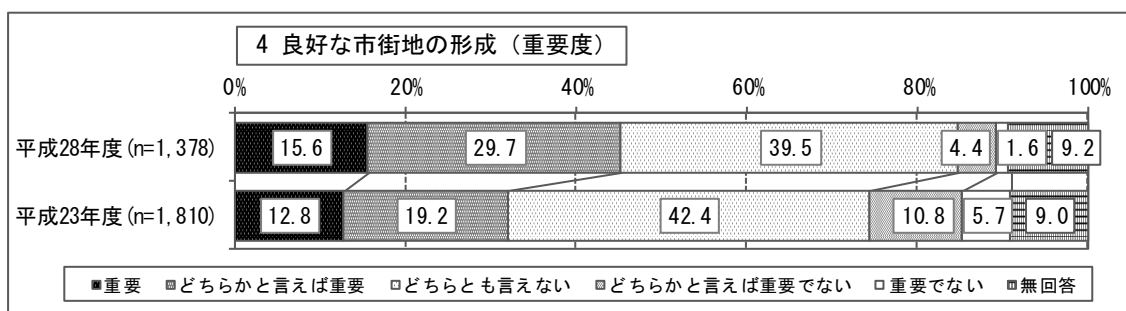
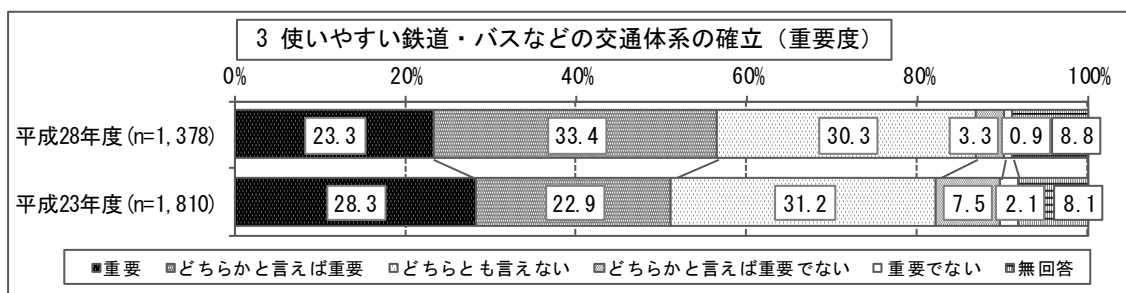
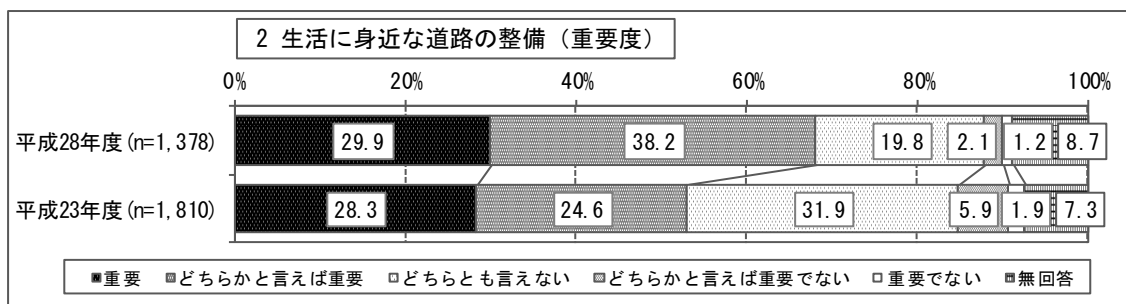
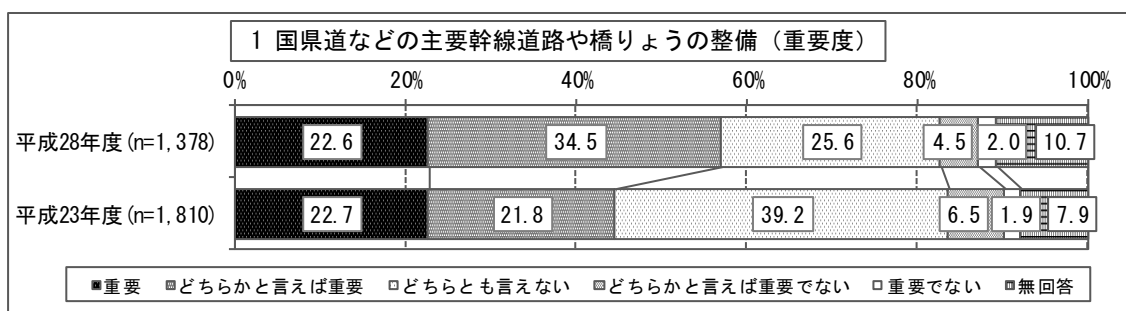


(8) 行財政分野

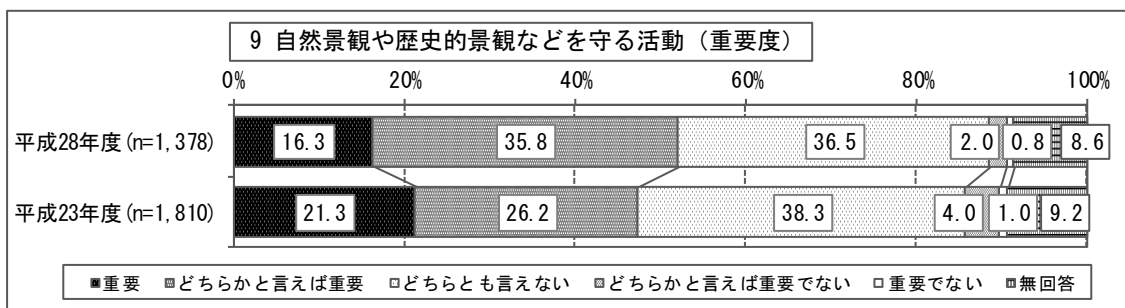
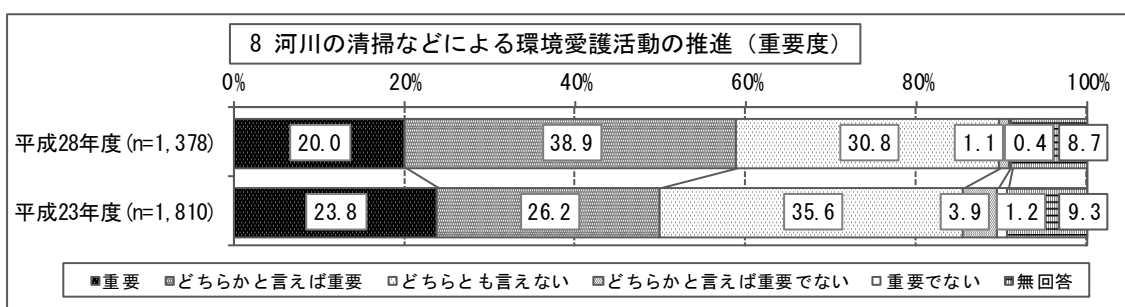
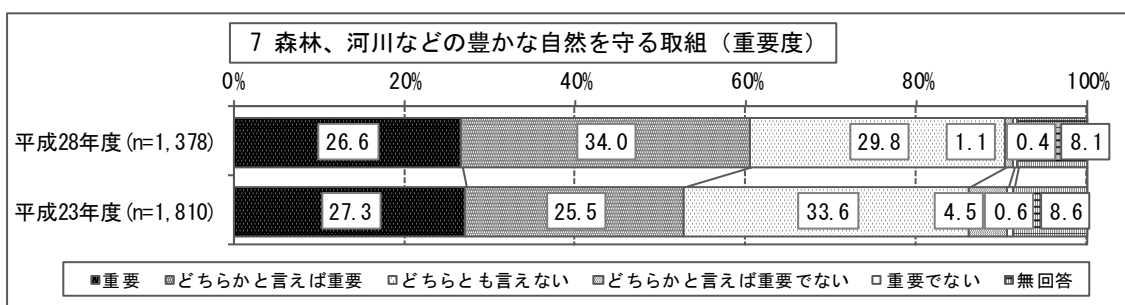
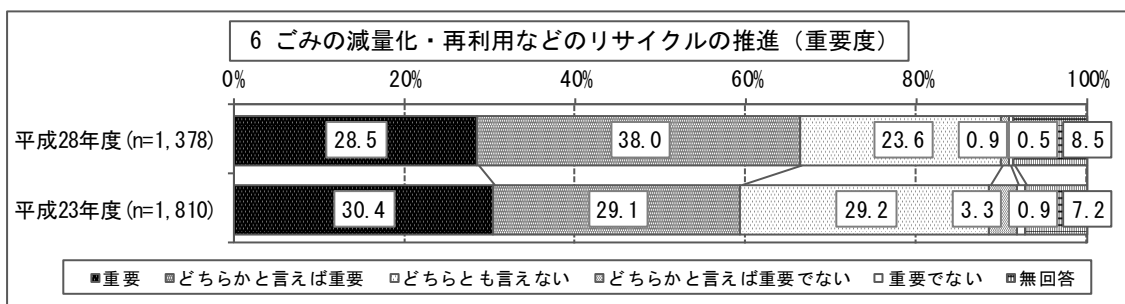
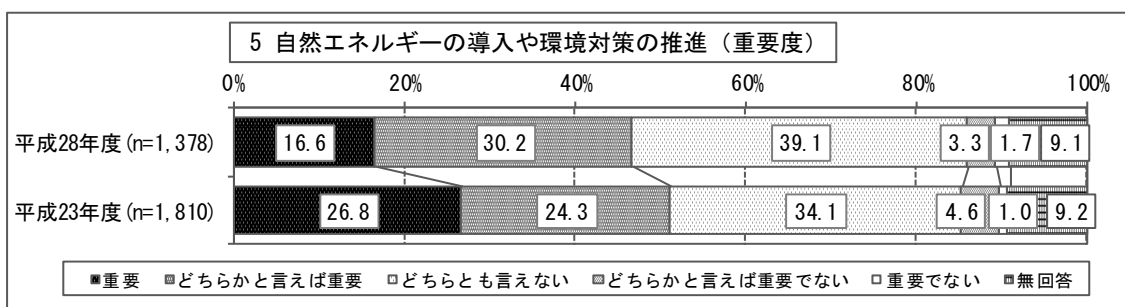


【重要度】

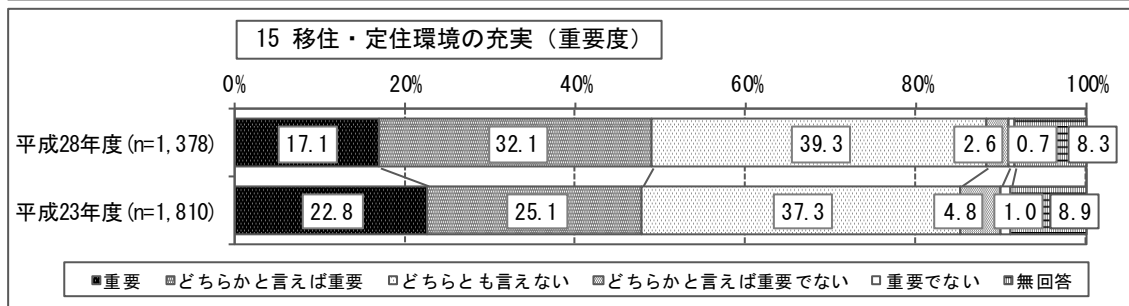
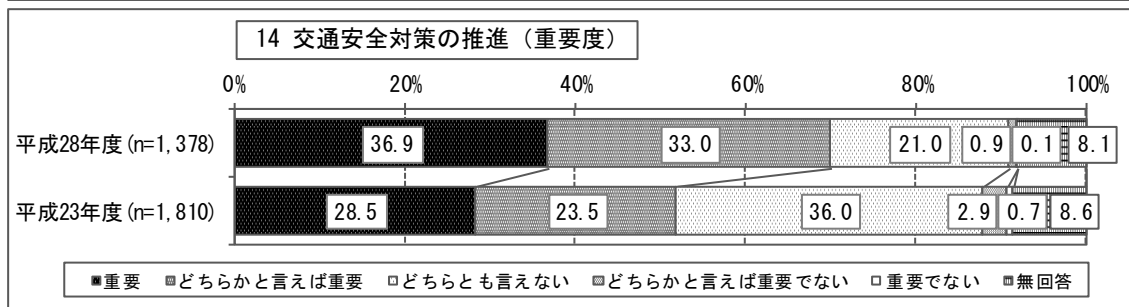
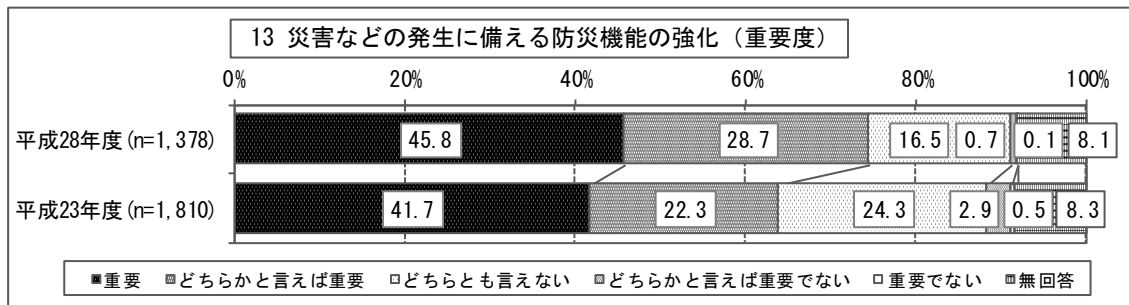
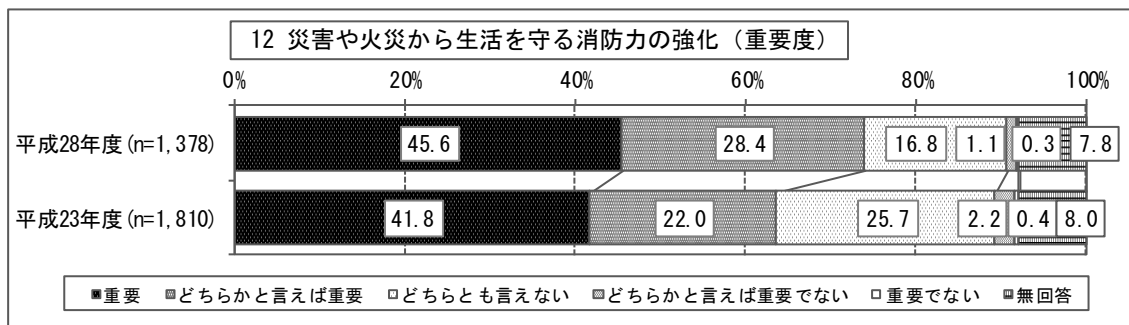
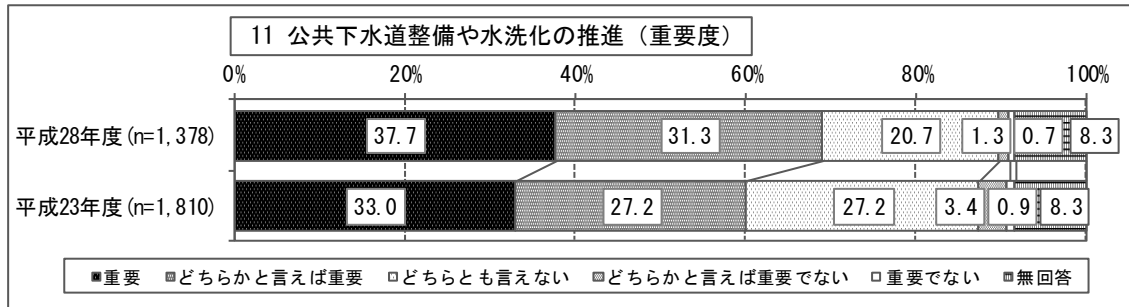
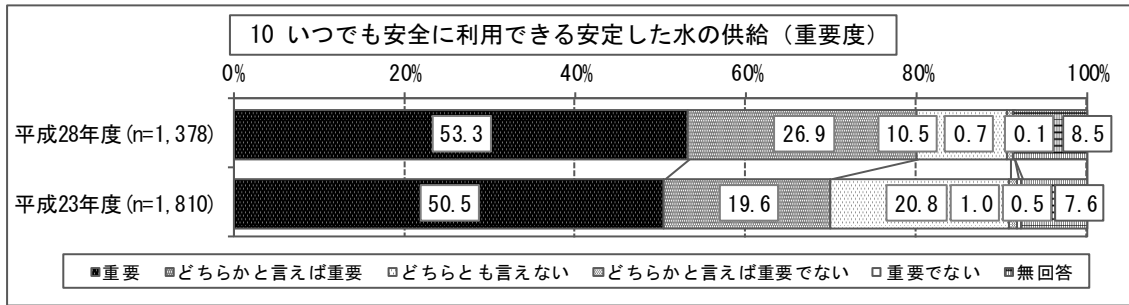
(1) 都市基盤分野

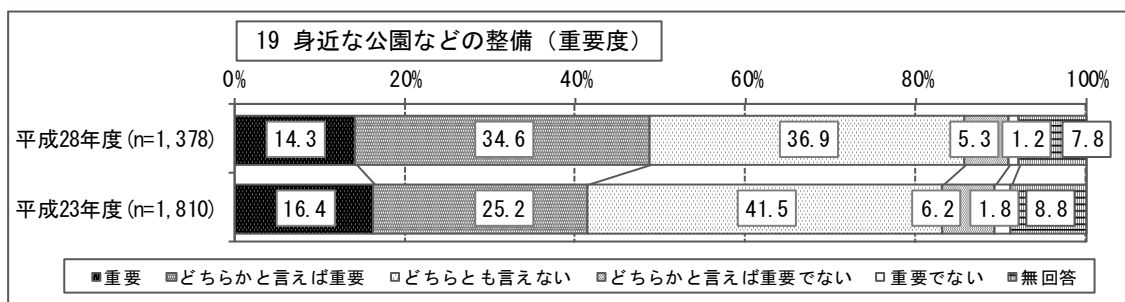
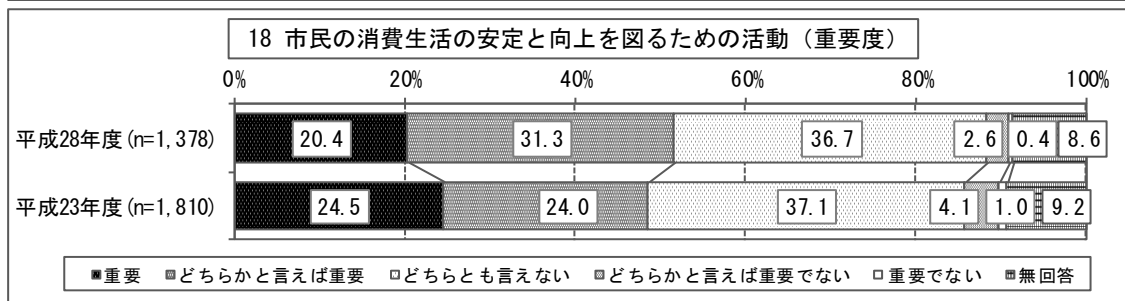
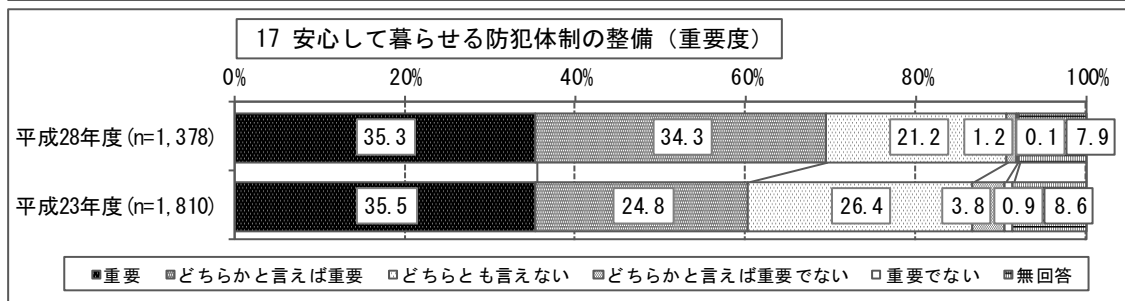
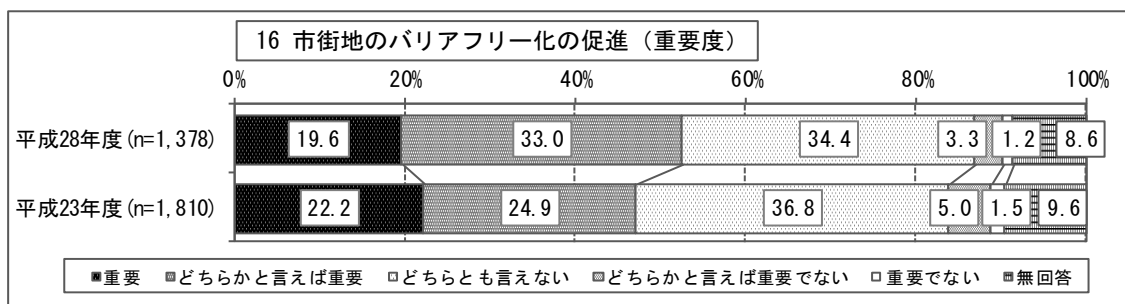


(2) 自然環境分野

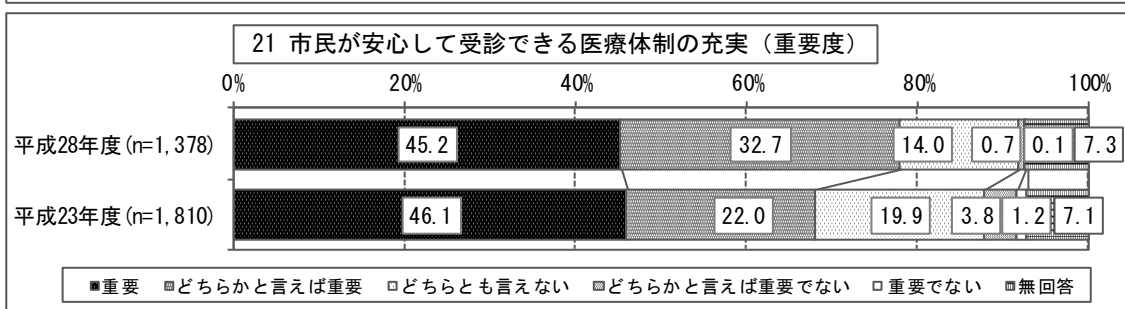
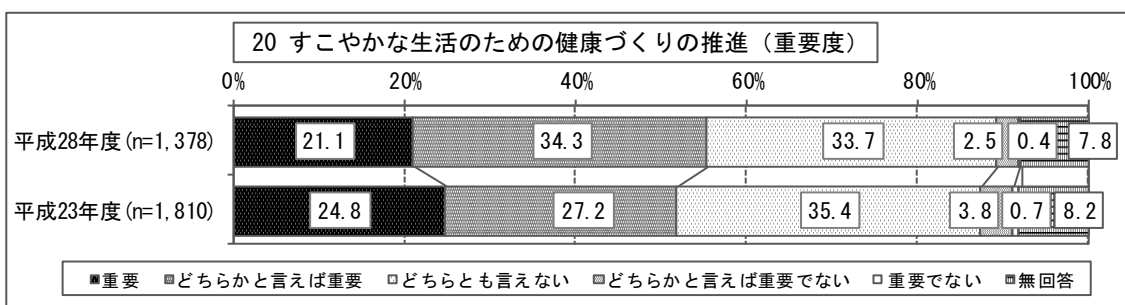


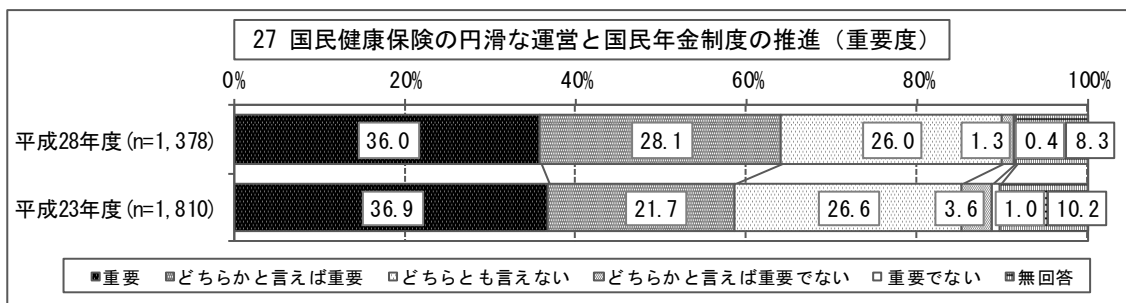
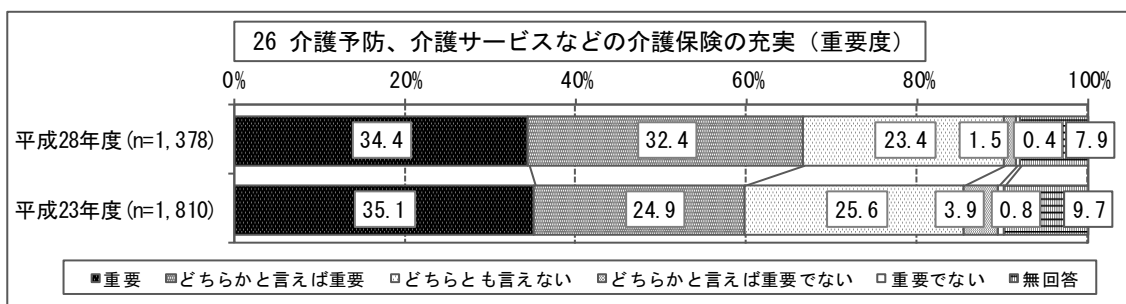
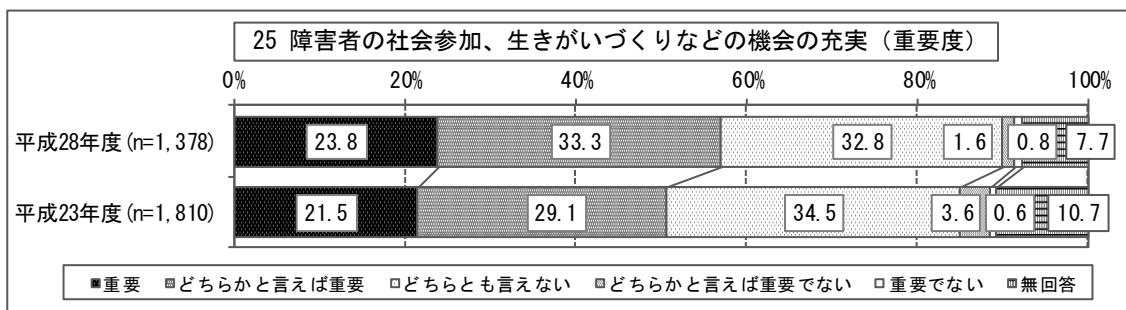
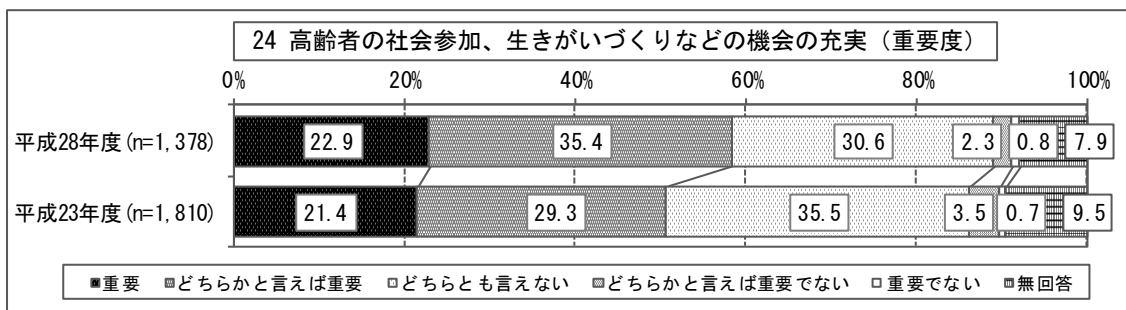
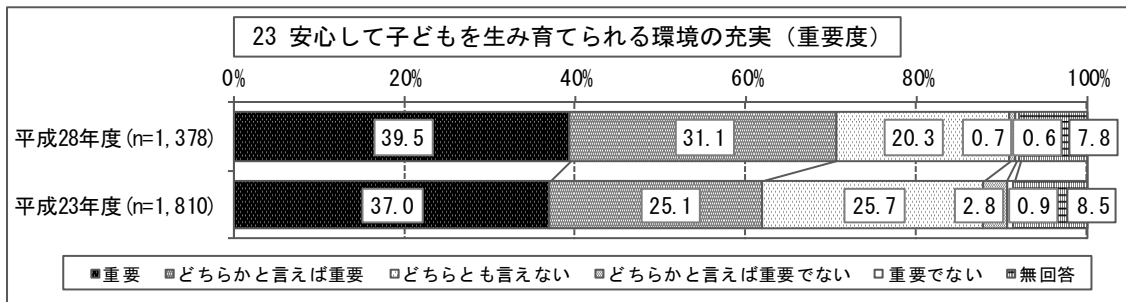
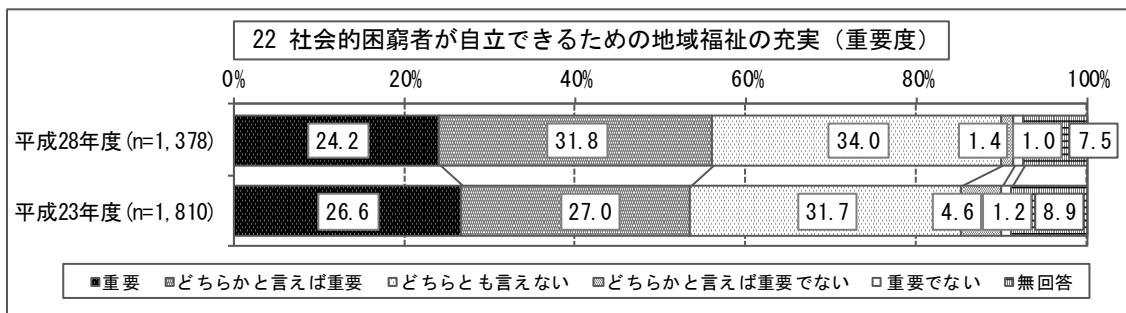
(3) 生活環境分野



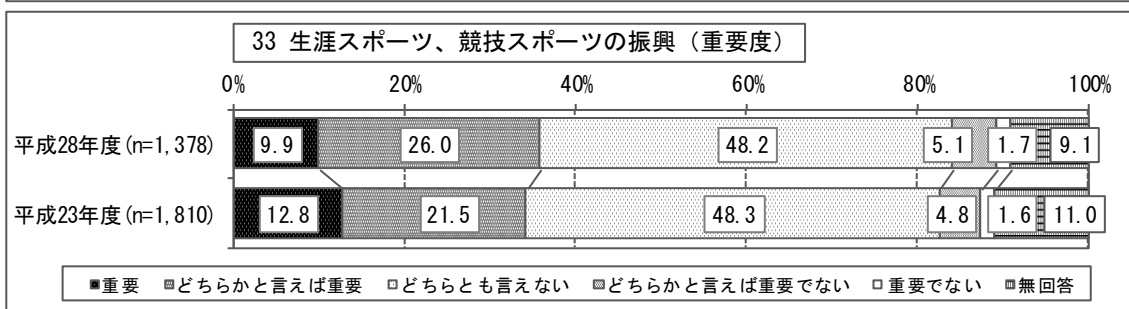
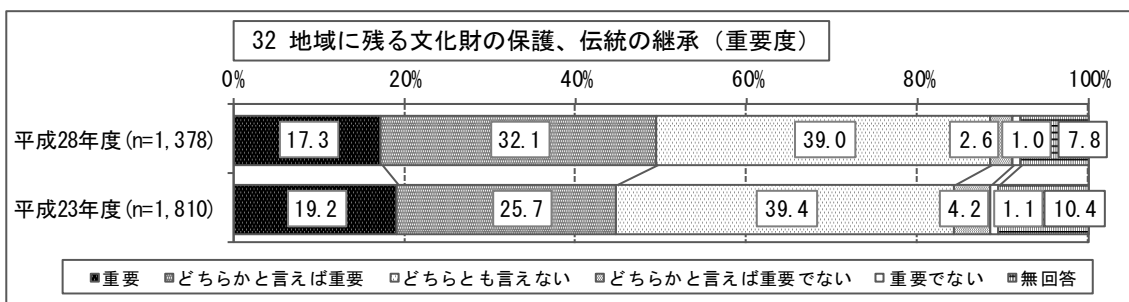
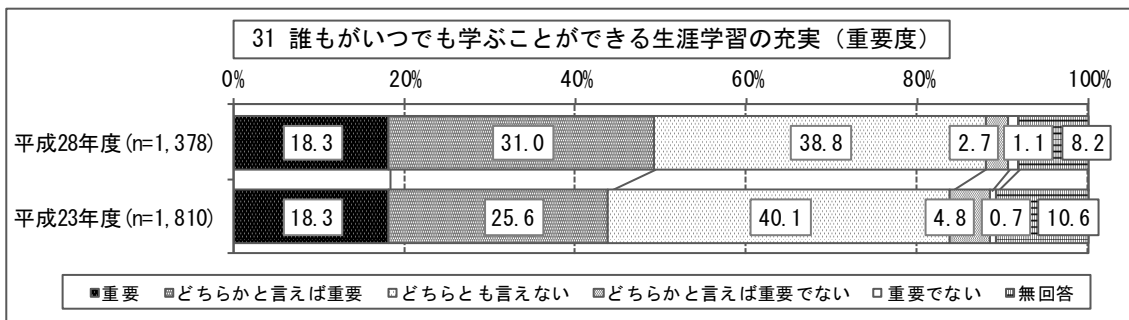
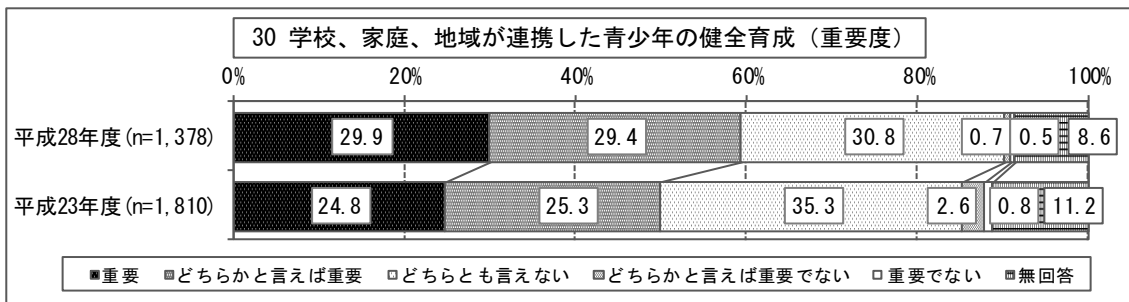
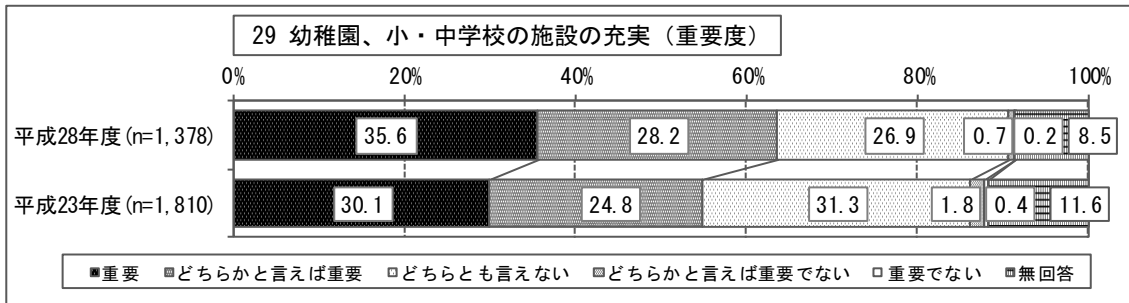
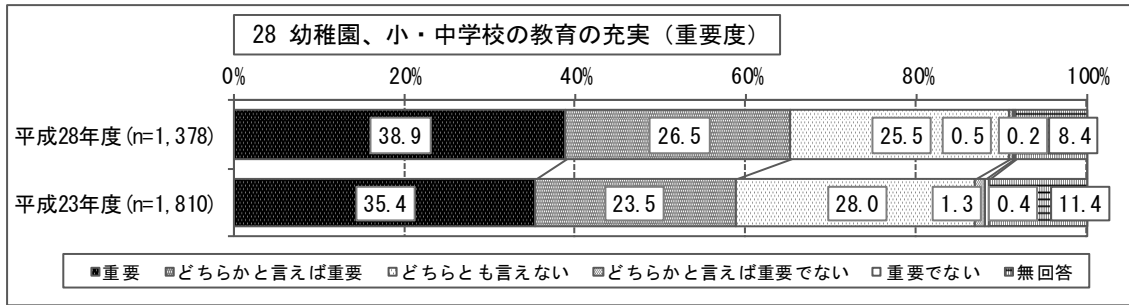


（４）健康・福祉分野

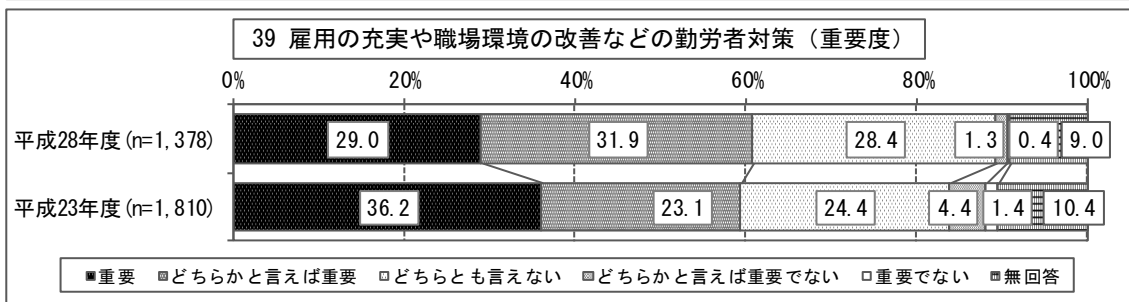
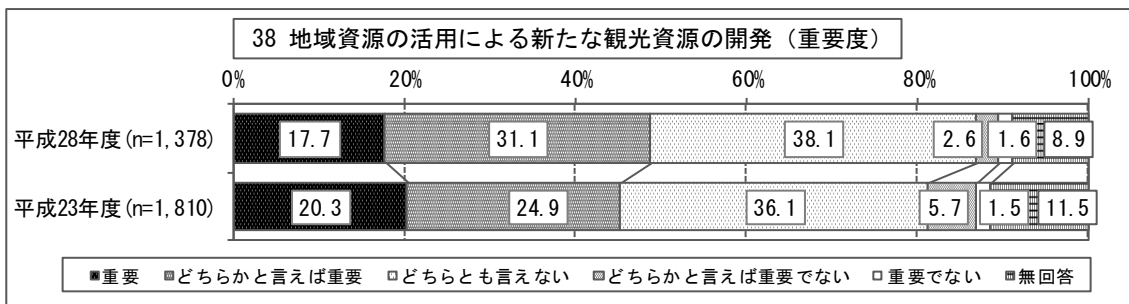
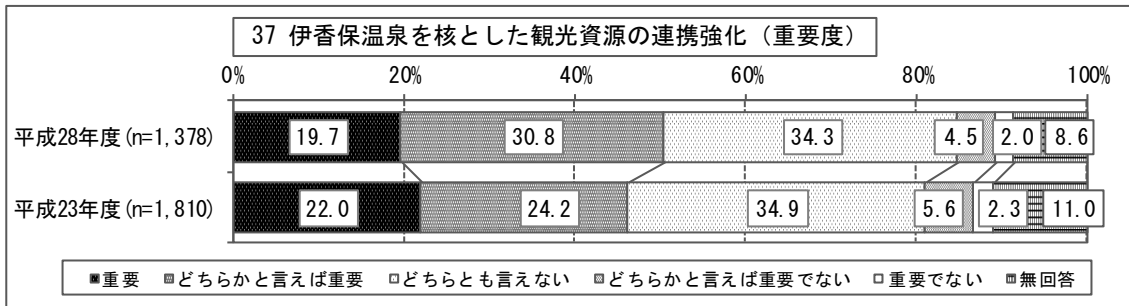
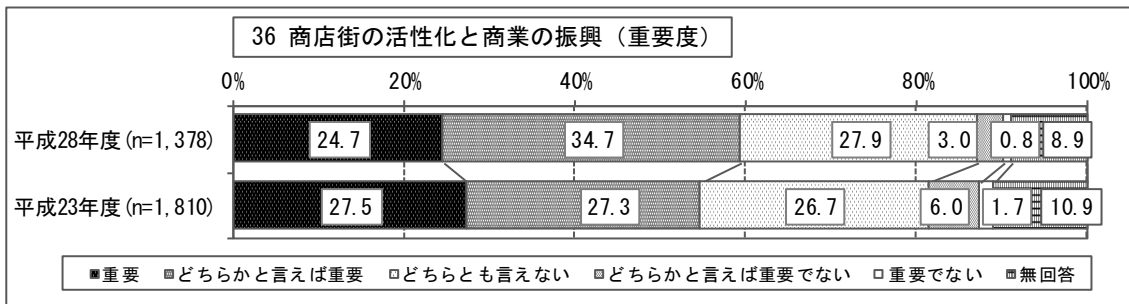
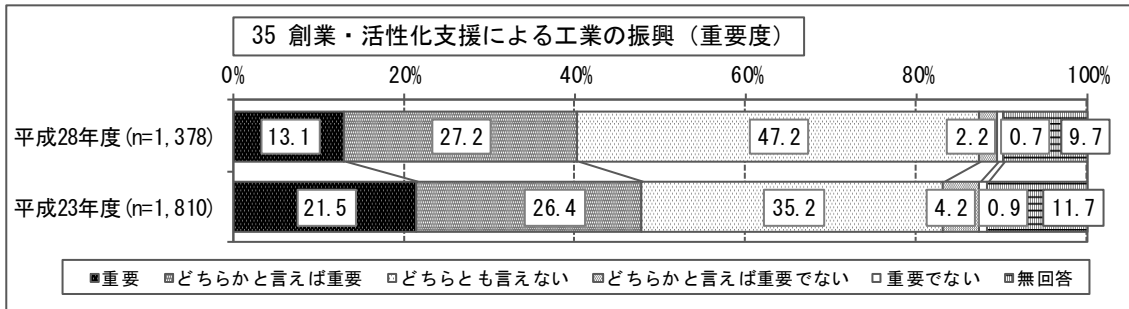
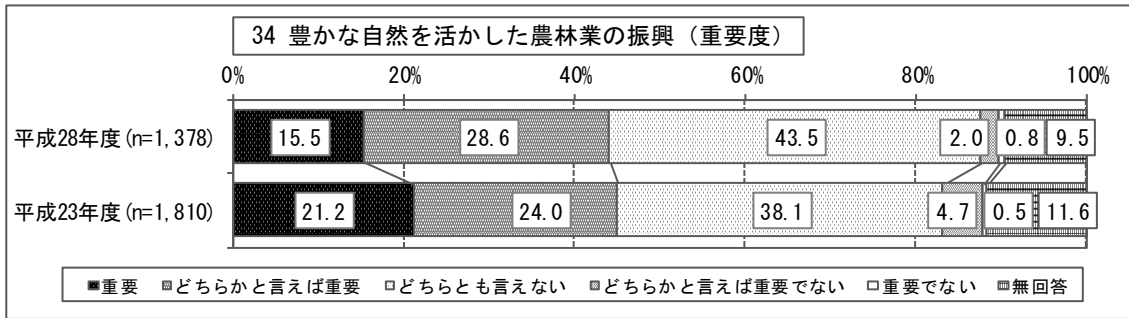




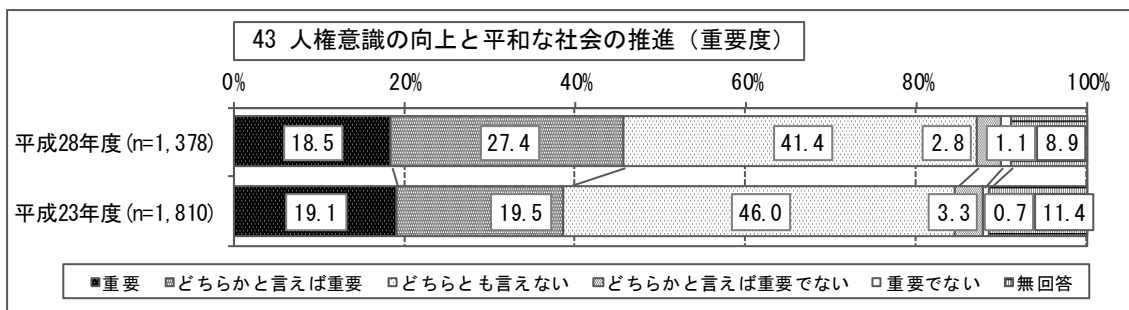
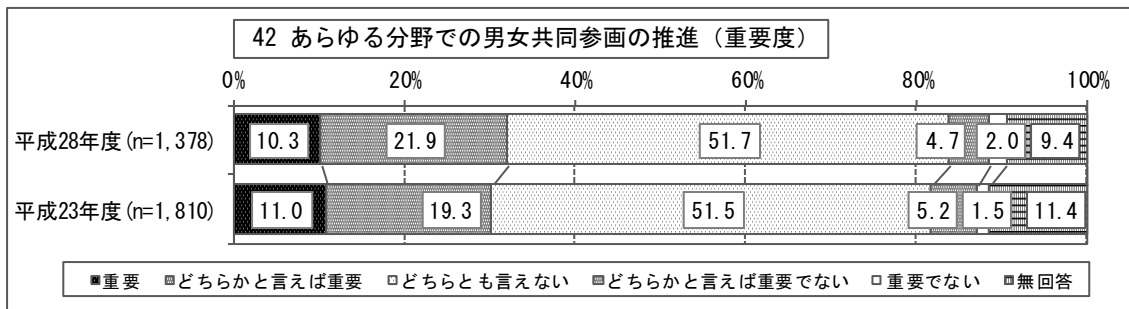
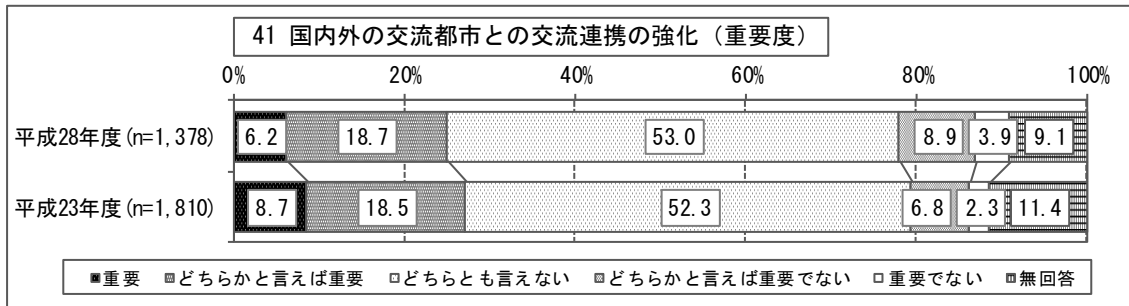
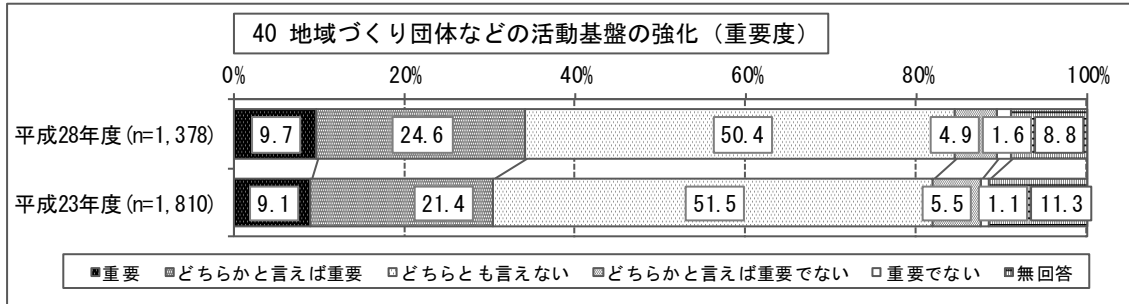
(5) 教育・文化・スポーツ分野



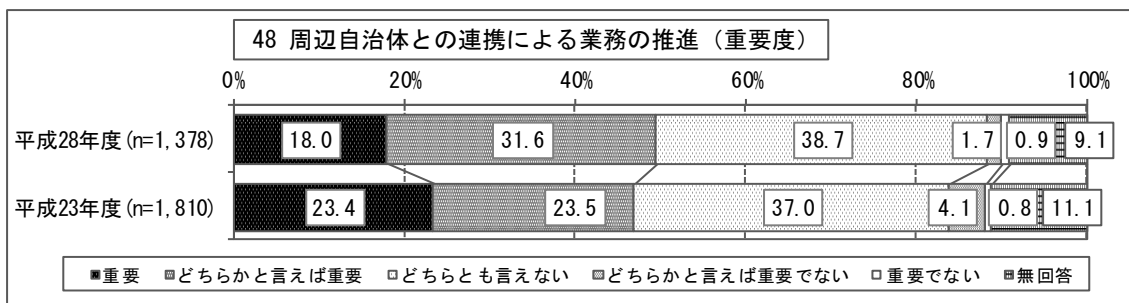
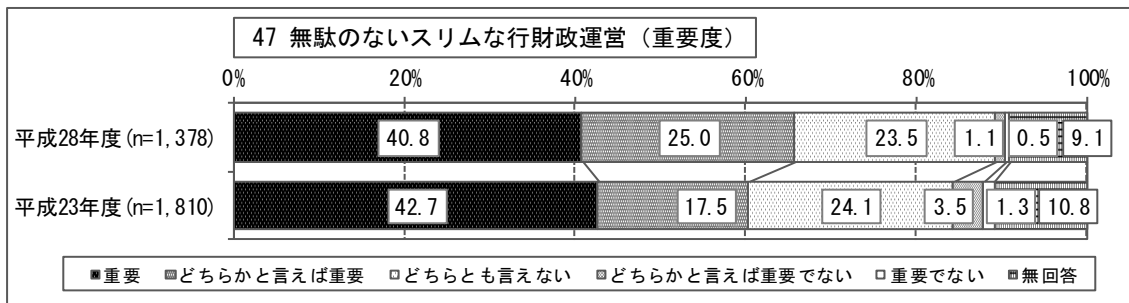
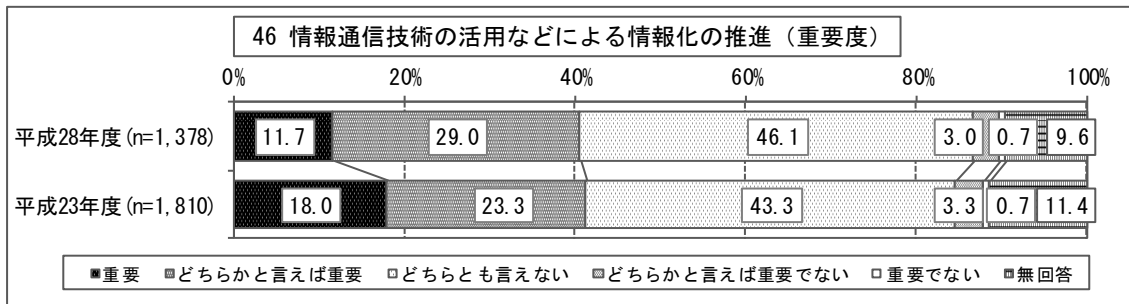
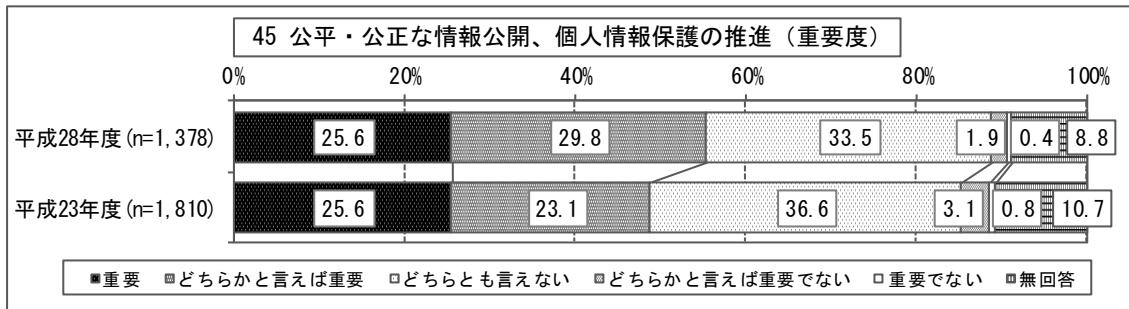
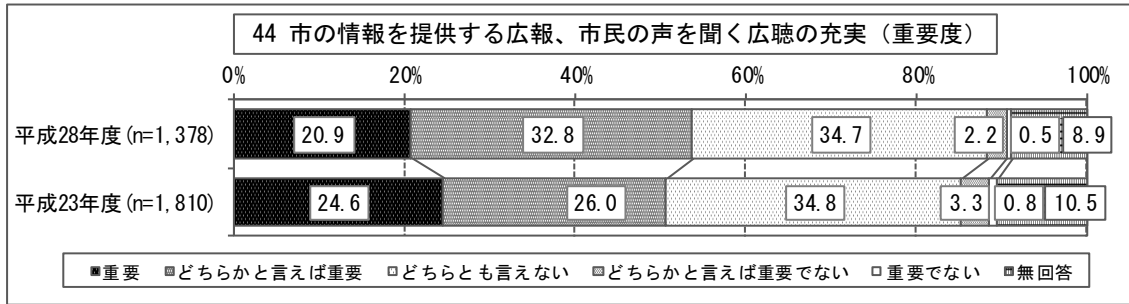
(6) 産業分野



(7) コミュニティ・市民参加分野

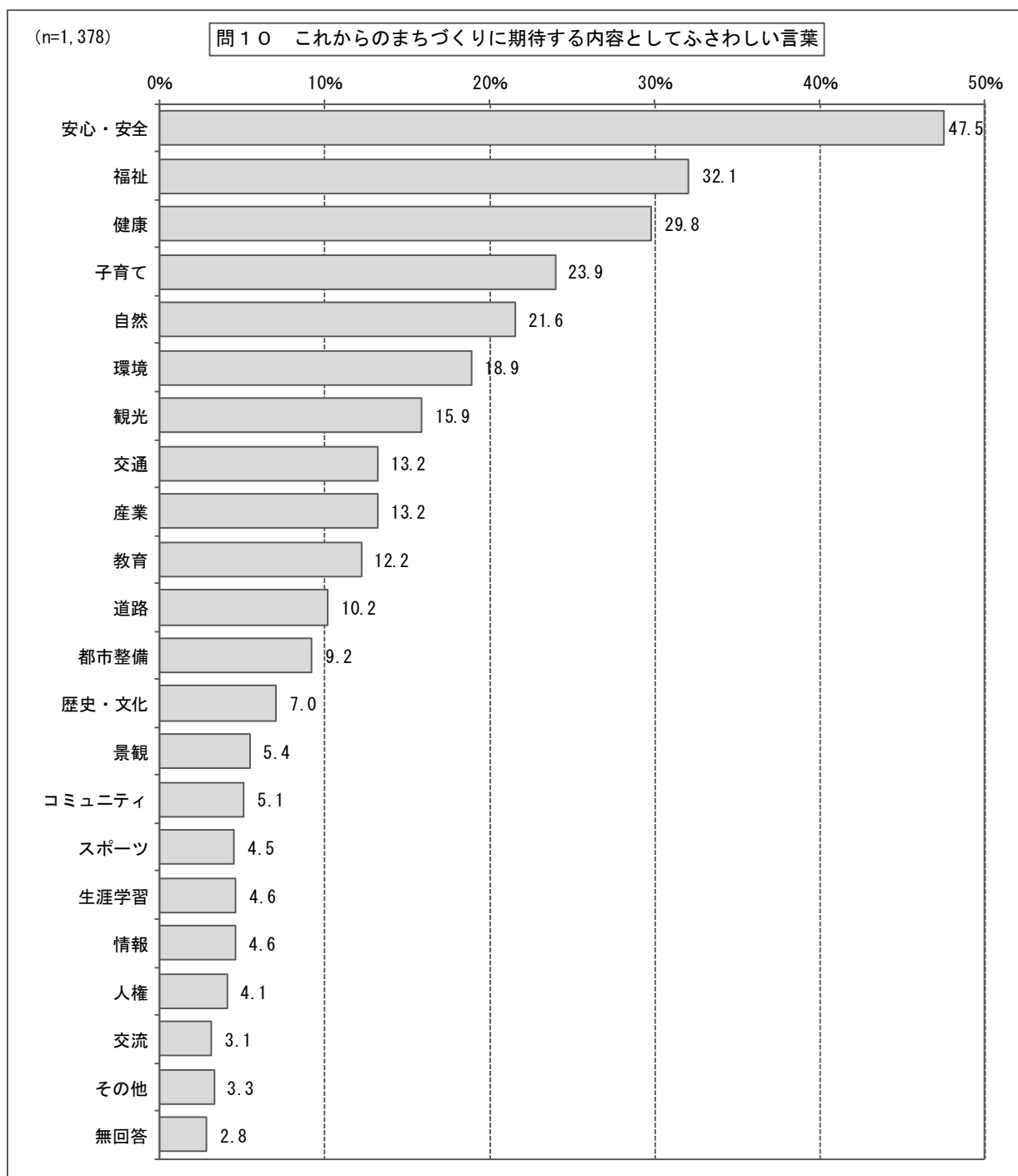


(8) 行財政分野



【問 10】 これからのまちづくりに期待する内容として、どのような言葉がふさわしいと思いますか。(3つまで選んで○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。)

これからのまちづくりに期待する内容にふさわしい言葉は、「安心・安全」が最も高く 47.5%、「福祉」が 32.1%、「健康」が 29.8%、「子育て」が 23.9%、「自然」が 21.6%と続いています。



【「これからのまちづくりに期待する内容としてふさわしい言葉」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		安心・安全	福祉	健康	子育て	自然	環境	観光	交通	産業	教育	道路
全体 (n=1,378)		47.5	32.1	29.8	23.9	21.6	18.9	15.9	13.2	13.2	12.2	10.2
性別	男 (n=631)	42.5	30.0	29.8	23.0	24.1	20.8	16.8	10.0	16.0	12.4	10.9
	女 (n=722)	51.2	34.2	29.4	24.8	19.0	17.5	15.4	15.9	10.1	11.9	9.3
年代別	10代 (n=14)	28.6	28.6	21.4	35.7	28.6	7.1	35.7	28.6	7.1	14.3	0.0
	20代 (n=79)	41.8	15.2	8.9	43.0	17.7	10.1	34.2	16.5	19.0	21.5	13.9
	30代 (n=111)	45.9	20.7	16.2	45.0	22.5	13.5	20.7	12.6	9.9	21.6	9.0
	40代 (n=150)	50.0	24.7	16.0	28.7	16.0	22.7	16.0	16.0	16.7	18.7	10.0
	50代 (n=220)	42.3	36.4	27.3	22.3	23.2	17.3	18.2	12.7	13.2	10.5	10.9
	60代 (n=353)	48.7	35.7	33.4	23.2	24.1	21.8	13.3	14.7	12.2	9.1	10.8
	70代以上 (n=439)	49.4	35.8	39.9	14.6	20.5	19.4	11.6	10.0	11.6	9.1	9.3
居住地区別	渋川地区 (n=606)	49.8	31.2	30.7	22.4	19.3	20.3	16.0	13.4	14.0	11.6	8.6
	伊香保地区 (n=85)	45.9	35.3	23.5	10.6	24.7	18.8	35.3	15.3	7.1	10.6	8.2
	小野上地区 (n=87)	34.5	27.6	20.7	27.6	28.7	13.8	18.4	13.8	18.4	10.3	13.8
	子持地区 (n=207)	52.7	34.3	30.9	26.6	27.5	21.3	14.0	10.6	10.1	13.0	9.2
	赤城地区 (n=190)	45.3	33.7	37.4	24.2	18.4	16.3	11.6	13.7	11.6	14.7	12.1
	北橘地区 (n=191)	44.0	31.9	24.6	29.8	19.9	16.8	12.0	13.1	16.2	12.0	13.1

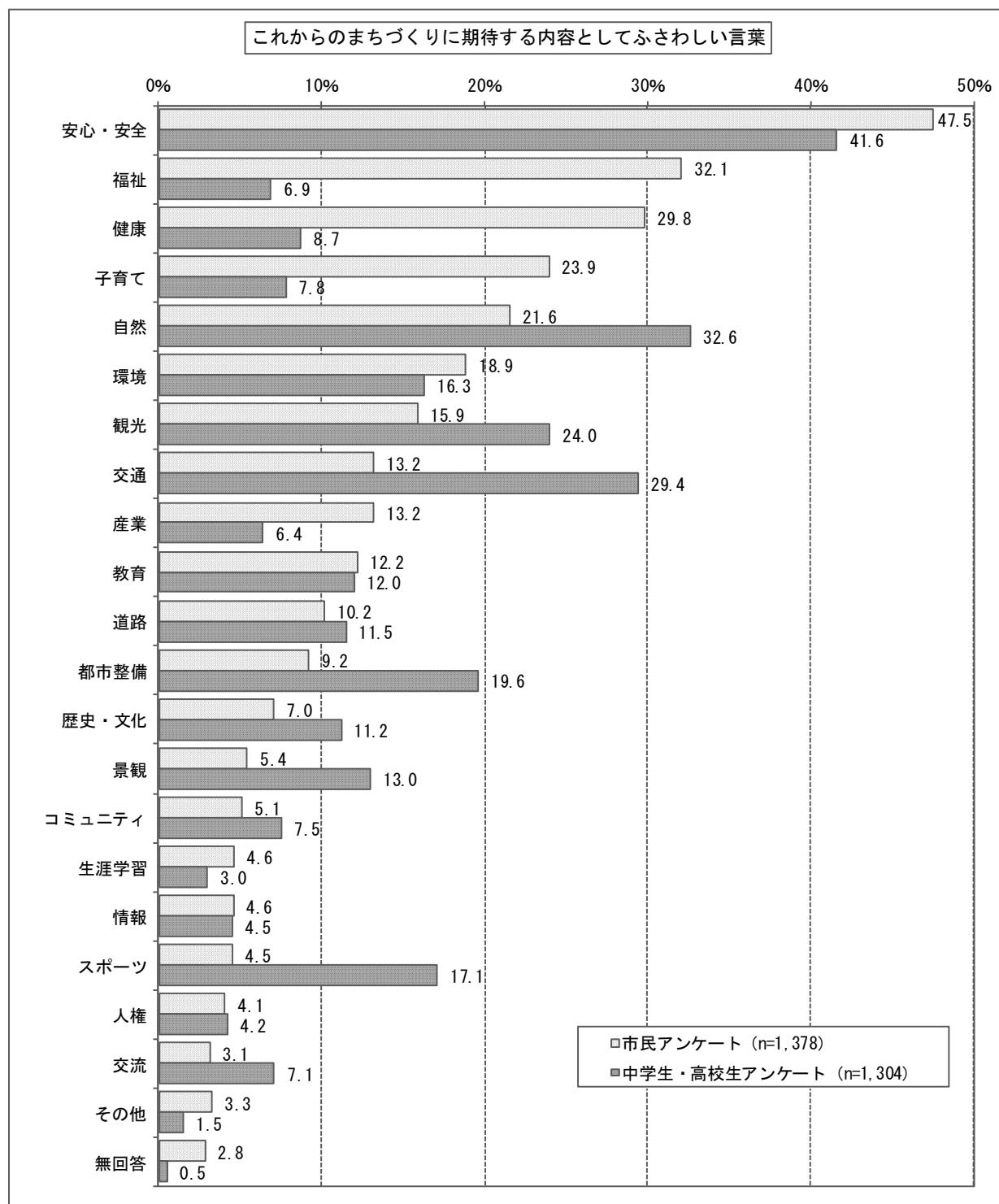
(%)

		都市整備	歴史・文化	景観	コミュニティ	生涯学習	情報	スポーツ	人権	交流	その他	無回答
全体 (n=1,378)		9.2	7.0	5.4	5.1	4.6	4.6	4.5	4.1	3.1	3.3	2.8
性別	男 (n=631)	10.1	8.2	6.5	4.9	4.6	5.4	6.7	4.1	2.7	3.8	1.7
	女 (n=722)	8.6	6.1	4.7	5.3	4.4	3.7	2.6	4.2	3.2	2.9	3.5
年代別	10代 (n=14)	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代 (n=79)	19.0	5.1	5.1	10.1	5.1	1.3	5.1	1.3	3.8	3.8	0.0
	30代 (n=111)	11.7	7.2	4.5	4.5	1.8	2.7	5.4	0.0	2.7	4.5	0.9
	40代 (n=150)	13.3	6.7	4.0	4.7	4.7	4.7	8.0	3.3	4.0	5.3	0.7
	50代 (n=220)	10.9	8.2	5.0	5.9	5.0	3.6	3.6	3.6	1.8	5.5	1.8
	60代 (n=353)	7.6	6.8	6.2	6.8	4.5	3.7	3.1	5.1	2.0	2.5	1.7
	70代以上 (n=439)	6.2	7.5	5.9	2.5	5.0	7.1	4.3	5.5	4.3	1.8	5.7
居住地区別	渋川地区 (n=606)	11.2	6.8	4.5	5.1	5.1	4.5	4.8	3.8	3.0	3.5	2.6
	伊香保地区 (n=85)	8.2	12.9	16.5	4.7	1.2	4.7	3.5	2.4	3.5	2.4	1.2
	小野上地区 (n=87)	8.0	11.5	3.4	8.0	3.4	3.4	3.4	3.4	1.1	5.7	4.6
	子持地区 (n=207)	6.3	7.2	6.3	6.8	4.3	3.9	4.8	3.4	1.9	2.4	2.4
	赤城地区 (n=190)	5.8	5.3	5.3	2.1	3.7	5.3	1.1	7.4	4.7	1.6	4.2
	北橘地区 (n=191)	11.0	5.2	4.2	4.7	5.2	5.8	7.3	3.7	3.7	4.7	1.6

【中学生・高校生意識調査との比較】

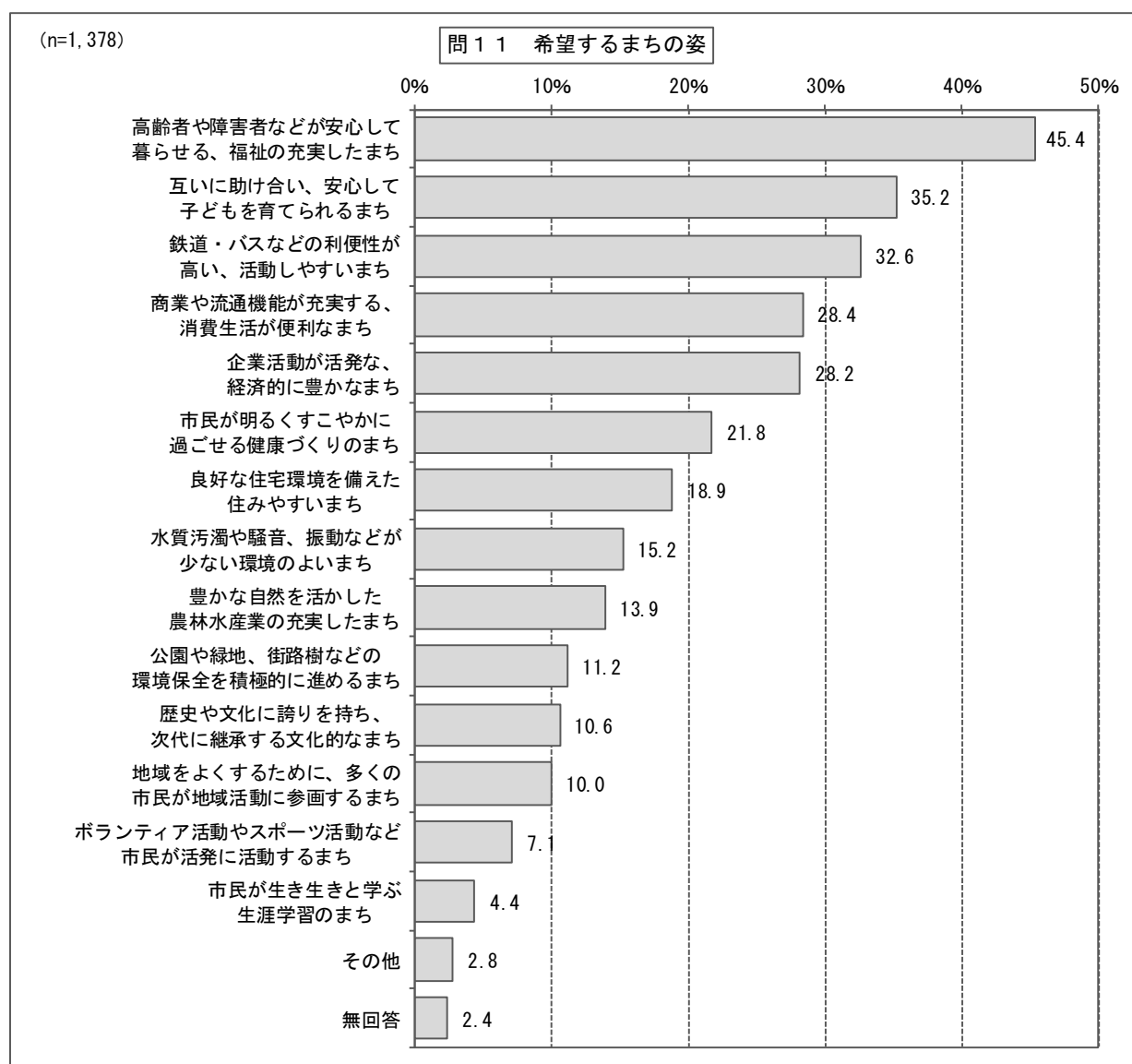
平成28（2016）年6月に実施した「中学生・高校生意識調査」の結果と比較すると以下のグラフになります。

市民意識調査で最も回答割合の高い「安心・安全」は、中学生・高校生意識調査でも最も回答割合が高くなっていますが、市民意識調査で回答割合が高い「福祉」「健康」「子育て」は、中学生・高校生意識調査では低い結果となっています。



【問 11】 あなたは渋川市がどのようなまちになってほしいと思いますか。（3つまで選んで○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。）

希望するまちの姿は、「高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち」が最も高く45.4%、「互いに助け合い、安心して子どもを育てられるまち」が35.2%、「鉄道・バスなどの利便性が高い、活動しやすいまち」が32.6%、「商業や流通機能が充実する、消費生活が便利なまち」が28.4%、「企業活動が活発な、経済的に豊かなまち」が28.2%と続いています。



【「希望するまちの姿」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち	互いに助け合い、安心して子どもを育てられるまち	鉄道・バスなどの利便性が高い、活動しやすいまち	商業や流通機能が充実する、消費生活が便利なまち	企業活動が活発な、経済的に豊かなまち	市民が明るくすこやかに過ごせる健康づくりのまち	良好な住宅環境を備えた住みやすいまち	水質汚濁や騒音、振動などが少ない環境のよいまち
全体 (n=1,378)		45.4	35.2	32.6	28.4	28.2	21.8	18.9	15.2
性別	男 (n=631)	44.2	33.4	28.5	28.8	29.8	20.3	19.0	14.1
	女 (n=722)	46.1	37.4	36.0	28.3	26.6	22.7	18.7	16.2
年代別	10代 (n=14)	35.7	35.7	50.0	14.3	21.4	14.3	14.3	21.4
	20代 (n=79)	25.3	49.4	39.2	31.6	13.9	17.7	26.6	16.5
	30代 (n=111)	22.5	48.6	37.8	32.4	25.2	11.7	18.9	18.9
	40代 (n=150)	31.3	34.7	37.3	34.0	27.3	20.7	28.0	17.3
	50代 (n=220)	44.1	32.3	34.1	35.0	24.5	24.1	22.3	13.2
	60代 (n=353)	49.0	36.0	25.8	26.3	32.6	25.5	18.4	15.0
	70代以上 (n=439)	57.4	31.0	32.6	23.5	30.3	21.2	13.0	14.4
居住地区別	渋川地区 (n=606)	43.9	35.3	33.3	30.9	27.7	21.3	19.8	15.7
	伊香保地区 (n=85)	54.1	22.4	30.6	31.8	35.3	25.9	17.6	14.1
	小野上地区 (n=87)	37.9	33.3	21.8	25.3	32.2	20.7	20.7	14.9
	子持地区 (n=207)	47.8	36.2	34.3	21.7	29.0	18.8	19.3	18.8
	赤城地区 (n=190)	48.9	38.4	31.6	27.4	24.7	22.6	15.3	11.1
	北橘地区 (n=191)	42.9	38.7	35.6	28.3	26.7	23.6	18.3	15.2

(%)

		豊かな自然を活かした農林水産業の充実したまち	公園や緑地、街路樹などの環境保全を積極的に進めるまち	歴史や文化に誇りを持ち、次代に継承する文化的なまち	地域をよくするために、多くの市民が地域活動に参画するまち	ボランティア活動やスポーツ活動など市民が活発に活動するまち	市民が生き生きと学ぶ生涯学習のまち	その他	無回答
全体 (n=1,378)		13.9	11.2	10.6	10.0	7.1	4.4	2.8	2.4
性別	男 (n=631)	19.0	10.0	13.3	11.1	8.9	4.1	2.9	1.7
	女 (n=722)	9.7	12.3	8.3	9.0	5.5	4.4	2.6	2.9
年代別	10代 (n=14)	7.1	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1
	20代 (n=79)	8.9	22.8	16.5	5.1	8.9	3.8	2.5	0.0
	30代 (n=111)	11.7	21.6	9.9	8.1	8.1	4.5	2.7	0.9
	40代 (n=150)	10.0	13.3	12.7	8.0	11.3	2.7	6.0	0.7
	50代 (n=220)	13.2	9.1	12.7	7.3	4.1	7.7	3.2	0.9
	60代 (n=353)	14.7	10.2	8.2	12.7	6.5	5.9	2.5	1.4
	70代以上 (n=439)	17.1	7.5	10.0	11.4	7.1	2.1	1.8	5.0
居住地区別	渋川地区 (n=606)	11.2	12.9	8.7	10.6	8.1	4.0	3.5	2.1
	伊香保地区 (n=85)	9.4	14.1	21.2	9.4	4.7	2.4	2.4	1.2
	小野上地区 (n=87)	24.1	4.6	14.9	14.9	4.6	4.6	2.3	5.7
	子持地区 (n=207)	18.4	9.7	12.6	8.7	6.8	5.8	1.4	1.4
	赤城地区 (n=190)	21.1	9.5	8.4	8.4	2.6	4.2	2.6	3.7
	北橘地区 (n=191)	8.9	11.0	10.5	9.4	10.5	4.7	2.6	1.6

【問 10】「これからのまちづくりに期待する内容としてふさわしい言葉」と【問 11】「希望するまちの姿」との選択の関連性

「これからのまちづくりにふさわしい言葉」として選択された上位5項目（安心・安全、福祉、健康、子育て、自然）と、それに対応した「希望するまちの姿」をクロス集計した結果は、以下の通りです。

問 1 0		問 1 1
1 位 安心・安全	→	1 位 高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち 2 位 互いに助け合い、安心して子どもを育てられるまち 3 位 鉄道・バスなどの利便性が高い、活動しやすいまち
2 位 福祉	→	1 位 高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち 2 位 互いに助け合い、安心して子どもを育てられるまち 3 位 鉄道・バスなどの利便性が高い、活動しやすいまち
3 位 健康	→	1 位 高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち 2 位 市民が明るくすこやかに過ごせる健康づくりのまち 3 位 互いに助け合い、安心して子どもを育てられるまち
4 位 子育て	→	1 位 互いに助け合い、安心して子どもを育てられるまち 2 位 高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち 3 位 企業活動が活発な、経済的に豊かなまち
5 位 自然	→	1 位 高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち 2 位 豊かな自然を活かした農林水産業の充実したまち 3 位 鉄道・バスなどの利便性が高い、活動しやすいまち

(%)

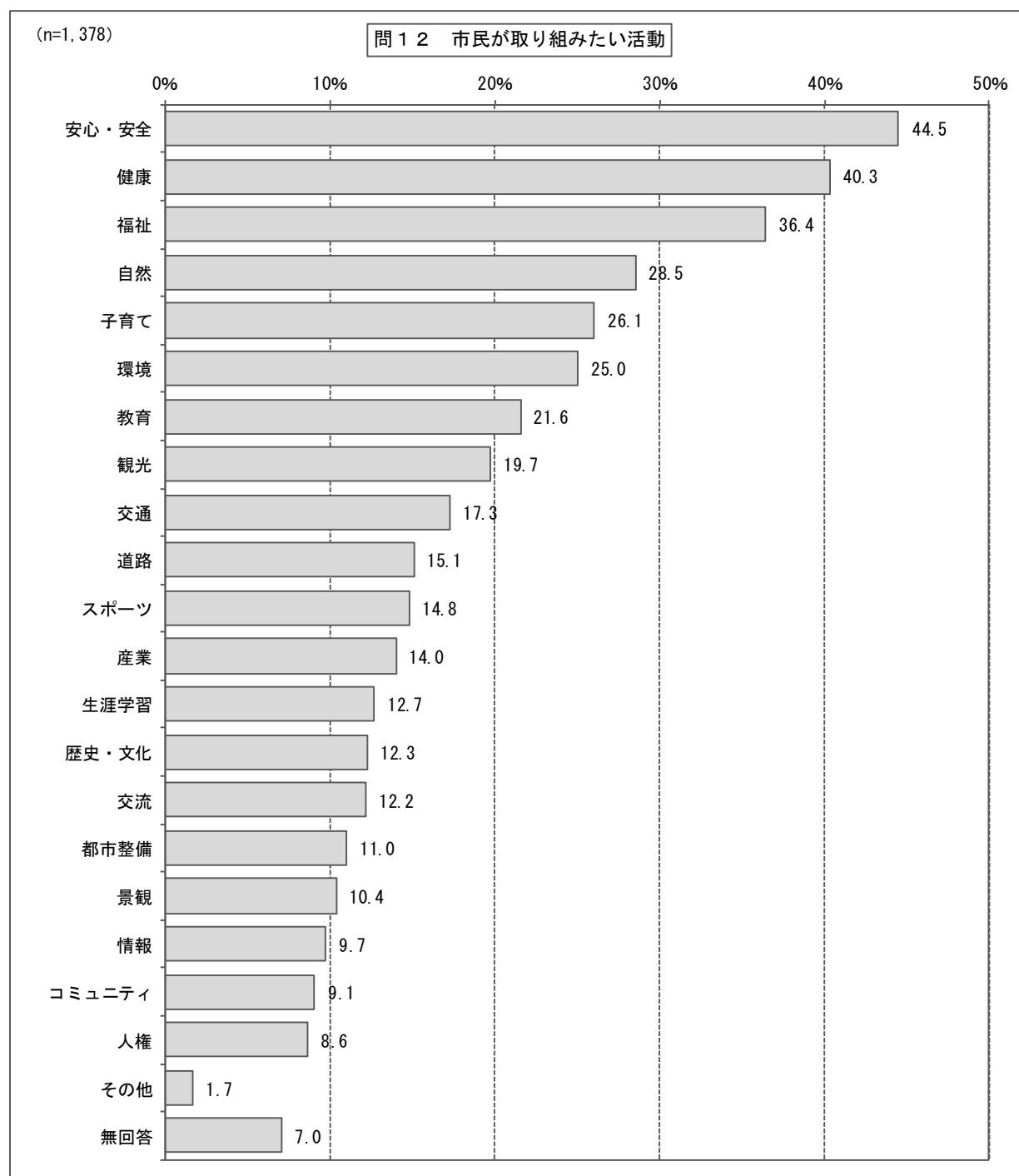
		問 1 1 希望するまちの姿							
		企業活動が活発な、 経済的に豊かなまち	商業や流通機能が充実する、 消費生活が便利なまち	豊かな自然を活かした 農林水産業の充実したまち	鉄道・バスなどの利便性が 高い、活動しやすいまち	良好な住宅環境を備えた 住みやすいまち	互いに助け合い、安心して 子どもを育てられるまち	公園や緑地、街路樹などの 環境保全を積極的に進めるまち	水質汚濁や騒音、振動などが 少ない環境のよいまち
問 1 0 これからのまちづくりに期待する内容としてふさわしい言葉	全体 (n=1,378)	28.1	28.4	13.9	32.5	18.9	35.2	11.2	15.2
	自然 (n=297)	25.6	25.6	32.0	29.6	21.9	28.6	18.2	15.8
	健康 (n=409)	28.1	25.2	12.7	31.5	15.4	34.7	5.6	14.9
	歴史・文化 (n=97)	26.8	21.6	26.8	27.8	13.4	22.7	10.3	11.3
	子育て (n=330)	30.3	21.2	9.7	27.6	21.5	71.2	13.9	9.1
	教育 (n=168)	31.5	22.0	14.3	26.2	15.5	58.9	13.7	16.1
	道路 (n=139)	30.2	40.3	12.2	43.9	23.7	23.0	13.7	23.0
	スポーツ (n=62)	30.6	21.0	8.1	30.6	22.6	21.0	12.9	6.5
	観光 (n=219)	31.5	37.9	18.7	34.2	19.2	32.9	15.5	11.9
	コミュニティ (n=69)	18.8	23.2	20.3	34.8	4.3	44.9	14.5	8.7
	環境 (n=260)	28.1	31.5	17.3	27.3	25.4	30.8	14.2	29.2
	情報 (n=63)	20.6	23.8	22.2	46.0	15.9	17.5	11.1	15.9
	交通 (n=180)	27.2	41.1	7.8	70.0	16.7	28.9	9.4	16.7
	景観 (n=75)	30.7	33.3	25.3	34.7	21.3	22.7	21.3	24.0
	交流 (n=43)	20.9	23.3	9.3	37.2	18.6	34.9	4.7	14.0
	生涯学習 (n=62)	29.0	16.1	16.1	29.0	17.7	24.2	11.3	4.8
	人権 (n=56)	28.6	16.1	16.1	25.0	16.1	42.9	3.6	21.4
	産業 (n=176)	60.8	40.3	15.3	34.7	18.8	28.4	5.7	13.6
	福祉 (n=442)	28.7	23.5	7.7	33.5	16.7	36.7	8.1	14.3
	安心・安全 (n=650)	26.3	27.5	12.9	32.8	22.3	37.7	11.5	18.0
	都市整備 (n=127)	27.6	52.8	4.7	47.2	29.9	26.0	14.2	17.3
	その他 (n=45)	31.1	35.6	11.1	20.0	13.3	24.4	6.7	15.6

(%)

		問 1 1 希望するまちの姿							
		歴史や文化に誇りを持ち、次代に継承する文化的なまち	市民が生き生きと学ぶ生涯学習のまち	地域をよくするために、多くの市民が地域活動に参加するまち	市民が明るくすこやかに過ごせる健康づくりのまち	高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち	ボランティア活動やスポーツ活動など市民が活発に活動するまち	その他	無回答
問 1 0 これからのまちづくりに期待する内容としてふさわしい言葉	全体 (n=1,378)	10.5	4.3	9.9	21.8	45.4	7.0	2.6	2.4
	自然 (n=297)	14.5	2.0	10.1	15.8	42.8	7.1	2.7	0.7
	健康 (n=409)	7.1	4.4	10.5	41.8	55.0	6.1	0.7	0.5
	歴史・文化 (n=97)	57.7	6.2	8.2	12.4	37.1	9.3	3.1	0.0
	子育て (n=330)	9.1	3.6	11.2	19.7	38.5	6.4	1.5	0.0
	教育 (n=168)	7.1	6.0	10.1	21.4	38.7	7.7	2.4	1.2
	道路 (n=139)	4.3	3.6	6.5	17.3	45.3	5.0	1.4	0.0
	スポーツ (n=62)	9.7	9.7	16.1	25.8	33.9	43.5	0.0	0.0
	観光 (n=219)	20.5	3.7	9.6	16.4	35.6	8.2	2.3	0.5
	コミュニティ (n=69)	18.8	7.2	23.2	23.2	39.1	11.6	0.0	1.4
	環境 (n=260)	8.8	3.5	13.5	21.5	43.1	5.4	1.9	0.4
	情報 (n=63)	17.5	3.2	11.1	23.8	46.0	11.1	1.6	0.0
	交通 (n=180)	3.3	3.9	7.2	12.8	42.2	5.0	2.2	1.1
	景観 (n=75)	14.7	0.0	9.3	16.0	36.0	5.3	0.0	1.3
	交流 (n=43)	18.6	7.0	20.9	23.3	34.9	20.9	9.3	2.3
	生涯学習 (n=62)	11.3	30.6	19.4	19.4	48.4	12.9	1.6	0.0
	人権 (n=56)	3.6	1.8	8.9	28.6	66.1	8.9	0.0	1.8
	産業 (n=176)	8.0	1.1	7.4	15.3	38.1	4.0	2.3	0.0
	福祉 (n=442)	7.5	4.5	8.6	24.2	75.3	5.9	0.9	0.2
	安心・安全 (n=650)	8.9	4.2	10.5	24.0	49.5	5.7	1.7	0.5
	都市整備 (n=127)	7.1	4.7	7.9	8.7	42.5	3.1	0.8	0.0
	その他 (n=45)	13.3	2.2	6.7	15.6	24.4	8.9	31.1	0.0

【問 12】 渋川市を良くするために、あなたはどのような活動に取り組みたいですか。
 （該当するものすべてに○をつけてください。選択肢以外にありましたら、
 「その他」にご記入ください。）

渋川市を良くするために市民が取り組みたい活動は、「安心・安全」が最も高く 44.5%、「健康」が 40.3%、「福祉」が 36.4%、「自然」が 28.5%、「子育て」が 26.1%、と続いています。



【「市民が取り組みたい活動」に係る属性別クロス集計表】

(%)

		安心・安全	健康	福祉	自然	子育て	環境	教育	観光	交通	道路	スポーツ
全体 (n=1, 378)		44.5	40.3	36.4	28.5	26.1	25.0	21.6	19.7	17.3	15.1	14.8
性別	男 (n=631)	42.9	37.9	34.9	31.2	25.7	27.1	22.3	22.0	18.7	17.4	18.2
	女 (n=722)	46.1	42.2	38.4	26.0	26.2	23.5	20.9	18.0	15.9	12.7	11.5
年代別	10代 (n=14)	14.3	21.4	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	7.1	14.3	0.0	14.3
	20代 (n=79)	25.3	10.1	17.7	26.6	38.0	13.9	27.8	34.2	8.9	3.8	17.7
	30代 (n=111)	31.5	18.9	16.2	19.8	46.8	20.7	23.4	22.5	13.5	14.4	18.9
	40代 (n=150)	40.7	28.7	22.7	17.3	33.3	21.3	28.0	18.0	16.0	8.0	14.7
	50代 (n=220)	40.9	35.5	35.0	31.8	21.8	20.9	15.5	22.3	12.3	14.1	12.3
	60代 (n=353)	49.3	47.3	42.8	32.0	22.9	27.8	18.7	17.8	18.7	14.4	12.7
	70代以上 (n=439)	52.2	52.2	45.6	30.5	20.7	30.1	23.5	18.0	21.9	21.2	15.7
居住地区別	渋川地区 (n=606)	46.5	40.4	35.3	26.1	26.6	25.7	22.1	20.5	16.3	12.7	13.5
	伊香保地区 (n=85)	38.8	40.0	41.2	34.1	11.8	28.2	9.4	34.1	24.7	20.0	3.5
	小野上地区 (n=87)	41.4	48.3	37.9	34.5	28.7	31.0	19.5	21.8	25.3	21.8	19.5
	子持地区 (n=207)	48.3	37.2	38.6	34.8	29.5	23.7	24.2	16.9	15.5	13.5	18.8
	赤城地区 (n=190)	40.5	42.6	39.5	27.9	29.5	25.8	25.8	17.9	20.5	21.1	14.2
	北橘地区 (n=191)	43.5	36.6	33.0	25.1	22.5	20.4	19.4	15.7	12.0	12.6	16.8

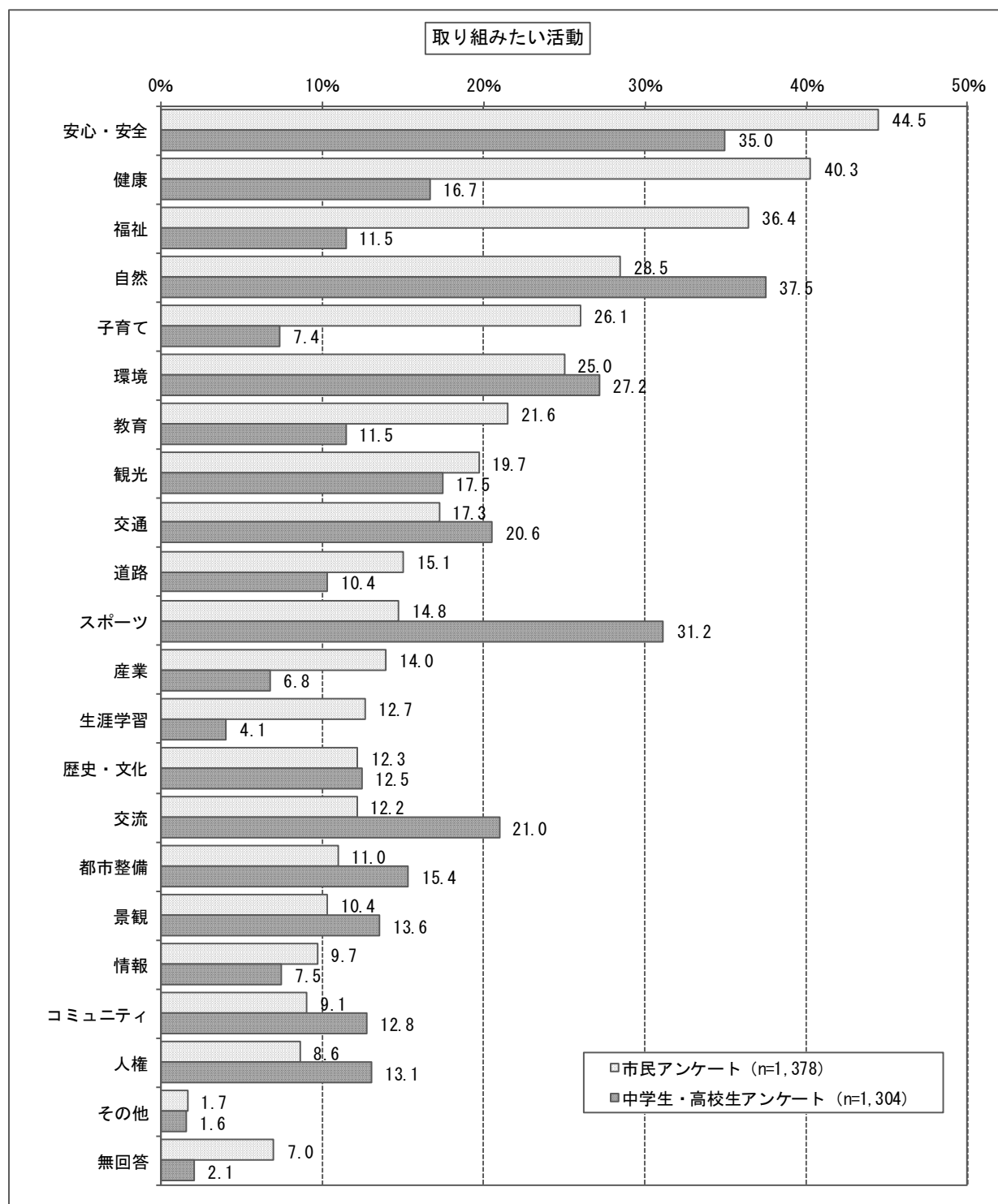
(%)

		産業	生涯学習	歴史・文化	交流	都市整備	景観	情報	コミュニティ	人権	その他	無回答
全体 (n=1, 378)		14.0	12.7	12.3	12.2	11.0	10.4	9.7	9.1	8.6	1.7	7.0
性別	男 (n=631)	18.1	11.9	15.7	10.1	14.4	13.8	10.0	7.8	9.2	2.4	5.9
	女 (n=722)	10.9	13.4	9.3	14.0	8.2	7.6	9.4	10.1	8.3	1.2	7.8
年代別	10代 (n=14)	7.1	0.0	7.1	21.4	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1
	20代 (n=79)	11.4	5.1	10.1	15.2	7.6	6.3	6.3	10.1	3.8	0.0	6.3
	30代 (n=111)	8.1	7.2	5.4	10.8	9.0	9.9	7.2	6.3	2.7	1.8	4.5
	40代 (n=150)	11.3	10.7	10.7	8.7	10.0	8.0	8.0	9.3	4.0	2.0	6.7
	50代 (n=220)	15.9	14.1	12.7	11.8	6.8	9.5	8.2	11.4	7.7	3.2	4.5
	60代 (n=353)	15.3	13.6	13.3	12.2	11.9	11.6	8.8	9.6	9.3	1.4	2.8
	70代以上 (n=439)	15.5	15.0	14.1	13.2	14.1	11.8	13.2	8.0	12.8	1.6	12.1
居住地区別	渋川地区 (n=606)	13.0	13.5	12.5	13.7	14.0	10.2	10.6	9.9	8.4	2.1	6.6
	伊香保地区 (n=85)	11.8	9.4	17.6	5.9	10.6	21.2	10.6	7.1	7.1	1.2	7.1
	小野上地区 (n=87)	21.8	16.1	14.9	14.9	13.8	16.1	8.0	8.0	14.9	2.3	6.9
	子持地区 (n=207)	10.6	12.6	8.7	11.1	7.2	9.7	9.2	8.2	5.8	0.5	8.2
	赤城地区 (n=190)	17.9	11.6	11.6	12.6	6.8	10.0	11.1	7.9	11.6	1.6	10.0
	北橘地区 (n=191)	15.2	11.0	12.6	9.9	9.4	4.7	6.3	9.9	6.8	2.1	3.7

【中学生・高校生意識調査との比較】

平成28（2016）年6月に実施した「中学生・高校生意識調査」の結果と比較すると以下のグラフになります。

市民意識調査で最も回答割合の高い「安心・安全」は、中学生・高校生意識調査でも最も回答割合が高くなっていますが、市民意識調査で回答割合が高い「健康」「福祉」は、中学生・高校生意識調査では低い結果となっています。



【問 13】 あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）

回答者が市長になったとしたらどのようなことに力を入れたいかについて、538人から1,316件の意見をいただき、現総合計画の8大分野別にまとめました。

なお、複数の分野にまたがる回答内容については、それぞれの分野に関わる意見として集計しています。

分 野	意見数（件）
1 都市基盤分野	166
2 自然環境分野	74
3 生活環境分野	116
4 健康・福祉分野	273
5 教育・文化・スポーツ分野	97
6 産業分野	270
7 コミュニティ・市民参加分野	62
8 行財政分野	172
9 その他	86
合計	1,316

1 都市基盤分野

主な意見
合併した旧町村から、旧市内の医療機関・福祉施設・公共機関等へ直結できる道路交通網を整備する。
路地は車が少ないと思われているが、ぬけ道になっていたりして車の通行が多く歩きにくいので、道路整備を行い、歩道を多くすることが大切だと思う。
市内の幼稚園、保育園、小中学校周辺は道幅の狭さの割には交通量が多く、危険な場所が多いので、近隣住民と話し合い、改善する。
湘南新宿ライン等の渋川駅乗り入れを実現させ、都心への交通の利便性の改善を図る。
①格安運賃での予約制デマンドバスの導入。 ②市の中心部を起点とした巡回バスの運行。 ③市内全域での乗合タクシー導入。 ④移動販売の支援・実施。
中心市街地への都市機能の集約。各地区間のアクセスしやすさの追求。歴史的な文化・観光資源と、都市化の住み分けを行い活気あるまちへ。
①駅前の整備：飲食店があっても駐車場がない。②住居地の整備：無計画に造成するのではなく、おしゃれで安全に暮せるまちづくり。

2 自然環境分野

主な意見
シャンソン館から八幡宮への道には街路樹も無い。地球温暖化で人々は緑陰を求めるようになる。緑多い涼しいまちづくりから都市計画は進めるべきである。
自然エネルギー（バイオマス発電、小水力発電、太陽光）の活用に向けての整備。間伐材のチップ化によるバイオマス発電、小水力発電に向けて河川の整備等の計画の検討。
リサイクルに取り組みやすい環境づくりをしていく。ゴミの量を各家庭から減らせるよう、意識改革できるような仕組みをつくる。

主な意見
ポイ捨てが無くなってきれいなまちづくり。歩きたばこなど、子どもに危険がなく、安心して過ごせるようにしたい。
自然豊かな緑多い渋川市にしたい。
これ以上、都会化は望んでいない。自然と親しみ合えるこれくらいの方が良い。ただ、公園やスポーツ施設がもっと充実したら良いと思う。
山間部を含む河川の整備。
景観がとても悪い。汚い所にも目を向け、市全体の美化を進める。

3 生活環境分野

主な意見
水道水の品質を向上させる。
交通網や上下水道などを充実させる。
火災に対して、初期消火できるまちづくり。消火栓・防火用水の拡充。
災害発生時に市民の生活の負担や安全に対する不安が少しでも軽減されるような備え（体制や物資など）に日頃から力を入れたい。
火災やお知らせの防災無線を聞こえやすくする。音声の機械化により、何を言っているか分からなくなったから。
児童の安全を確保する通学路などの整備。
高齢者の免許返納や年代による交通サービスの補助。前橋市のマイタクサービスのようなもの。
家や土地（農業可能）のあっせんや、新たに市に住むことに対する優遇制度。
中高生が夜も安心して歩けるよう、生活道路に街灯を増やしたい。同時に、ボランティア団体をつくり、安全パトロールを充実させたい。
もっと沢山の公園があるといいなあとと思っています。子供がいるのですが、歩いて行ける距離に公園がないので、近くにあるととても助かります。

4 健康・福祉分野

主な意見
高齢者の健康寿命を延ばすために体操教室などを市内各地で開催し、節約した分の医療費を子育て世代にまわす。
高度な救命救急に対応できる設備や人材を確保する。
安心して子育てをすることのできる小児医療、産科を充実させる。
子どもを養育している保護者に残業をさせず、子どもの具合が悪い時などは看護に専念できるような雇用形態を企業に推奨し、子育てしやすい環境を整える。親と子の関わりを重んじた育児ができるまちにしたい。
安心して母親が働けるように学童保育を充実させる。少子化対策で実行している医療費減免を継続させる。
歩け歩け運動やコミュニティにおける軽スポーツを推進し、老人が元気で楽しく生活できる社会環境を整える。
高齢化対策として、誰でもいつでも集える場所（カフェ）づくり。（空き家、閉校舎の空き教室を利用。）
障害者が安心して暮らせるまちづくり。職に就きやすくし、賃金も普通に払えるように努める。精神的にゆとりが持てるような生活を保障し、障害者年金を充実させる。
年金が少ない方への特別方策。

5 教育・文化・スポーツ分野

主な意見
小中学校の教育に力を入れる。例えば、渋川市独自の方法により、効果的に行える少人数指導や、クラスの定員の工夫など。
保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校施設の冷暖房整備。
少子化が進み学校の統合がはじまっているが、地域が衰退することが予想される。人数が少なくなるのはやむを得ないが、少なくなった学校から統合していくのではなく、市全体のバランスや地域性を考え、市当局が中心となり構想を打ち出す必要がある。
教育に力を入れ、青少年の育成に努力したい。
どの年代の人も、学ぶ意欲を持ち続けることができる生涯学習のまちづくり。
「一市民スポーツ」も良いが、文化的な面でも「一市民一趣味」のような働きかけをしたい。（埼玉の川島町では、毎年町民から募った作品で文芸誌を作っています。）現在ある公民館活動を、更に、様々な人が利用しやすい形にしたい。
若者の楽しめるプロスポーツ（野球、サッカー、バスケット、ラグビー）の試合誘致。
アスリートを育成出来る様なスポーツ施設を充実させる。

6 産業分野

主な意見
渋川市の農業は、多くが中山間地に位置し、小規模農家である。こうした農業の特徴に沿って論考してほしい。TPPで影響が大きいと予想される果樹・畜産分野の現況と対策、担い手の育成や小規模農家の存続・家族農業のあり方、新規就農者の増強など、多面的な検討をお願いしたい。
工業用地取得者に対して減税措置を設けることで、企業を誘致し雇用を確保する。
市街地（駅前～四ツ角）のにぎわいをもう少し取り戻したい。商業施設を誘致して市街中心部に住む高齢者などの消費生活をサポートしたい。
車社会なのに駅や街中に駐車場が少なく、車が停められないから他の場所に行く。駐車場を設置して街中を活性化させたい。
伊香保温泉を中心とした観光と旧合併町村の自然や景観をマッチングした観光のまち“渋川市”をアピールしたい。
群馬の森で毎年開催されるクラフトフェア、中之条や新潟でおこなわれているビエンナーレ芸術祭などを渋川市で開催する。
金井東裏遺跡など貴重な文化的発見が続いたが、これを核として展示する博物館を建設し、観光の目玉としたい。
市のリハビリでお世話になっております。今後増々高齢者が多くなる中でお世話の方が健康で働けます様、待遇を良くしてほしいと思います。

7 コミュニティ・市民参加分野

主な意見
昔の隣組、組内の様な人間味のある生活を望みます。現在は何事にも関わり合いが少なく、何でも話し合える環境でない。
市民が気軽に集えるコミュニティカフェを自治会単位に設置。
グローバル社会への取組。助成金制度を新設し、高校生の海外留学を支援する。
人と人とが直接交流する機会（仕事、ボランティア活動、教育、医療活動など）を増やし、活気のある、また生きがいの持てる地域社会をつくりたい。
自然災害も比較的少なく恵まれていると思うが何が起きるかわからない。有事の時のため、また、各地域（旧市町村地区）の将来のためにも、地域の人々の話し合い、勉強等を通して、地域住民の連携等を強化したい。
旧市町村の人たちとの交流を促進し、新市の一体感を充実させたい。
共稼ぎの出来る職場、女性の働ける職場を充実させる。

8 行財政分野

主な意見
小学生（低・中・高学年）中学生、市内の高校等に、年代に合わせ工夫した広報紙を配布し市政に興味を持ってもらえるような活動をしたい。
SNSでの市政、観光、コミュニティ、行事等の情報発信を充実させる。他の市と比べると内容が薄い。
あらゆる団体（スポーツ、ボランティアなど）と意見交換し、行政に取り入れる。
あらゆる情報を公開し、透明性を高めた市政を目指す。
市役所をシフト制にします。土日や17時以降の利用が出来るようにします。
現状に不満はありません。今後の市政については、無駄をなくし、決まった事項はすみやかに実行し、その後の結果がうまく出来ているか確認し、次に移ることが出来る市政になればと思います。
人口減、高齢化が進展し、財政がひっ迫する中で、耐用年数が経過し、補修・修善が必要な箱物や道路が増大する。そんな中で新規に箱物や道路をつくることは不要である。現在ある物を有効活用し、適切な補修を行い、経過年数を伸ばしていくことが肝要である。
縦割り行政でない、横の連絡網がスムーズな行政。困った事案（道路の穴や倒木など）にすぐ対処してくれるすぐやる課を設置。
市の顔である職員の意識改革が必要だと思います。市民への対応の仕方、言葉遣い、慣れあい等幾度か不満に思う事があります。

9 その他

主な意見
市民にアンケートを取ったとしたら、それをしっかり反映できるよう取り組みたい。
このようなアンケート調査で、改めて、まちの事について考える機会になりました。「良いまちづくり」について、自分なりの考え方を点検出来ました。
アンケートの質問は選ぶのが非常に難しかった。専門的すぎたように思います。
計画したものがどれだけ素晴らしいものだったとしても、市民に伝わらなければ意味が無い。そういったことの周知も含め、第2次計画を立案していつてもらいたい。
夢と希望と未来とちょっとした勇気。明るい未来を子供達に残そう！！！！！！
「渋川」を群馬の、いや、日本の、いや世界に誇れる「渋川」に成長させてほしい。
誇れるものがあるまちづくり、戻ってきたいと思うまちづくり
自然が多く、災害の少ない地域なので、子育てのしやすさを前面に押し出して、都会の人を呼び寄せ、生活しやすさに遜色が無いことを感じてもらい、ここでも十分に生活出来ることを実感してもらいたい。
安全安心と思える市になってほしい。生活する上でこのことが保たれれば市民の行動はワクワクし活発になれると思う。

Ⅲ 資料編

1 満足度重要度のマトリックス分析

(1) 満足度重要度分析について

問9の結果を基に、現総合計画後期基本計画に基づく48施策の満足度と重要度の加重平均値を算出し、相関関係をマトリックスグラフに図示しました。

【選択肢と加重値】

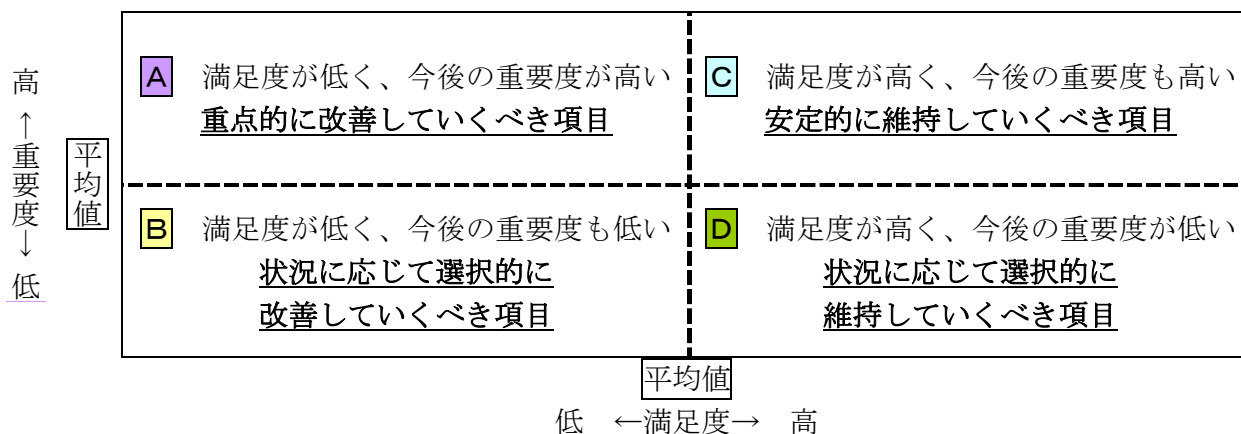
No.	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
①	満足	重要	2
②	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば重要	1
③	どちらとも言えない	どちらとも言えない	0
④	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば重要ではない	-1
⑤	不満	重要ではない	-2

【加重平均値の算出方法】

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{①} \times 2 + \text{②} \times 1 + \text{③} \times 0 + \text{④} \times (-1) + \text{⑤} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

(2) マトリックスグラフの見方について

マトリックスグラフは、4領域に分類しています。グラフの縦軸は重要度、横軸は満足度を表し、2本の破線は、48項目に係る重要度の平均値及び満足度の平均値の位置をそれぞれ示しています。

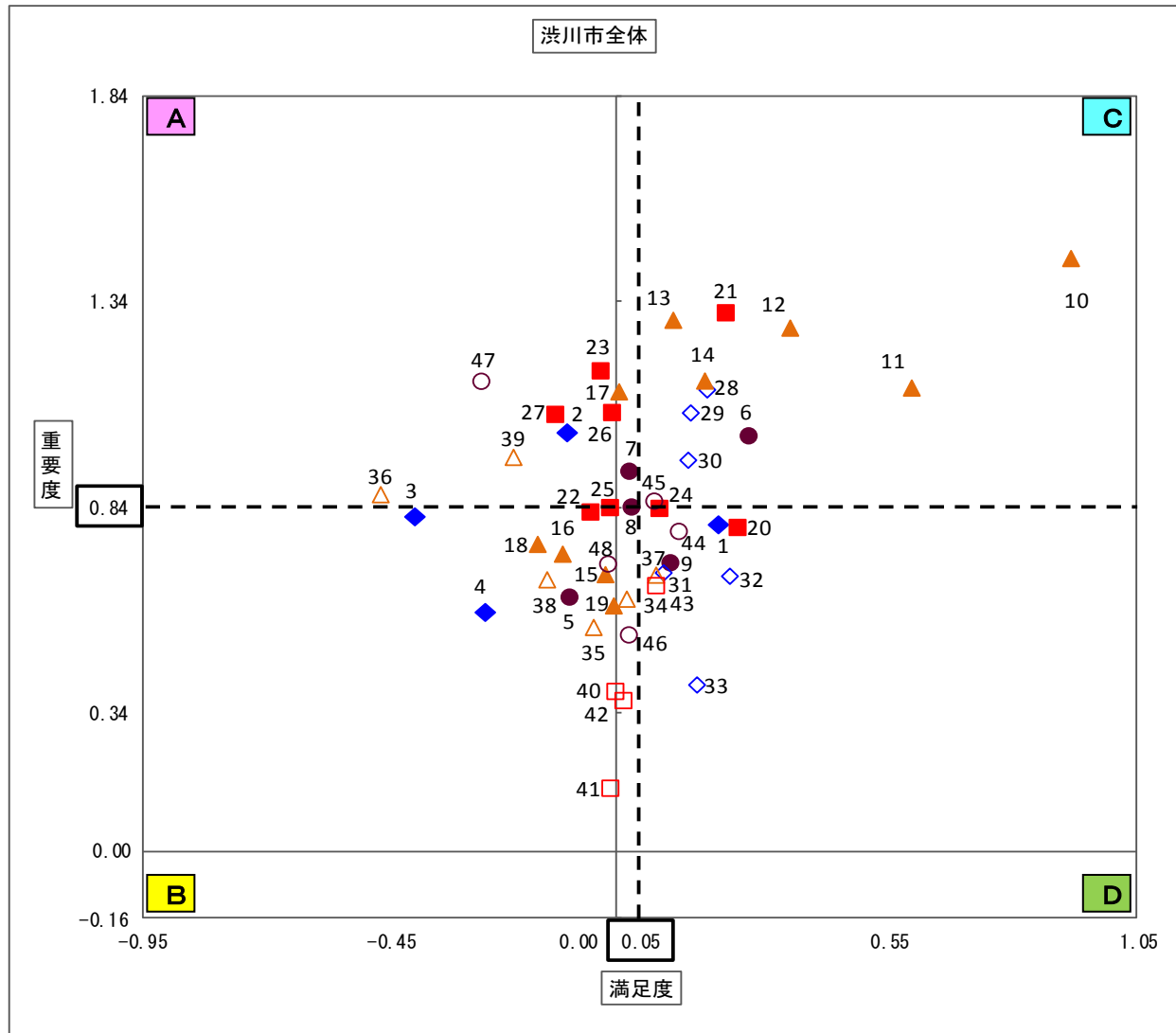


(3) マトリックスグラフ中の記号

現総合計画後期基本計画に基づく48施策は、マトリックスグラフ中で以下の記号と数字に対応しています。

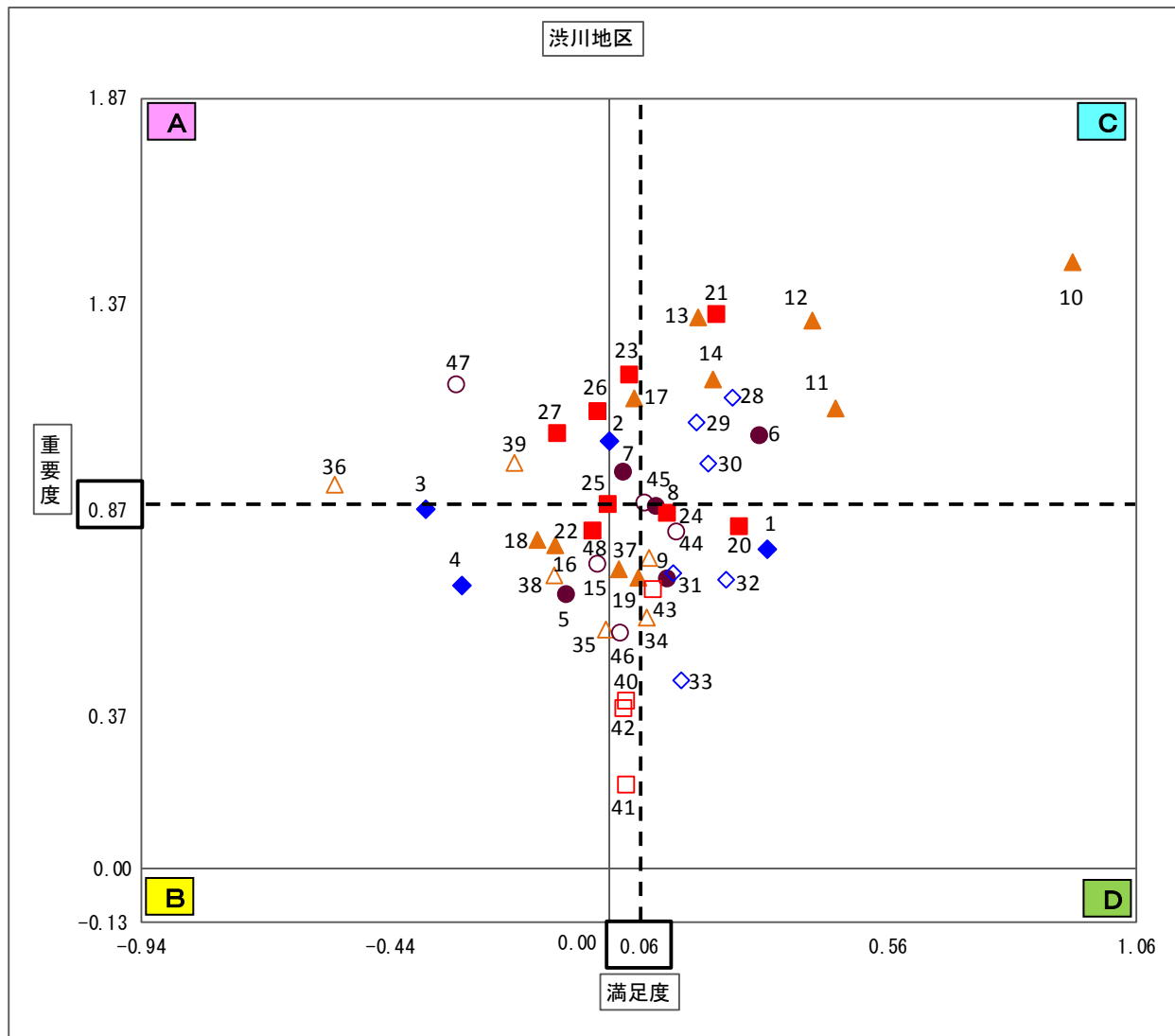
都市基盤分野	◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	教育・文化・スポーツ分野	◇28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
	◆ 2	生活に身近な道路の整備		◇29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
	◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立		◇30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
	◆ 4	良好な市街地の形成		◇31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
自然環境分野	● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進		◇32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
	● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進		◇33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
	● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	産業分野	△34	豊かな自然を活かした農林業の振興
	● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進		△35	創業・活性化支援による工業の振興
	● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動		△36	商店街の活性化と商業の振興
生活環境分野	▲10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給		△37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
	▲11	公共下水道整備や水洗化の推進		△38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
	▲12	災害や火災から生活を守る消防力の強化		△39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
	▲13	災害などの発生に備える防災機能の強化	市民参加分野・コミュニティ	□40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
	▲14	交通安全対策の推進		□41	国内外の交流都市との交流連携の強化
	▲15	移住・定住環境の充実		□42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
	▲16	市街地のバリアフリー化の促進		□43	人権意識の向上と平和な社会の推進
	▲17	安心して暮らせる防犯体制の整備	行財政分野	○44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
	▲18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動		○45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
	▲19	身近な公園などの整備		○46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
健康・福祉分野	■20	すこやかな生活のための健康づくりの推進		○47	無駄のないスリムな行財政運営
	■21	市民が安心して受診できる医療体制の充実		○48	周辺自治体との連携による業務の推進
	■22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実			
	■23	安心して子どもを生み育てられる環境の充実			
	■24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実			
	■25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実			
	■26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実			
	■27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進			

【渋川市全体】



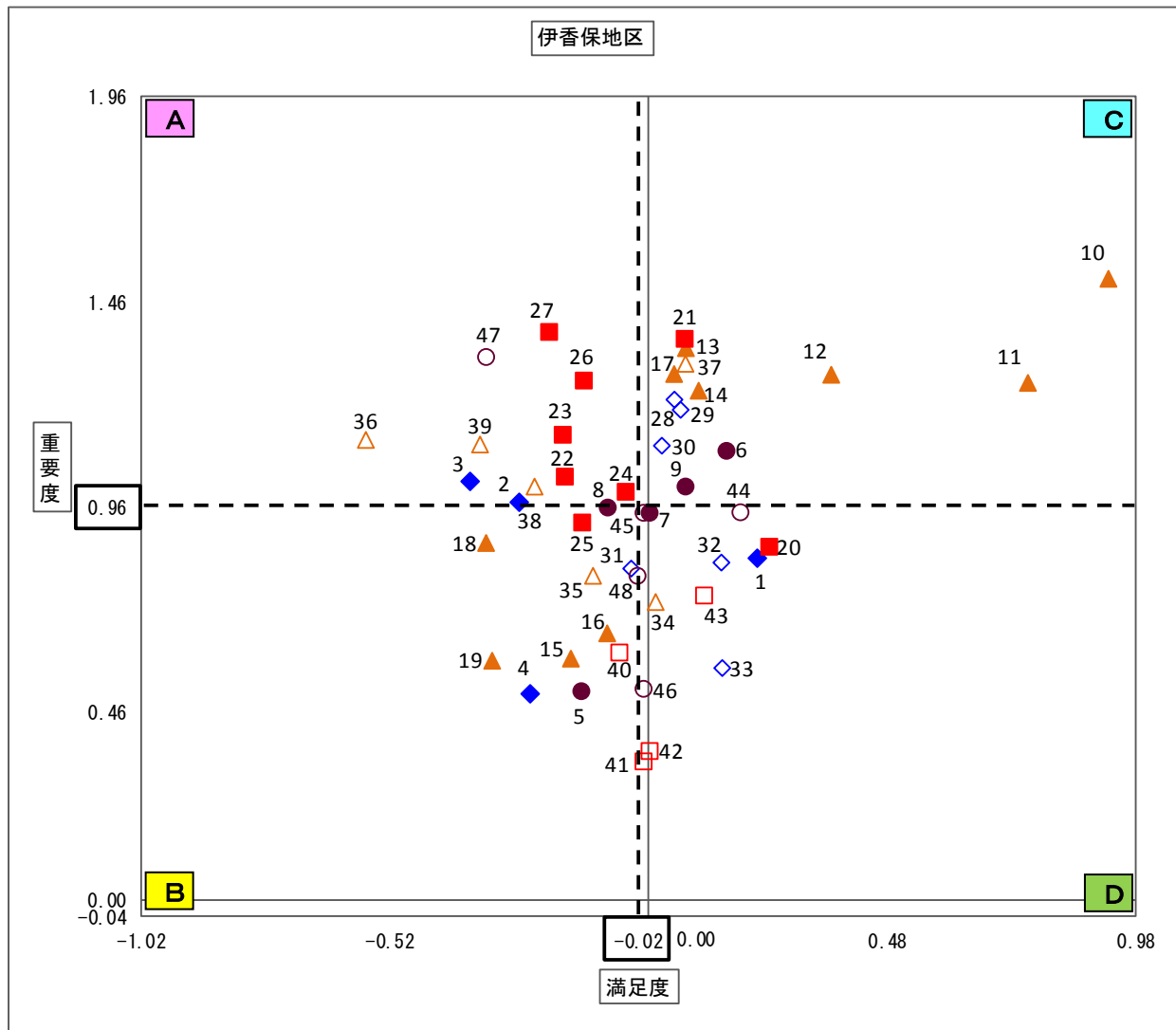
◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	■ 25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
◆ 2	生活に身近な道路の整備	■ 26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	■ 27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進
◆ 4	良好な市街地の形成	◇ 28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	◇ 29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	◇ 30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	◇ 31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	◇ 32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	◇ 33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
▲ 10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	△ 34	豊かな自然を活かした農林業の振興
▲ 11	公共下水道整備や水洗化の推進	△ 35	創業・活性化支援による工業の振興
▲ 12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	△ 36	商店街の活性化と商業の振興
▲ 13	災害などの発生に備える防災機能の強化	△ 37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
▲ 14	交通安全対策の推進	△ 38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
▲ 15	移住・定住環境の充実	△ 39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
▲ 16	市街地のバリアフリー化の促進	□ 40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
▲ 17	安心して暮らせる防犯体制の整備	□ 41	国内外の交流都市との交流連携の強化
▲ 18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	□ 42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
▲ 19	身近な公園などの整備	□ 43	人権意識の向上と平和な社会の推進
■ 20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	○ 44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
■ 21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	○ 45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
■ 22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	○ 46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
■ 23	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	○ 47	無駄のないスリムな行財政運営
■ 24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	○ 48	周辺自治体との連携による業務の推進

【渋川地区】



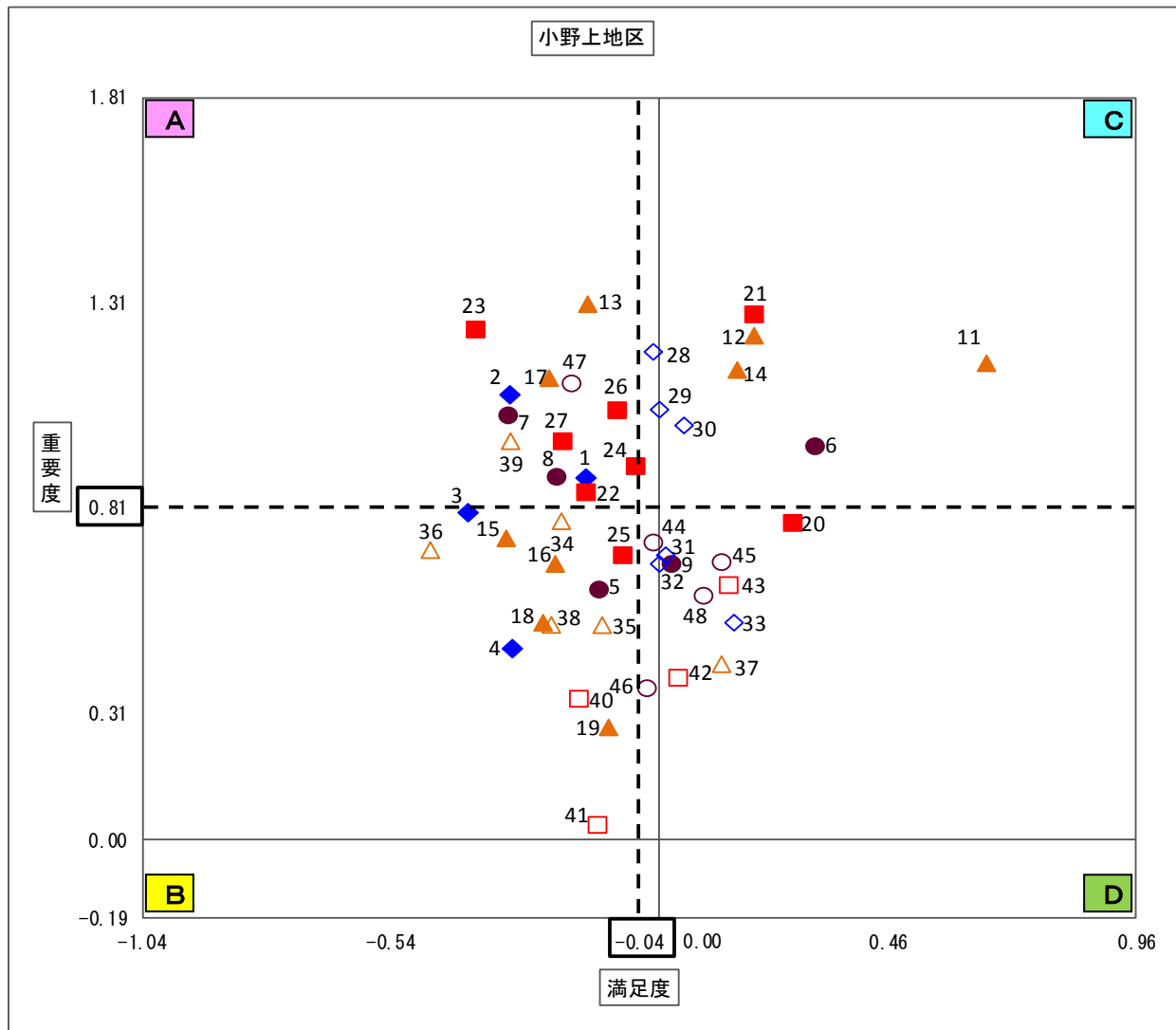
◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	■ 25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
◆ 2	生活に身近な道路の整備	■ 26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	■ 27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進
◆ 4	良好な市街地の形成	◇ 28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	◇ 29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	◇ 30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	◇ 31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	◇ 32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	◇ 33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
▲ 10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	△ 34	豊かな自然を活かした農林業の振興
▲ 11	公共下水道整備や水洗化の推進	△ 35	創業・活性化支援による工業の振興
▲ 12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	△ 36	商店街の活性化と商業の振興
▲ 13	災害などの発生に備える防災機能の強化	△ 37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
▲ 14	交通安全対策の推進	△ 38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
▲ 15	移住・定住環境の充実	△ 39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
▲ 16	市街地のバリアフリー化の促進	□ 40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
▲ 17	安心して暮らせる防犯体制の整備	□ 41	国内外の交流都市との交流連携の強化
▲ 18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	□ 42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
▲ 19	身近な公園などの整備	□ 43	人権意識の向上と平和な社会の推進
■ 20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	○ 44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
■ 21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	○ 45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
■ 22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	○ 46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
■ 23	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	○ 47	無駄のないスリムな行財政運営
■ 24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	○ 48	周辺自治体との連携による業務の推進

【伊香保地区】



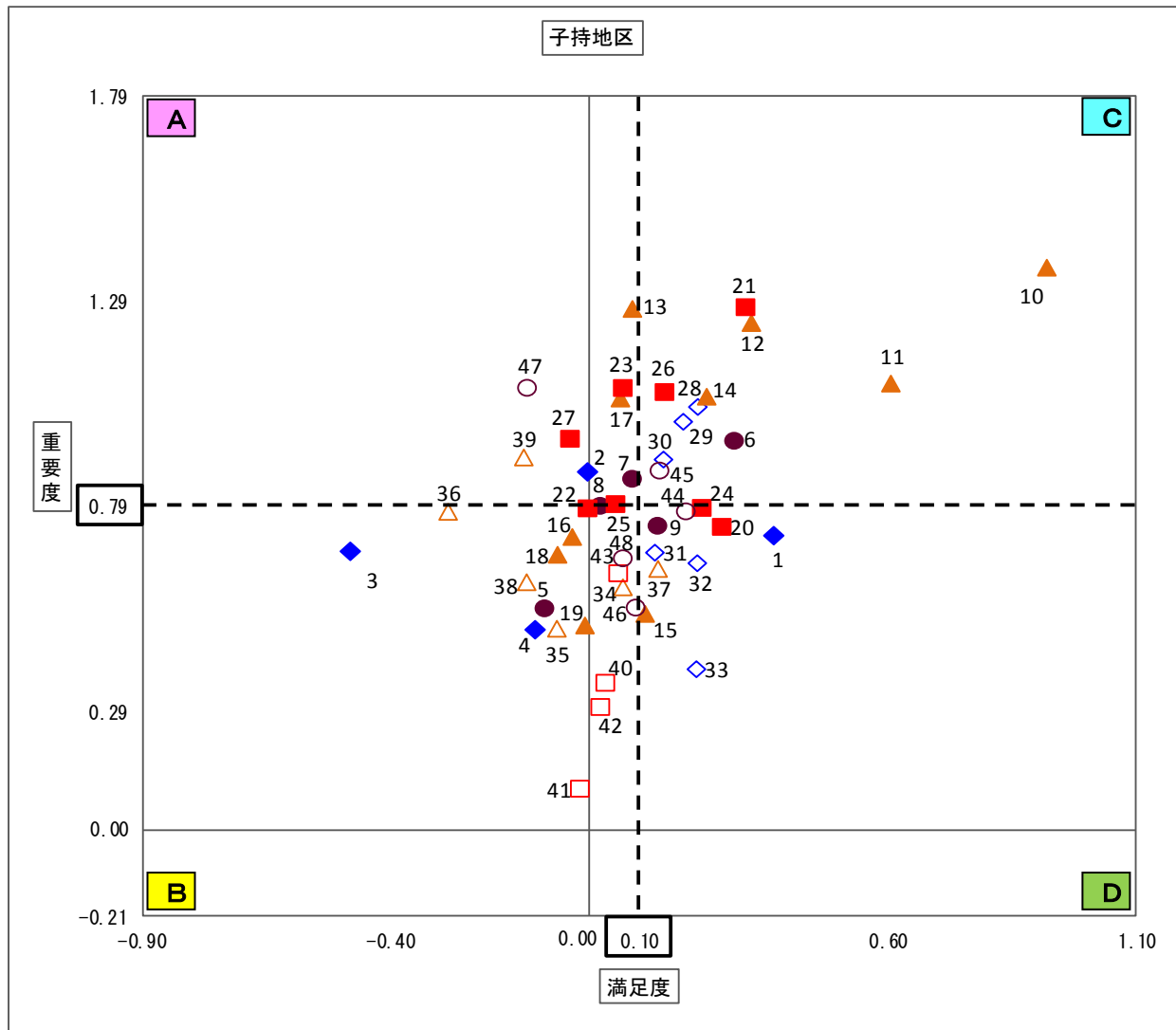
◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	■ 25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
◆ 2	生活に身近な道路の整備	■ 26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	■ 27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進
◆ 4	良好な市街地の形成	◇ 28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	◇ 29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	◇ 30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	◇ 31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	◇ 32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	◇ 33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
▲ 10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	△ 34	豊かな自然を活かした農林業の振興
▲ 11	公共下水道整備や水洗化の推進	△ 35	創業・活性化支援による工業の振興
▲ 12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	△ 36	商店街の活性化と商業の振興
▲ 13	災害などの発生に備える防災機能の強化	△ 37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
▲ 14	交通安全対策の推進	△ 38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
▲ 15	移住・定住環境の充実	△ 39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
▲ 16	市街地のバリアフリー化の促進	□ 40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
▲ 17	安心して暮らせる防犯体制の整備	□ 41	国内外の交流都市との交流連携の強化
▲ 18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	□ 42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
▲ 19	身近な公園などの整備	□ 43	人権意識の向上と平和な社会の推進
■ 20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	○ 44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
■ 21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	○ 45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
■ 22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	○ 46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
■ 23	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	○ 47	無駄のないスリムな行財政運営
■ 24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	○ 48	周辺自治体との連携による業務の推進

【小野上地区】



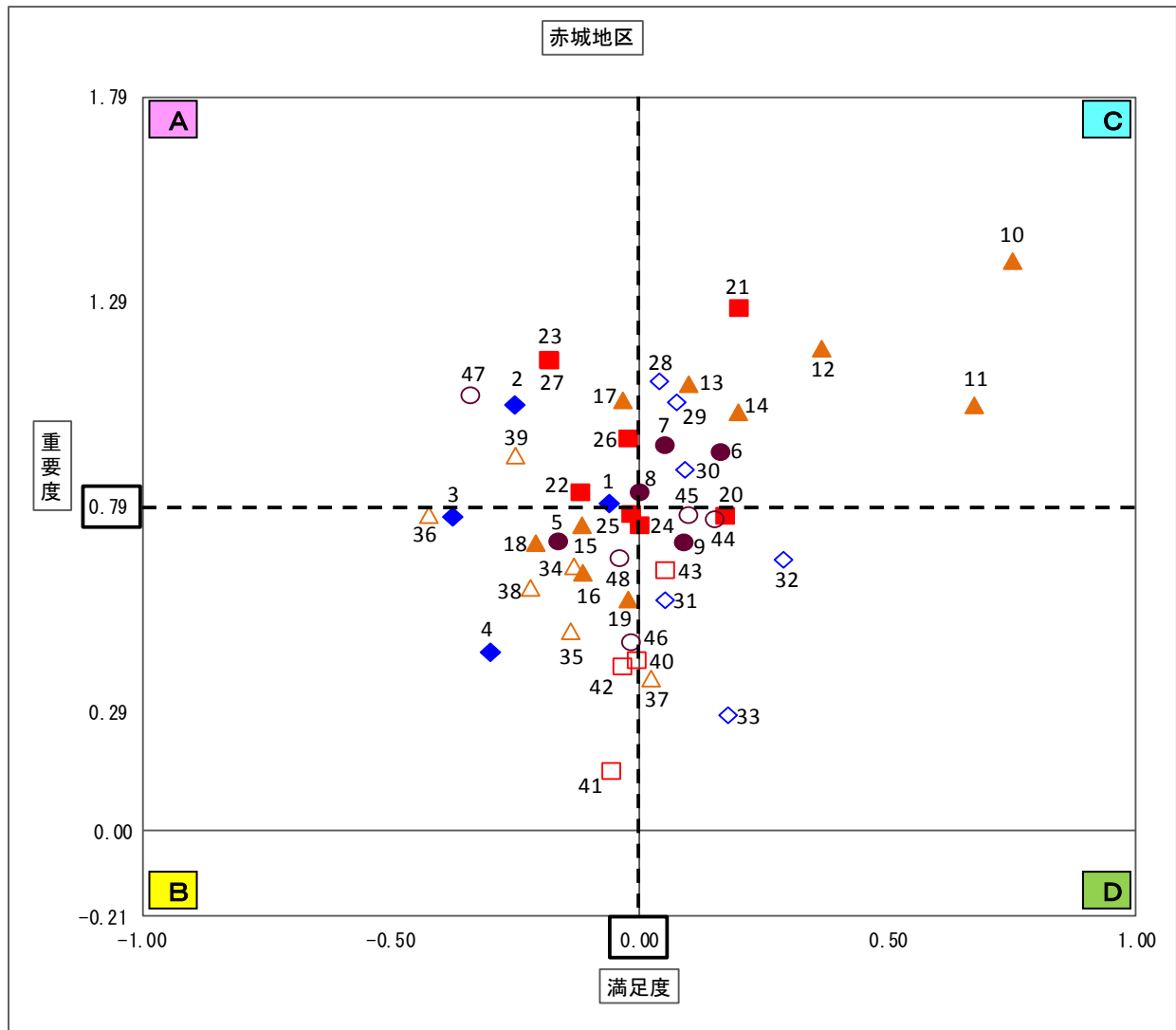
◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	■ 25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
◆ 2	生活に身近な道路の整備	■ 26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	■ 27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進
◆ 4	良好な市街地の形成	◇ 28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	◇ 29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	◇ 30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	◇ 31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	◇ 32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	◇ 33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
▲ 10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	△ 34	豊かな自然を活かした農林業の振興
▲ 11	公共下水道整備や水洗化の推進	△ 35	創業・活性化支援による工業の振興
▲ 12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	△ 36	商店街の活性化と商業の振興
▲ 13	災害などの発生に備える防災機能の強化	△ 37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
▲ 14	交通安全対策の推進	△ 38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
▲ 15	移住・定住環境の充実	△ 39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
▲ 16	市街地のバリアフリー化の促進	□ 40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
▲ 17	安心して暮らせる防犯体制の整備	□ 41	国内外の交流都市との交流連携の強化
▲ 18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	□ 42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
▲ 19	身近な公園などの整備	□ 43	人権意識の向上と平和な社会の推進
■ 20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	○ 44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
■ 21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	○ 45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
■ 22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	○ 46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
■ 23	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	○ 47	無駄のないスリムな行財政運営
■ 24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	○ 48	周辺自治体との連携による業務の推進

【子持地区】



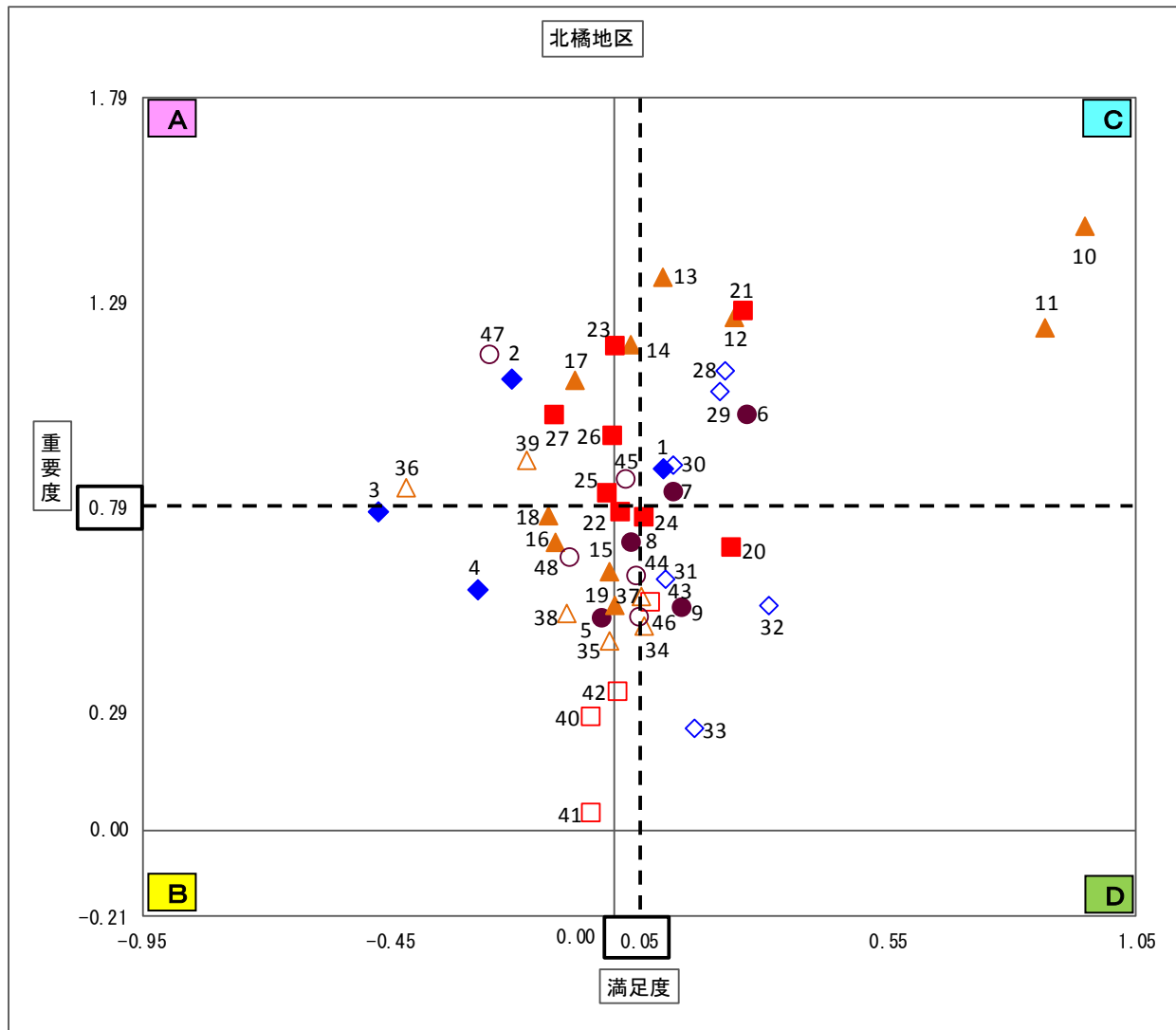
◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	■ 25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
◆ 2	生活に身近な道路の整備	■ 26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	■ 27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進
◆ 4	良好な市街地の形成	◇ 28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	◇ 29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	◇ 30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	◇ 31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	◇ 32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	◇ 33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
▲ 10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	△ 34	豊かな自然を活かした農林業の振興
▲ 11	公共下水道整備や水洗化の推進	△ 35	創業・活性化支援による工業の振興
▲ 12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	△ 36	商店街の活性化と商業の振興
▲ 13	災害などの発生に備える防災機能の強化	△ 37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
▲ 14	交通安全対策の推進	△ 38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
▲ 15	移住・定住環境の充実	△ 39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
▲ 16	市街地のバリアフリー化の促進	□ 40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
▲ 17	安心して暮らせる防犯体制の整備	□ 41	国内外の交流都市との交流連携の強化
▲ 18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	□ 42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
▲ 19	身近な公園などの整備	□ 43	人権意識の向上と平和な社会の推進
■ 20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	○ 44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
■ 21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	○ 45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
■ 22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	○ 46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
■ 23	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	○ 47	無駄のないスリムな行財政運営
■ 24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	○ 48	周辺自治体との連携による業務の推進

【赤城地区】



◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	■ 25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
◆ 2	生活に身近な道路の整備	■ 26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	■ 27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進
◆ 4	良好な市街地の形成	◇ 28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	◇ 29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	◇ 30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	◇ 31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	◇ 32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	◇ 33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
▲ 10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	△ 34	豊かな自然を活かした農林業の振興
▲ 11	公共下水道整備や水洗化の推進	△ 35	創業・活性化支援による工業の振興
▲ 12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	△ 36	商店街の活性化と商業の振興
▲ 13	災害などの発生に備える防災機能の強化	△ 37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
▲ 14	交通安全対策の推進	△ 38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
▲ 15	移住・定住環境の充実	△ 39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
▲ 16	市街地のバリアフリー化の促進	□ 40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
▲ 17	安心して暮らせる防犯体制の整備	□ 41	国内外の交流都市との交流連携の強化
▲ 18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	□ 42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
▲ 19	身近な公園などの整備	□ 43	人権意識の向上と平和な社会の推進
■ 20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	○ 44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
■ 21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	○ 45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
■ 22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	○ 46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
■ 23	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	○ 47	無駄のないスリムな行財政運営
■ 24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	○ 48	周辺自治体との連携による業務の推進

【北橘地区】



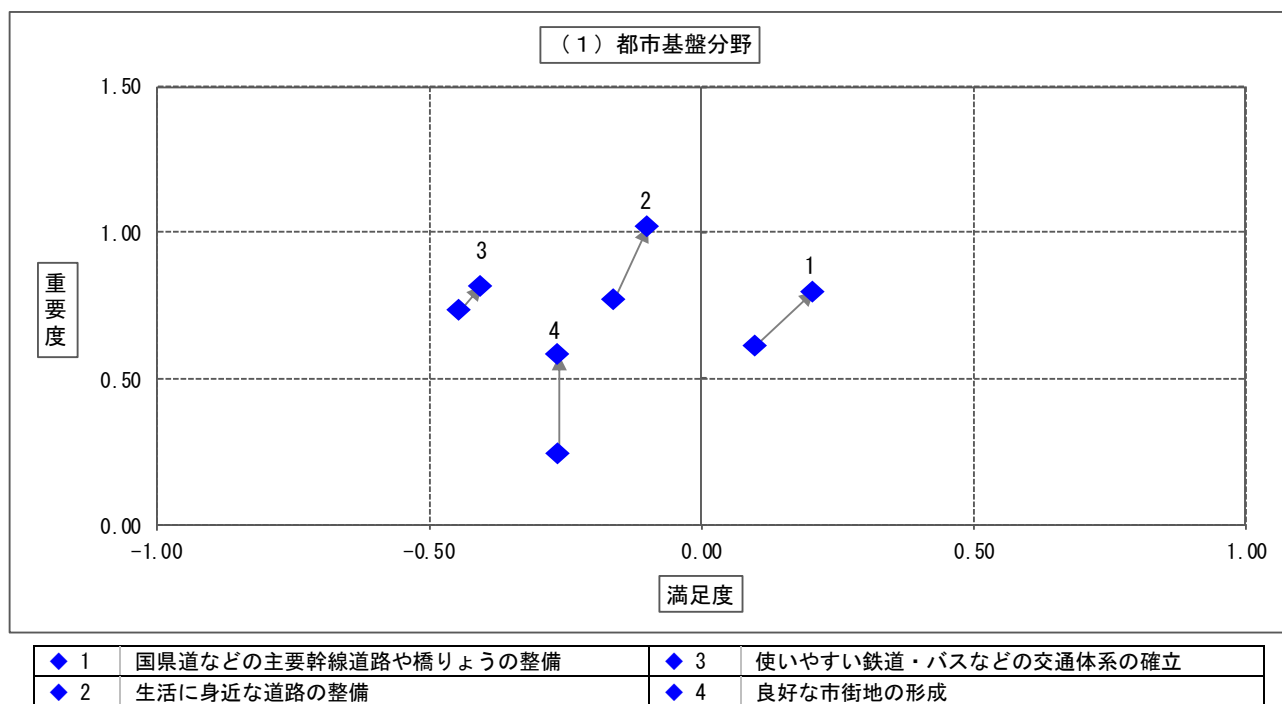
◆ 1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	■ 25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実
◆ 2	生活に身近な道路の整備	■ 26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実
◆ 3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	■ 27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進
◆ 4	良好な市街地の形成	◇ 28	幼稚園、小・中学校の教育の充実
● 5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	◇ 29	幼稚園、小・中学校の施設の充実
● 6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	◇ 30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成
● 7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	◇ 31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
● 8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	◇ 32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
● 9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	◇ 33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興
▲ 10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	△ 34	豊かな自然を活かした農林業の振興
▲ 11	公共下水道整備や水洗化の推進	△ 35	創業・活性化支援による工業の振興
▲ 12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	△ 36	商店街の活性化と商業の振興
▲ 13	災害などの発生に備える防災機能の強化	△ 37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
▲ 14	交通安全対策の推進	△ 38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
▲ 15	移住・定住環境の充実	△ 39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策
▲ 16	市街地のバリアフリー化の促進	□ 40	地域づくり団体などの活動基盤の強化
▲ 17	安心して暮らせる防犯体制の整備	□ 41	国内外の交流都市との交流連携の強化
▲ 18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	□ 42	あらゆる分野での男女共同参画の推進
▲ 19	身近な公園などの整備	□ 43	人権意識の向上と平和な社会の推進
■ 20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	○ 44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実
■ 21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	○ 45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進
■ 22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	○ 46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進
■ 23	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	○ 47	無駄のないスリムな行財政運営
■ 24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	○ 48	周辺自治体との連携による業務の推進

2 平成23（2011）年度市民意識調査の満足度重要度との比較

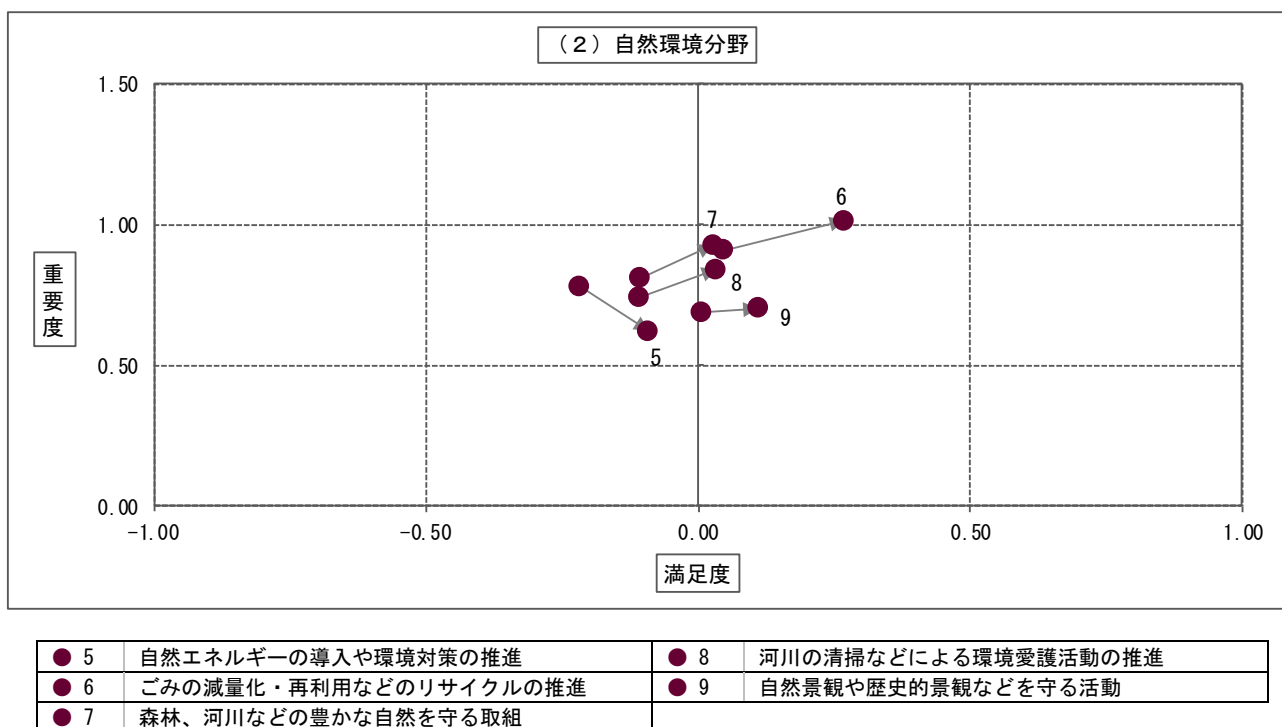
平成23（2011）年度市民意識調査と平成28（2016）年度市民意識調査の変化を矢印で示しています。

※矢印の始点は、平成23（2011）年度市民意識調査。矢印の終点は、平成28（2016）年度市民意識調査。

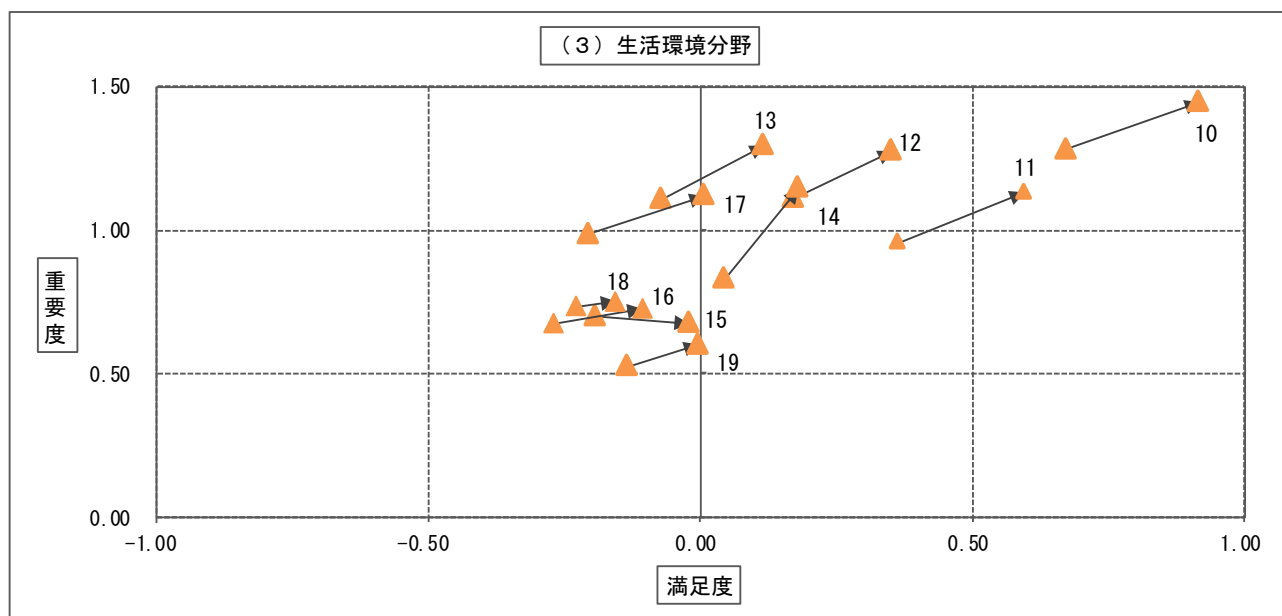
（1）都市基盤分野



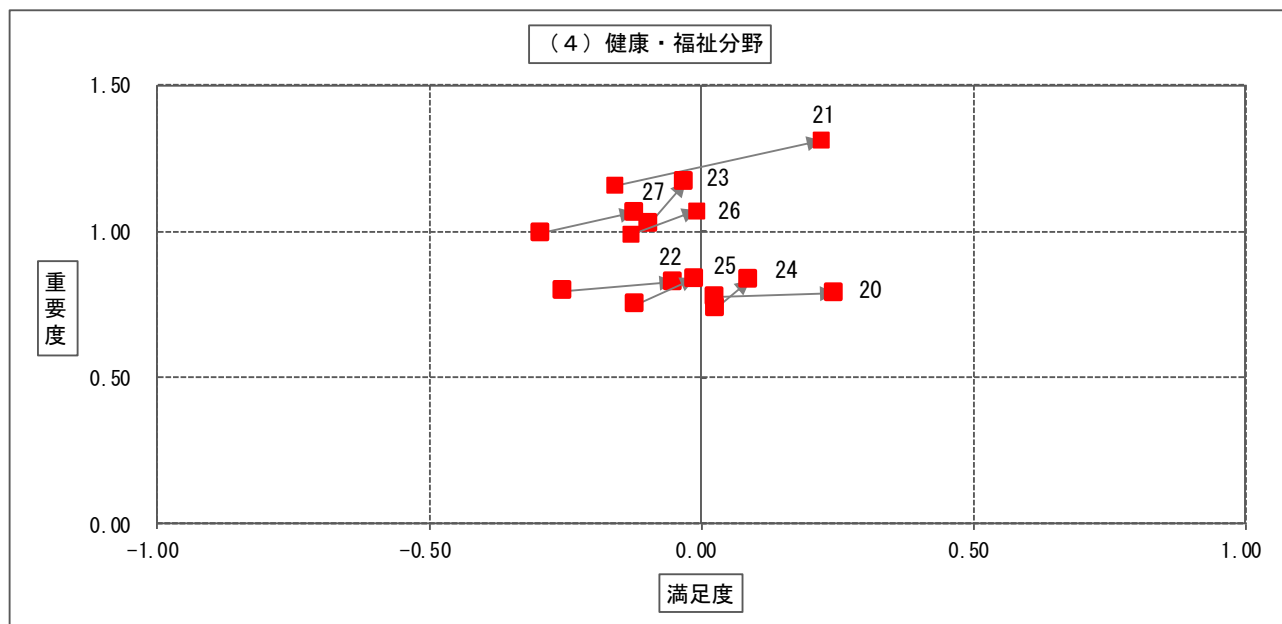
（2）自然環境分野



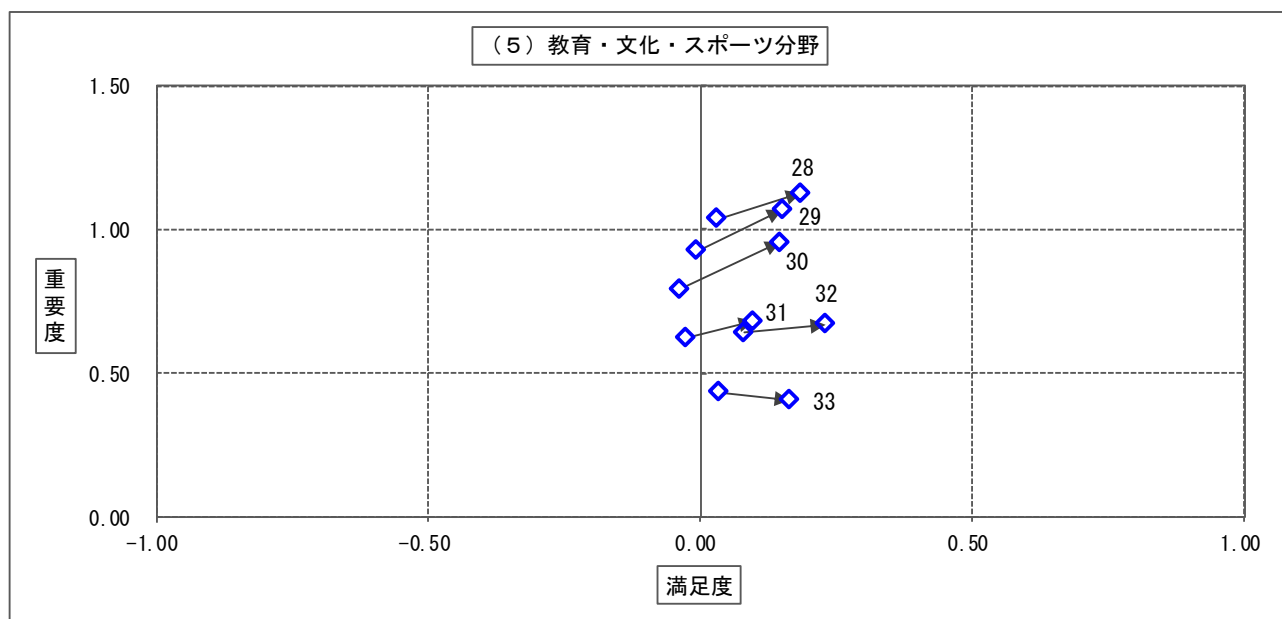
(3) 生活環境分野



(4) 健康・福祉分野

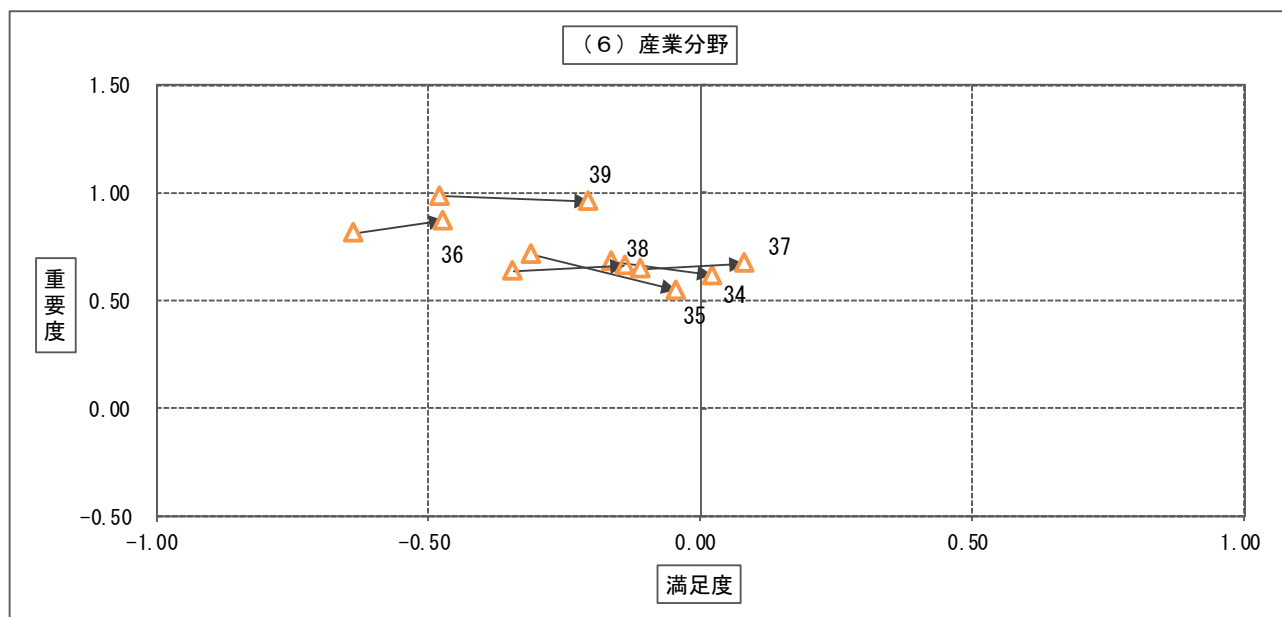


(5) 教育・文化・スポーツ分野



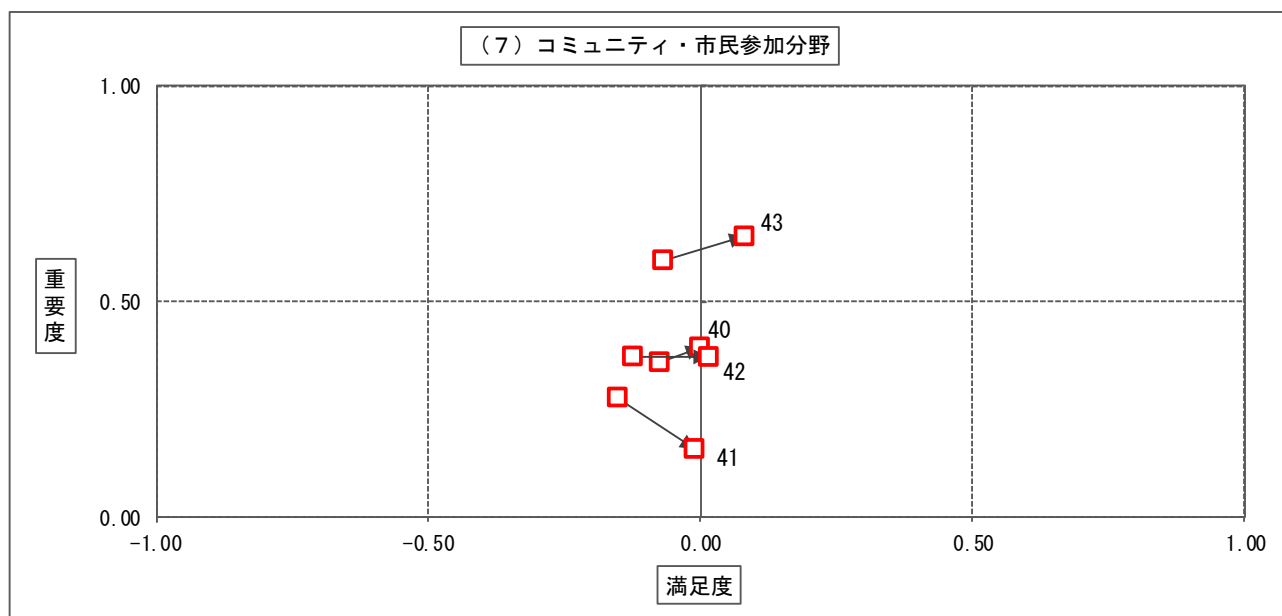
◇28	幼稚園、小・中学校の教育の充実	◇31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実
◇29	幼稚園、小・中学校の施設の充実	◇32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承
◇30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	◇33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興

(6) 産業分野

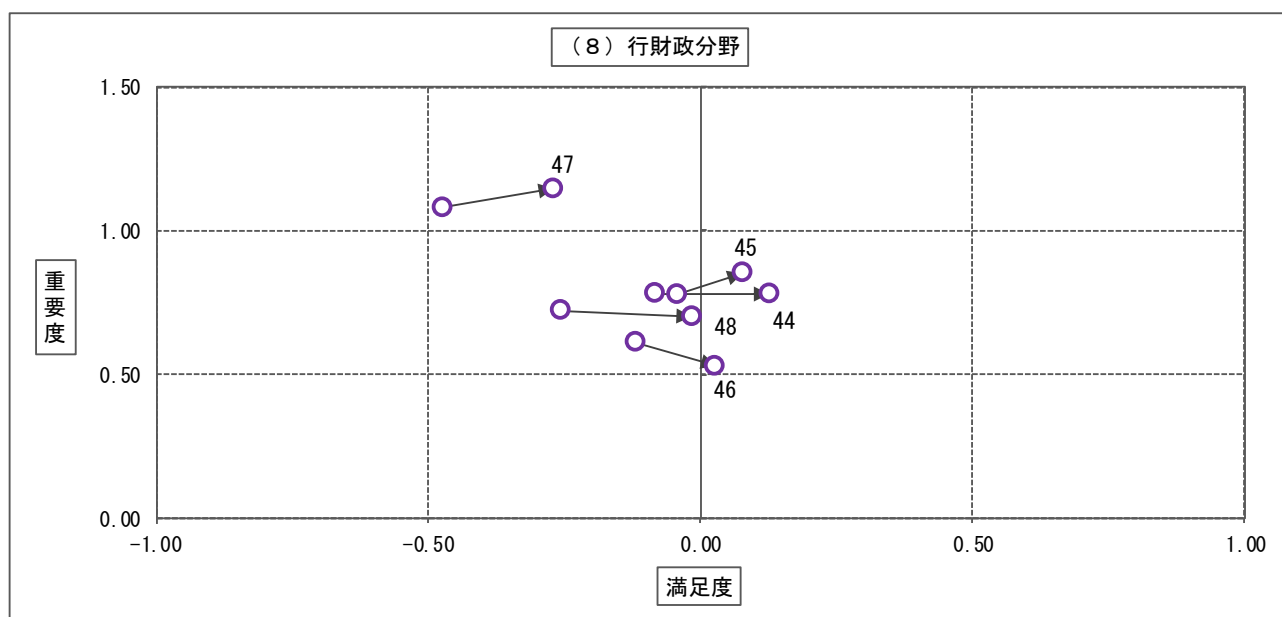


△34	豊かな自然を活かした農林業の振興	△37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化
△35	創業・活性化支援による工業の振興	△38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発
△36	商店街の活性化と商業の振興	△39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策

(7) コミュニティ・市民参加分野



(8) 行財政分野



3 市民意識調査及び中学生・高校生意識調査の回答統合による3区分比較

(1) 目的

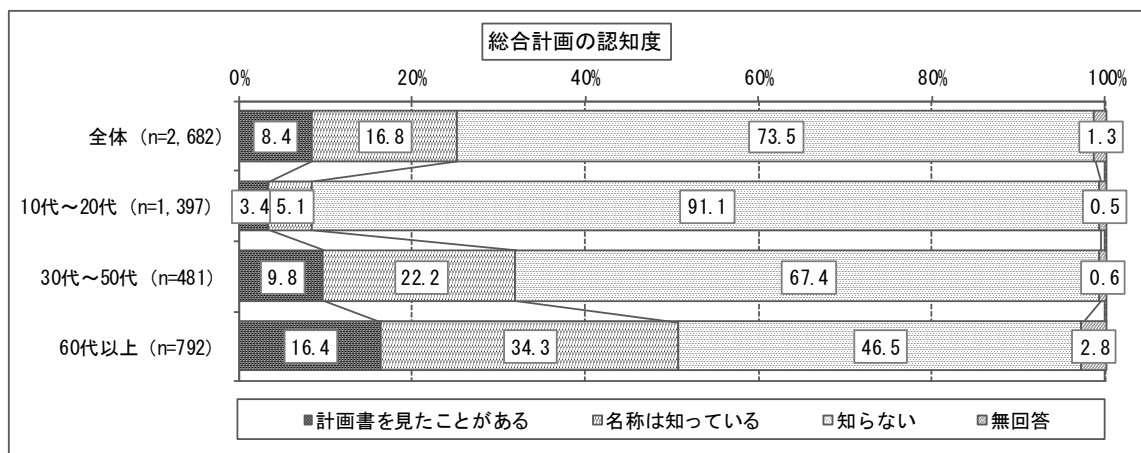
市民の幅広いニーズや意見を把握するため、市民意識調査及び中学生・高校生意識調査を統合し、「10代から20代」「30代から50代」「60代以上」の3区分に分け、比較分析を行いました。

(2) 設問比較対照表

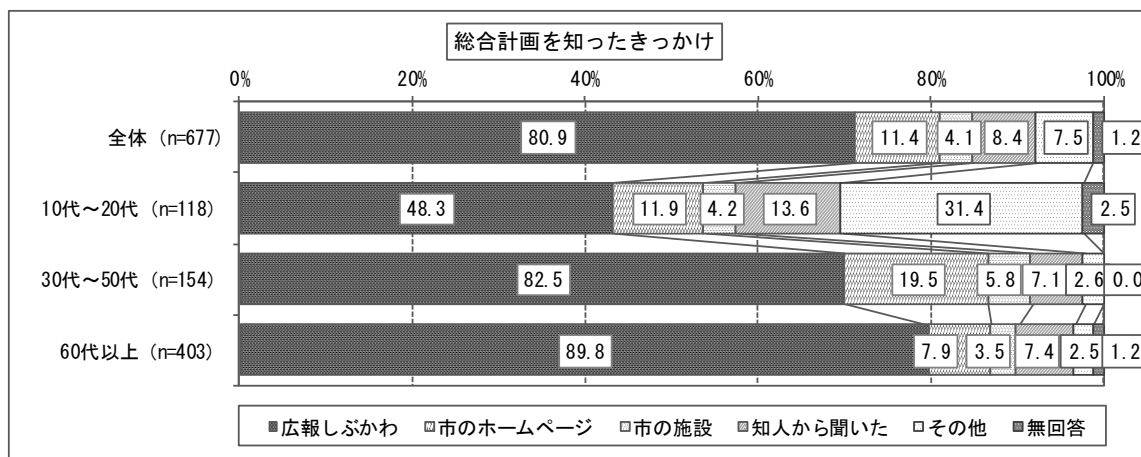
No.	設問内容	市民意識調査	中学生・高校生意識調査
1	総合計画の認知度	問6	問1
2	総合計画を知ったきっかけ	問7	問2
3	総合計画の周知方法	問8	問3
4	これからのまちづくりに期待する内容としてふさわしい言葉	問10	問5
5	希望するまちの姿	問11	問6
6	取組みたい活動	問12	問7
7	身近な生活の満足度及び重要度		
		市民意識調査（問9）	中学生・高校生意識調査（問4）
	ア 2 生活に身近な道路の整備	1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる	
	イ 3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	
	ウ 7 森林、河川などの豊かな自然を守る取組	3 森林や河川などの自然環境が豊かである	
	エ 4 良好な市街地の形成	4 市街地が整備され、快適に暮らせる	
	オ 13 災害などの発生に備える防災機能の強化	5 災害などに備える防災機能が整備されている	
	カ 17 安心して暮らせる防犯体制の整備	6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている	
	キ 19 身近な公園などの整備	7 身近な公園や広場が整備されている	
	ク 21 市民が安心して受診できる医療体制の充実	8 病院・診療所などの医療サービスが充実している	
	ケ 23 安心して子どもを生み育てられる環境の充実	9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している	
	コ 24 高齢者の社会参加、生きがいつくりなどの機会の充実		
	サ 25 障害者の社会参加、生きがいつくりなどの機会の充実		
	シ 28 幼稚園、小・中学校の教育の充実	10 学校の教育や施設が充実している	
	ス 29 幼稚園、小・中学校の施設の充実		
	セ 32 地域に残る文化財の保護、伝統の継承	11 地域の祭など伝統文化が豊かである	
	ソ 36 商店街の活性化と商業の振興	12 日々の買い物が便利である	
	タ 37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	13 観光地やレジャー施設が充実している	
	チ 38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発		
	ツ 40 地域づくり団体などの活動基盤の強化	14 地域のボランティア団体などが充実している	
	テ 44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	15 市からの情報が充実している	

(3) 比較結果

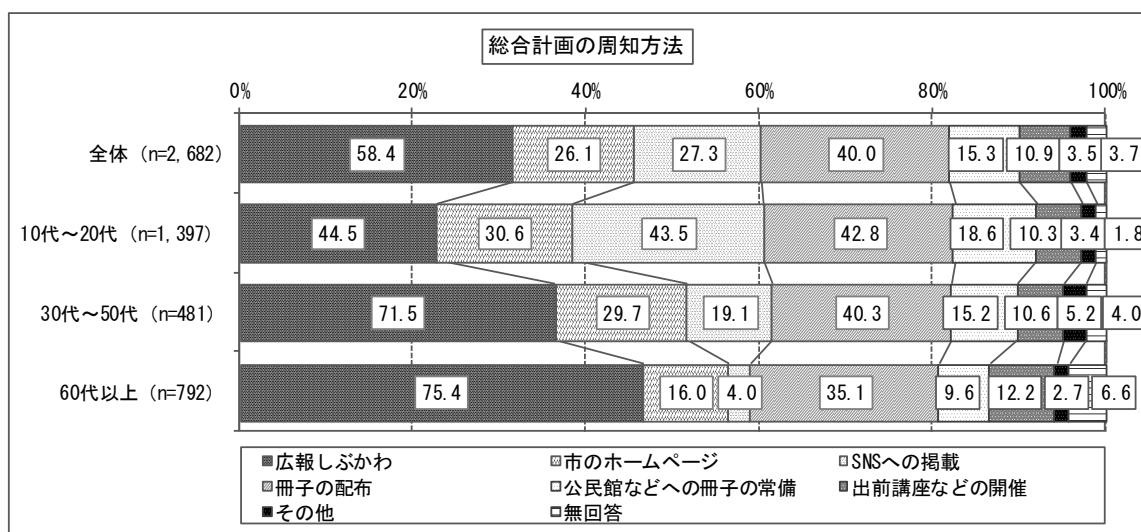
No. 1 総合計画の認知度



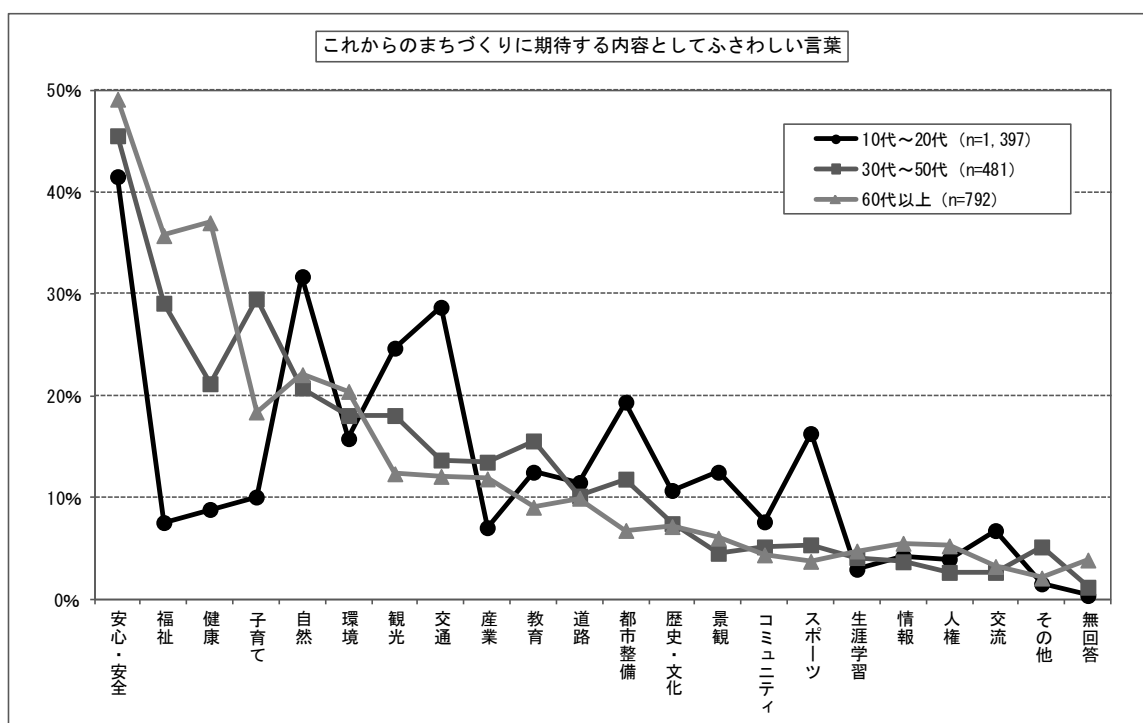
No. 2 総合計画を知ったきっかけ



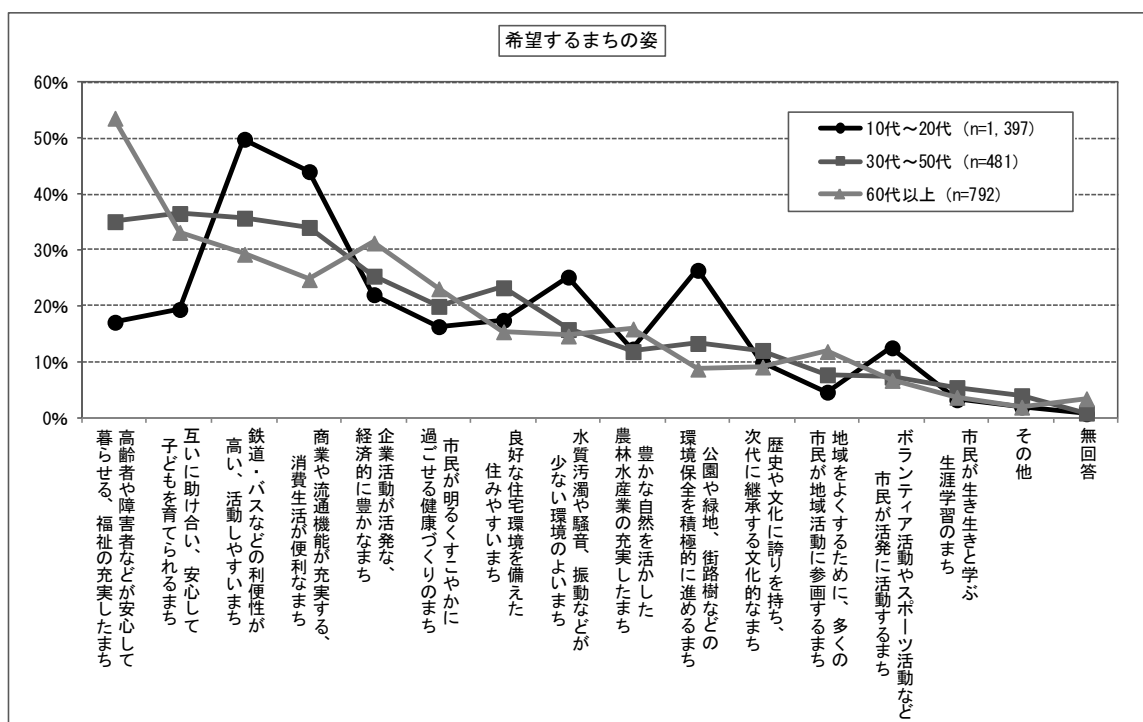
No. 3 総合計画の周知方法



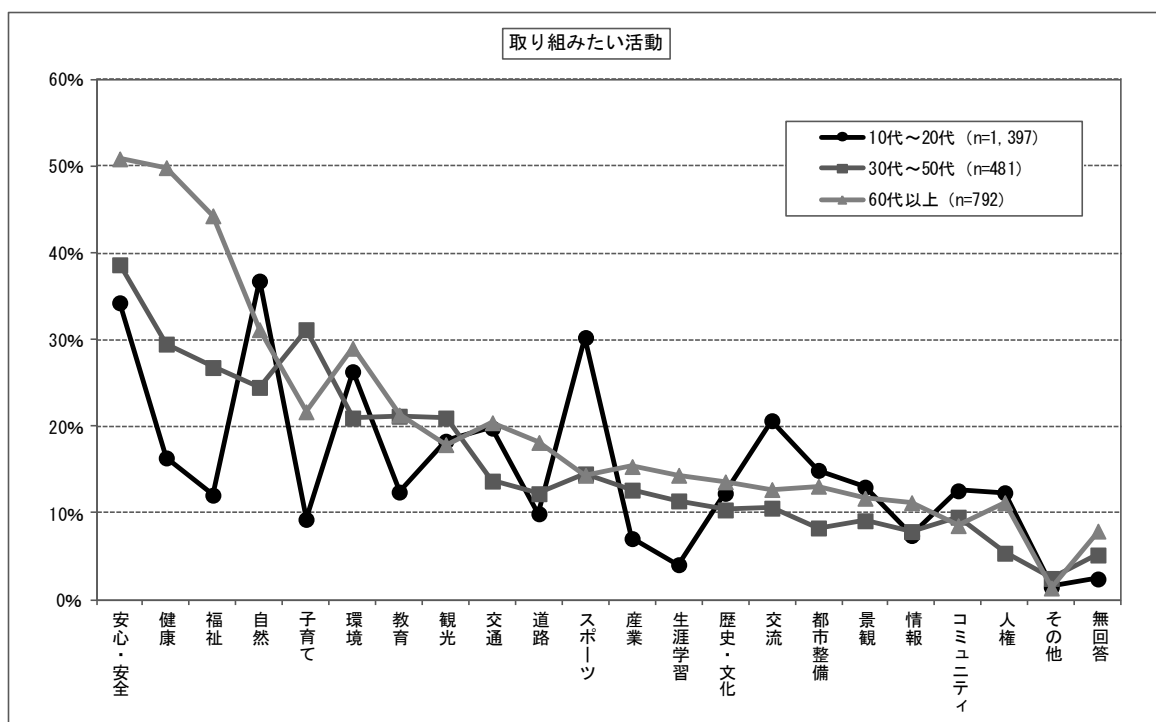
No.4 これからのまちづくりに期待する内容としてふさわしい言葉



No.5 希望するまちの姿

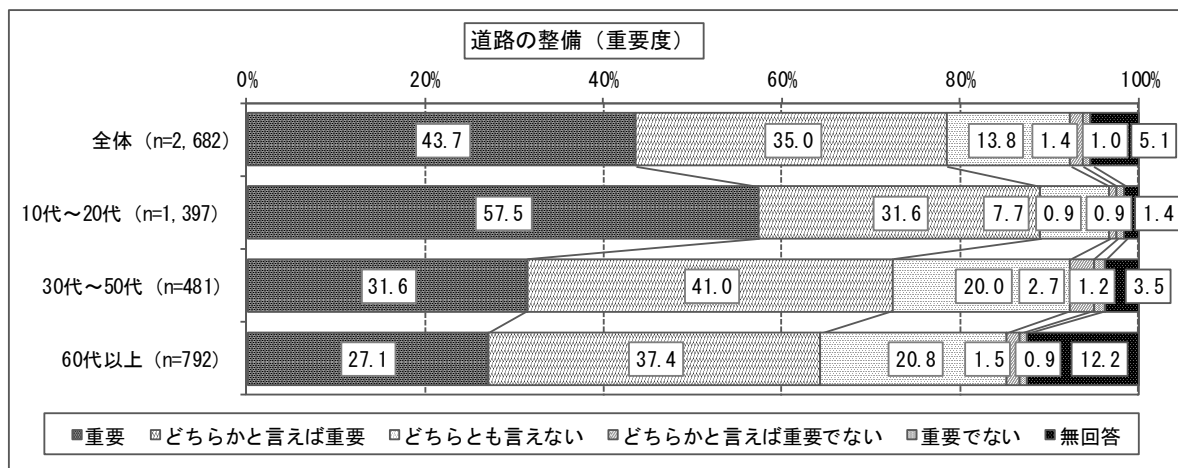
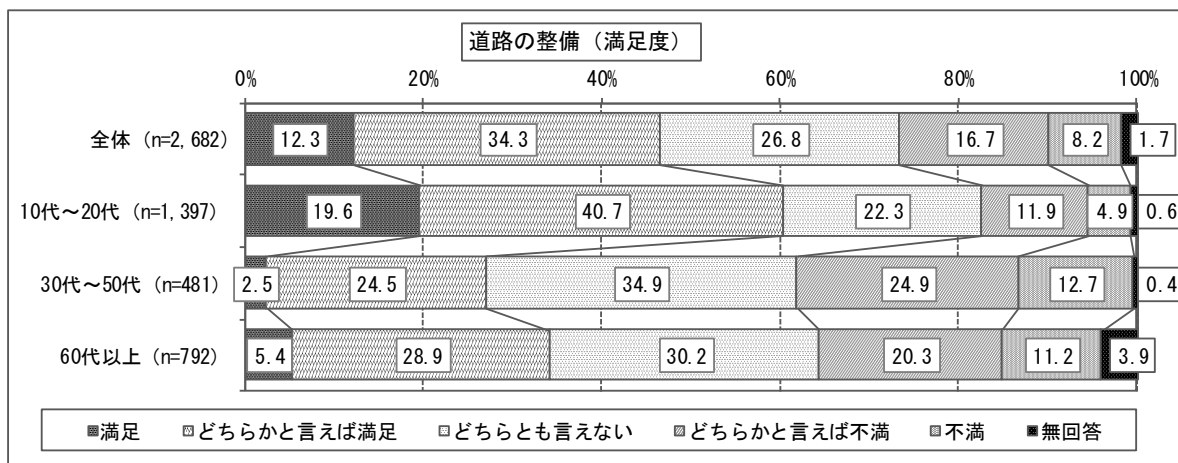


No. 6 取り組みたい活動

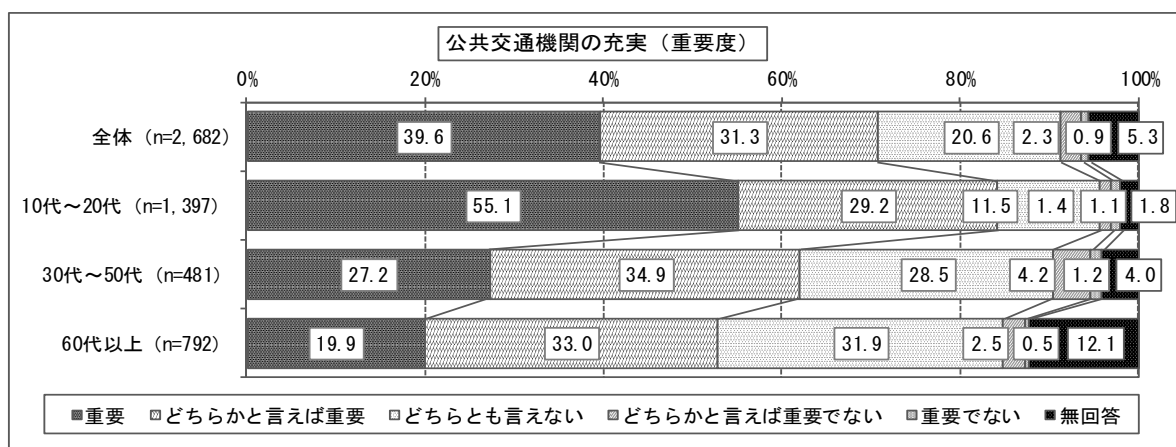
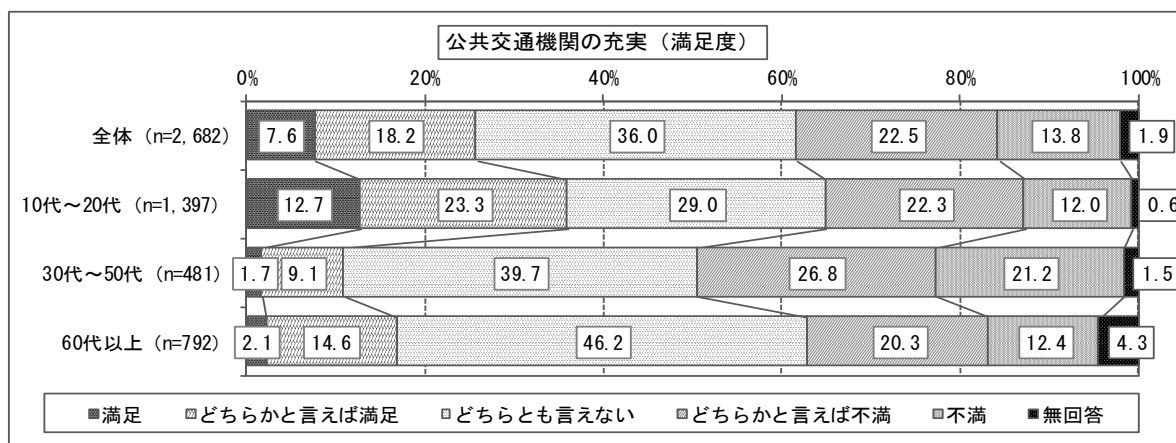


No. 7 身近な生活の満足度及び重要度

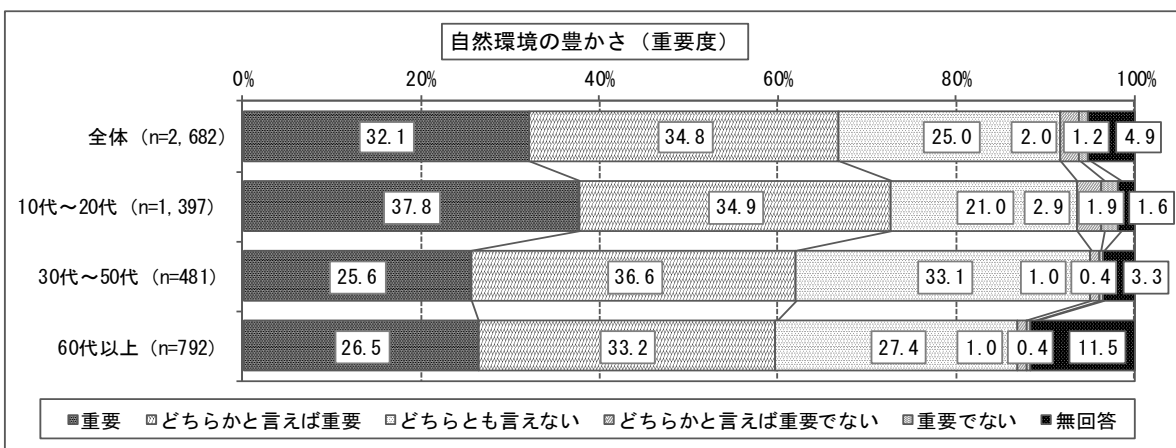
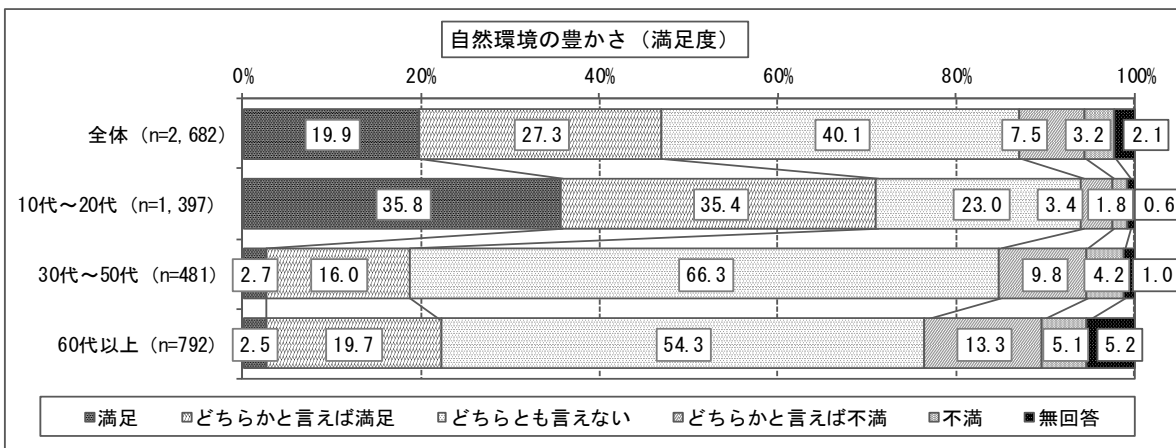
ア 道路の整備



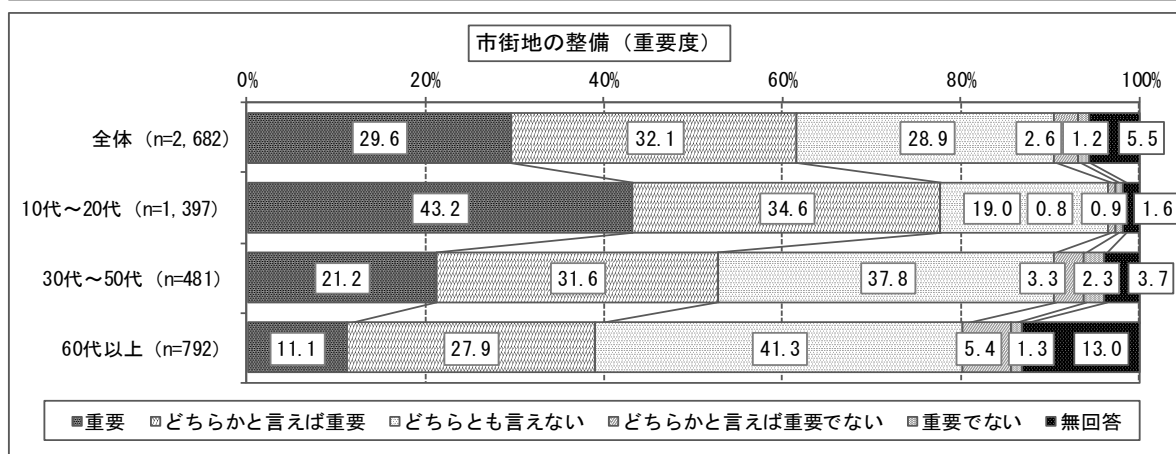
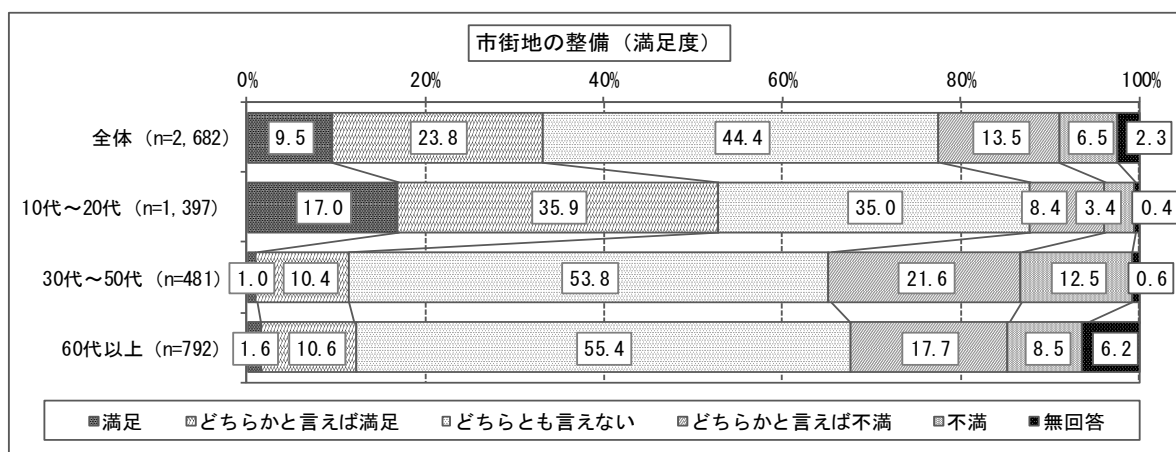
イ 公共交通機関の充実



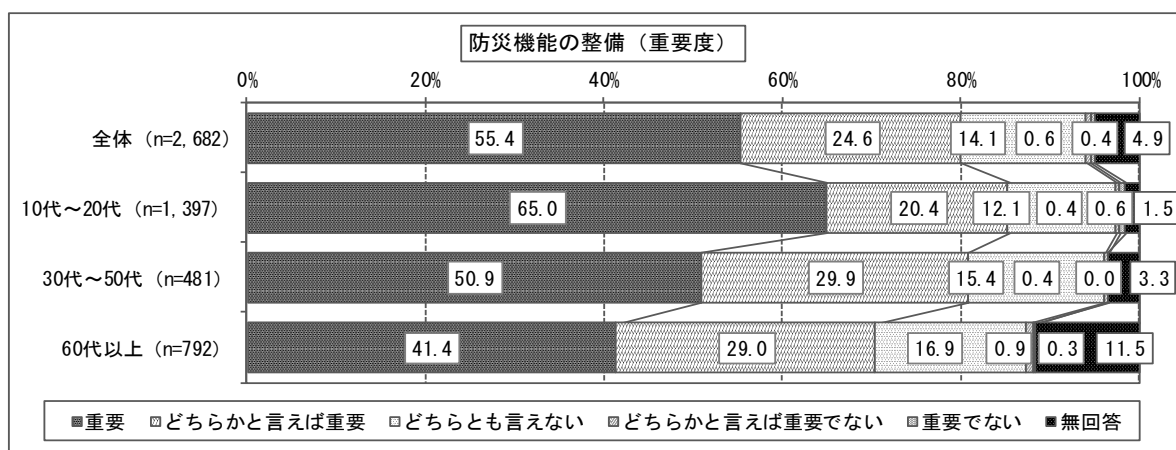
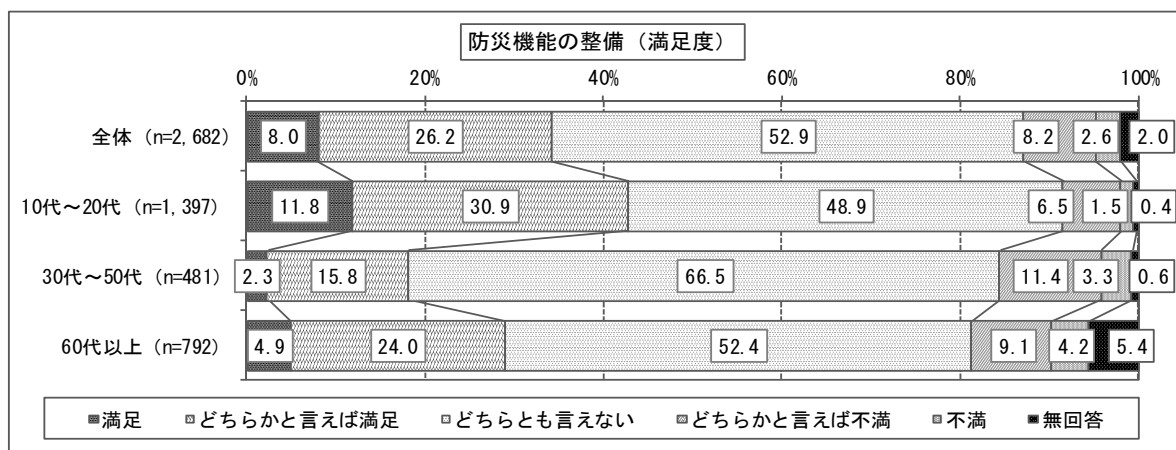
ウ 自然環境の豊かさ



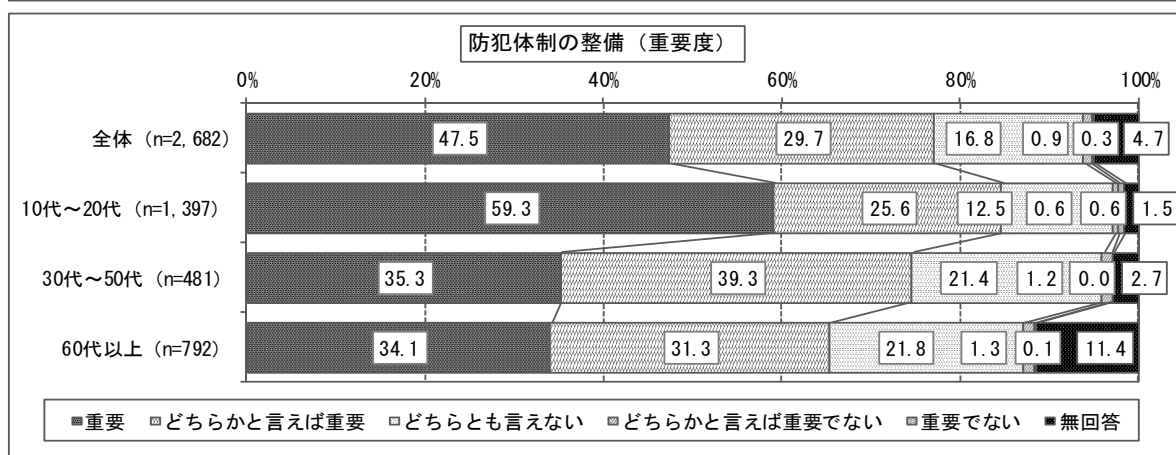
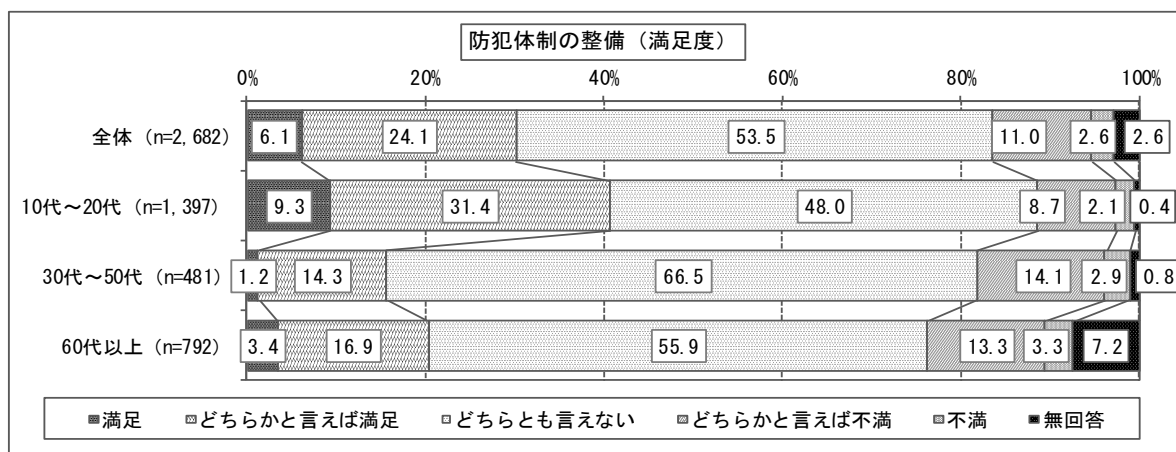
エ 市街地の整備



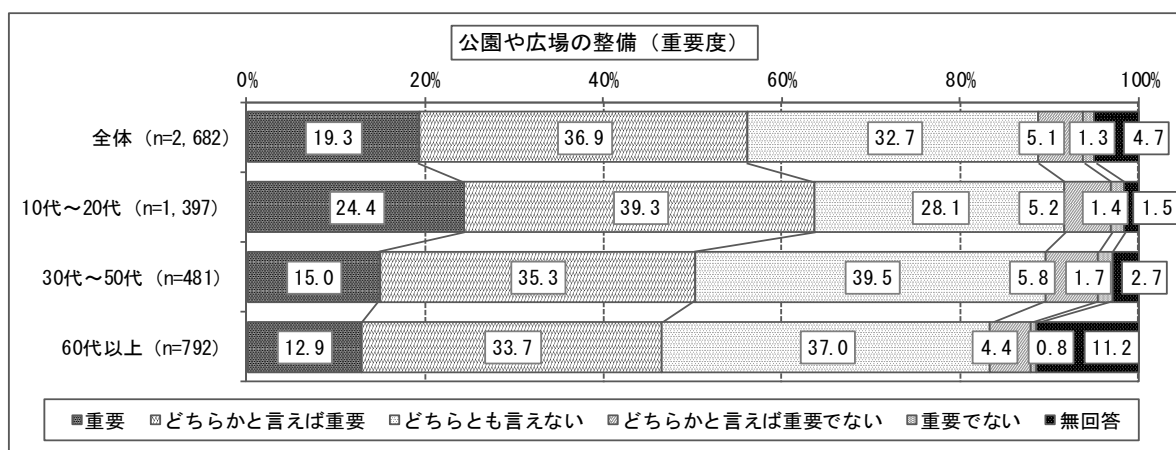
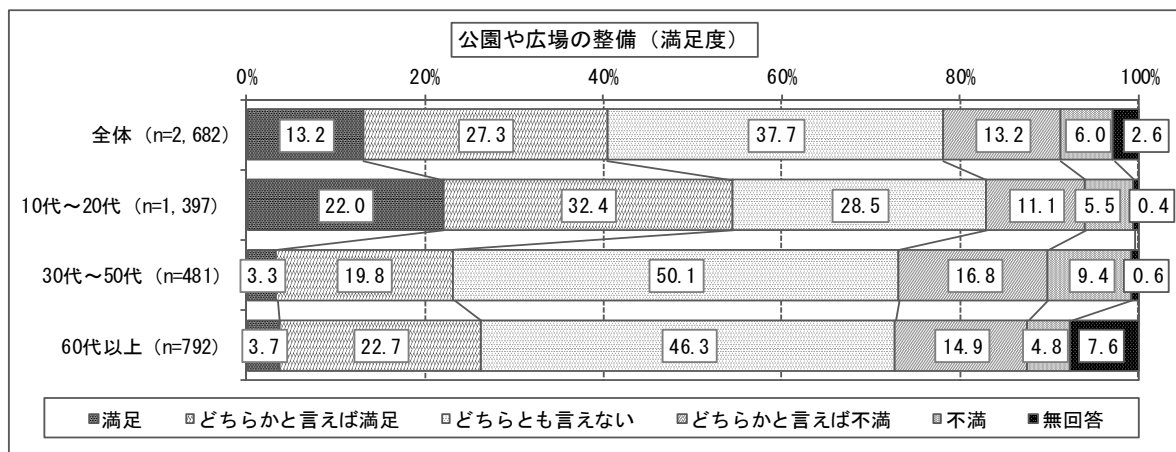
オ 防災機能の整備



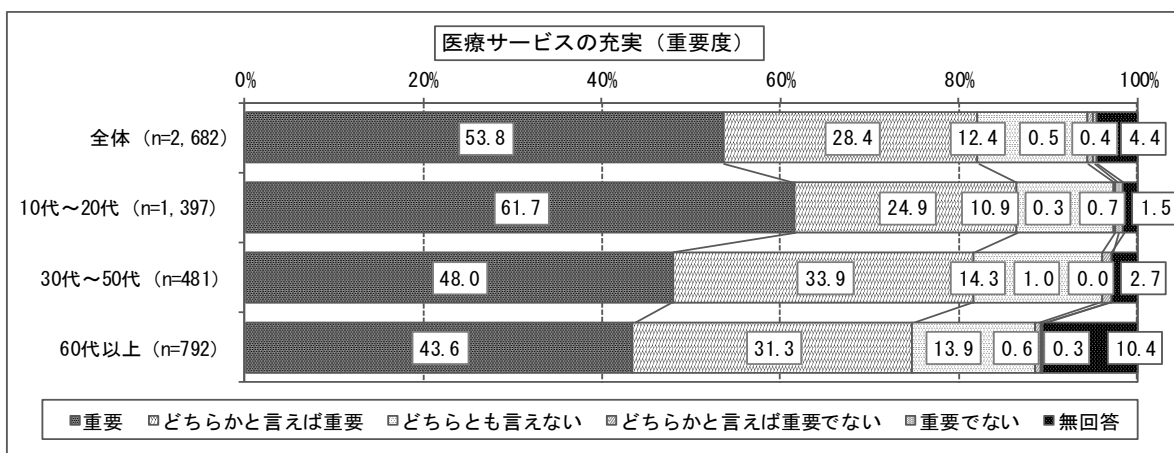
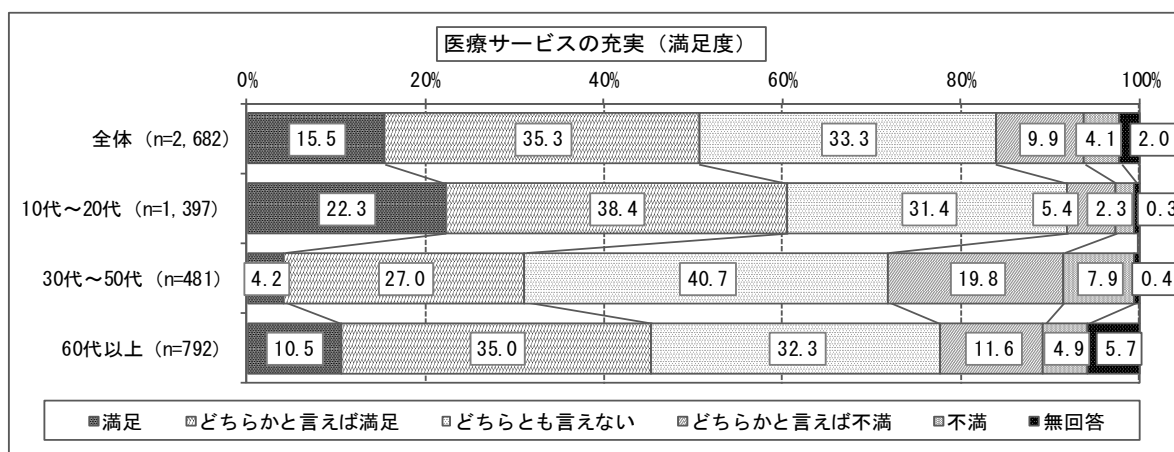
カ 防犯体制の整備



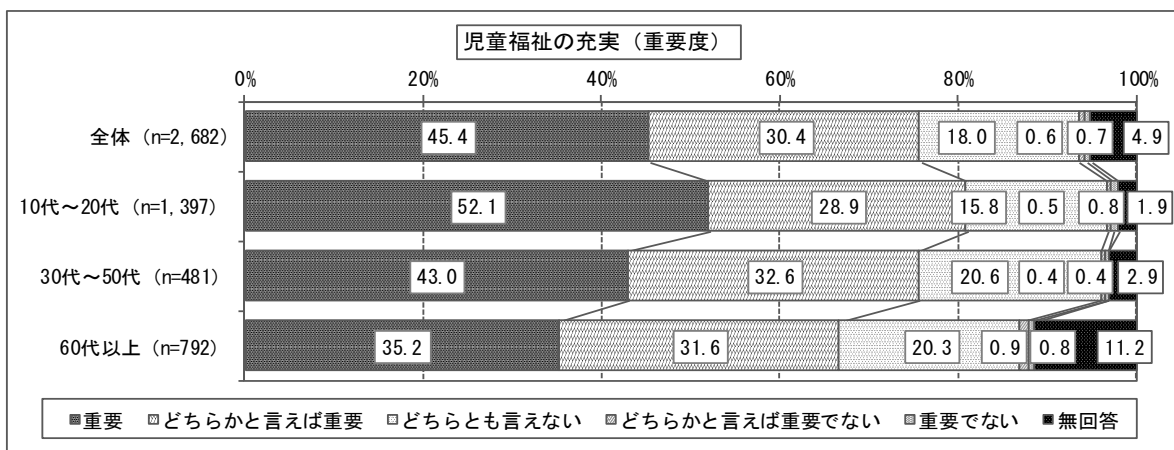
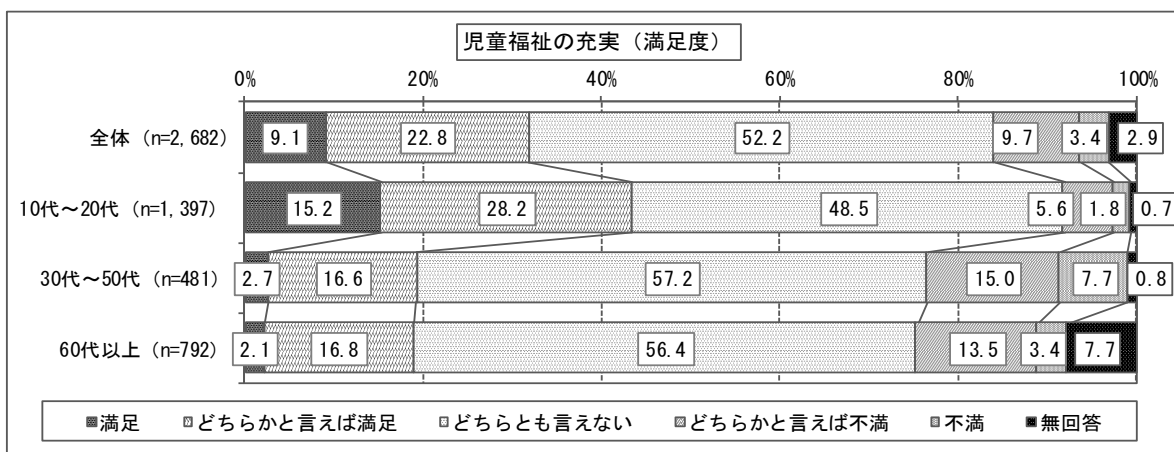
キ 公園や広場の整備



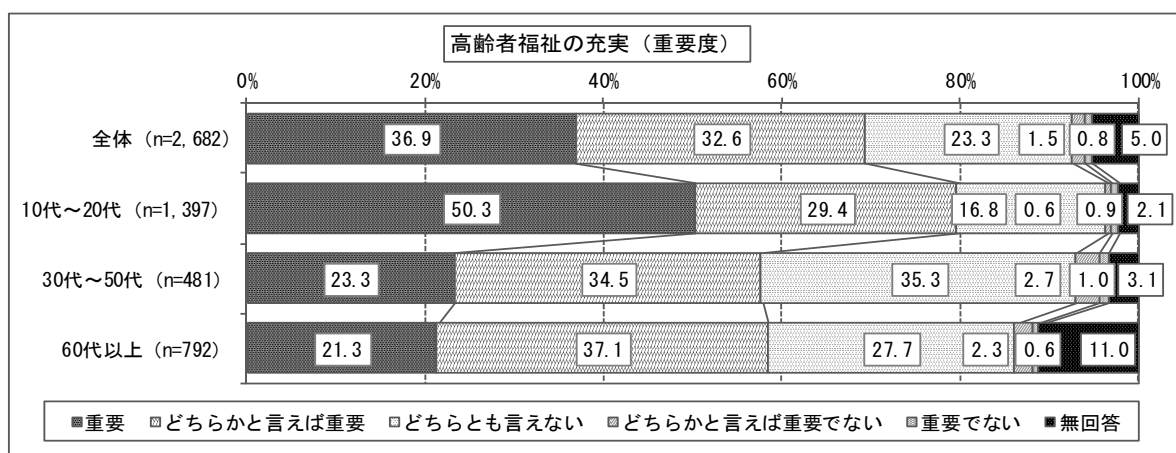
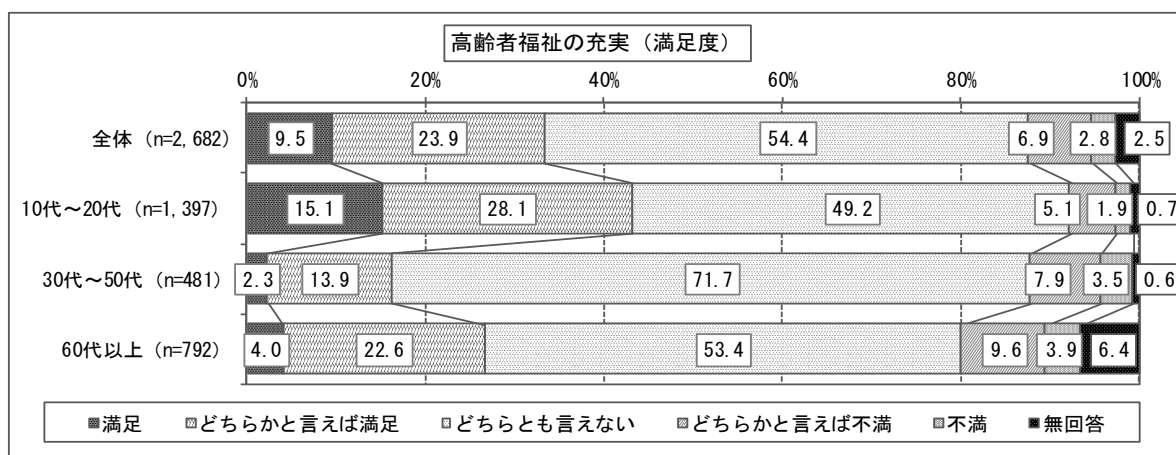
ク 医療サービスの充実



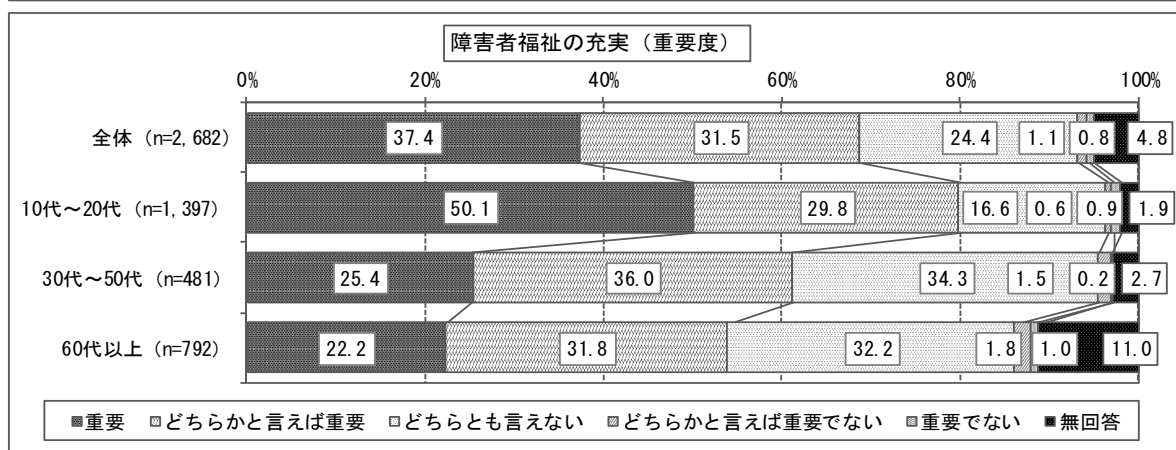
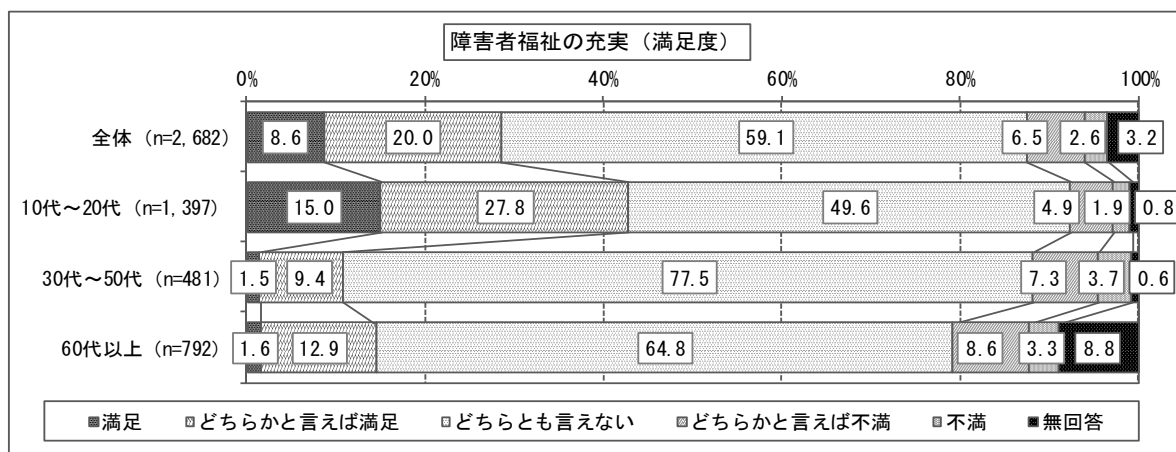
ケ 児童福祉の充実



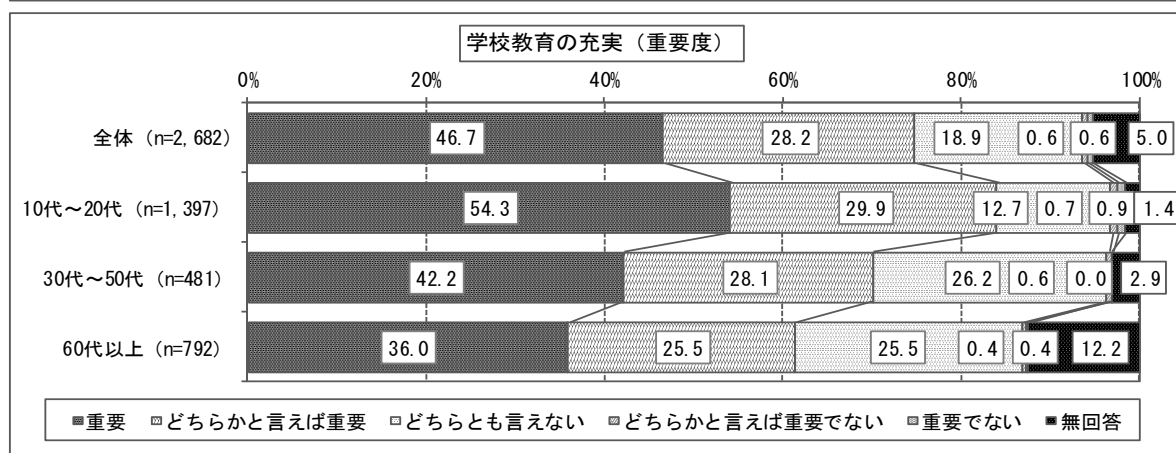
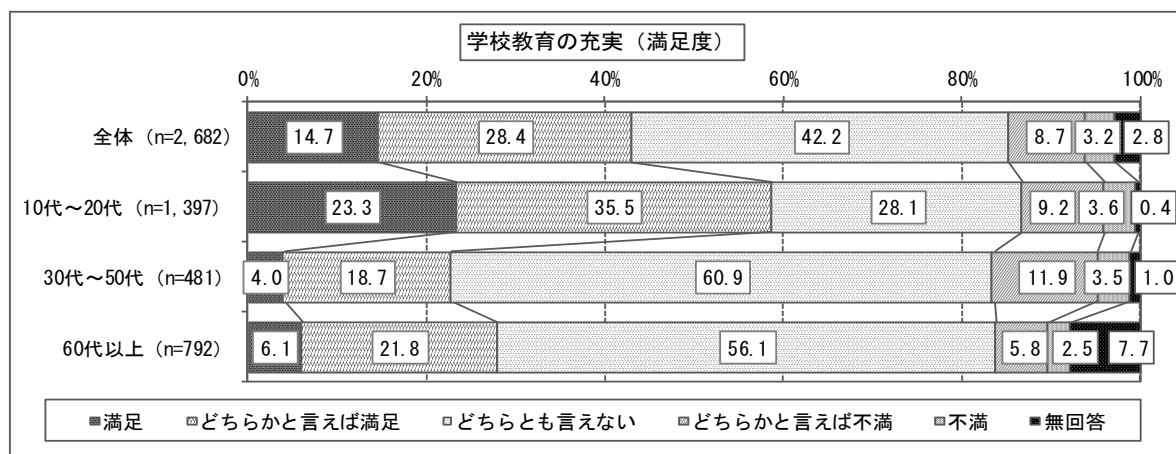
コ 高齢者福祉の充実



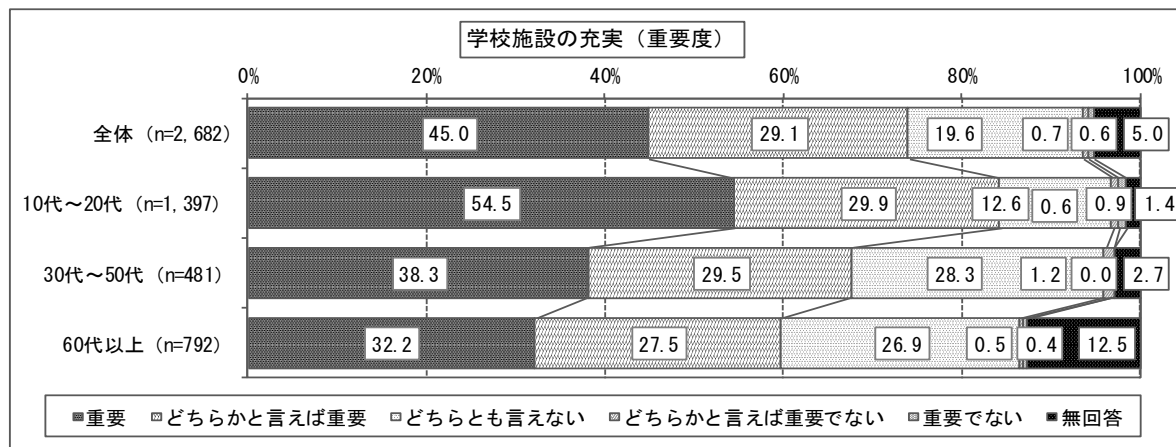
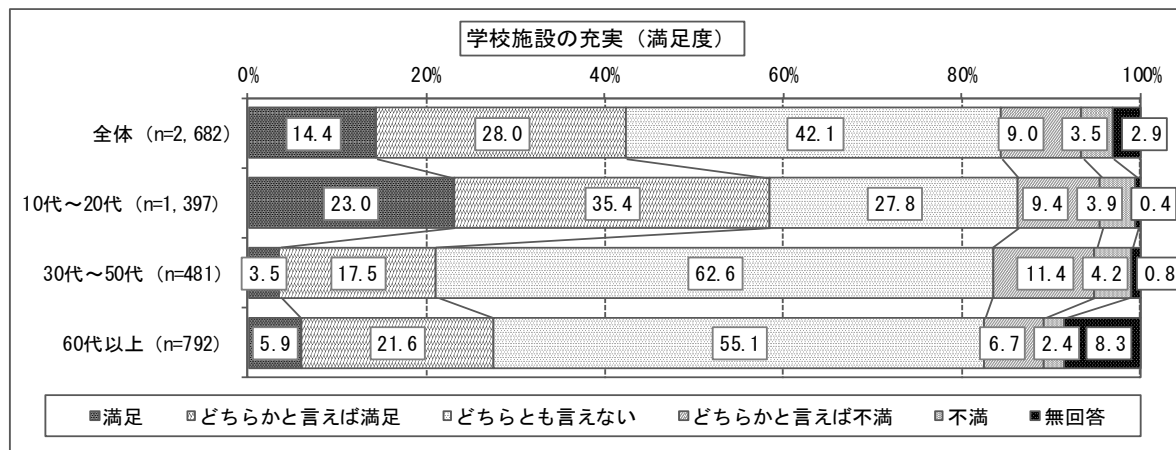
サ 障害者福祉の充実



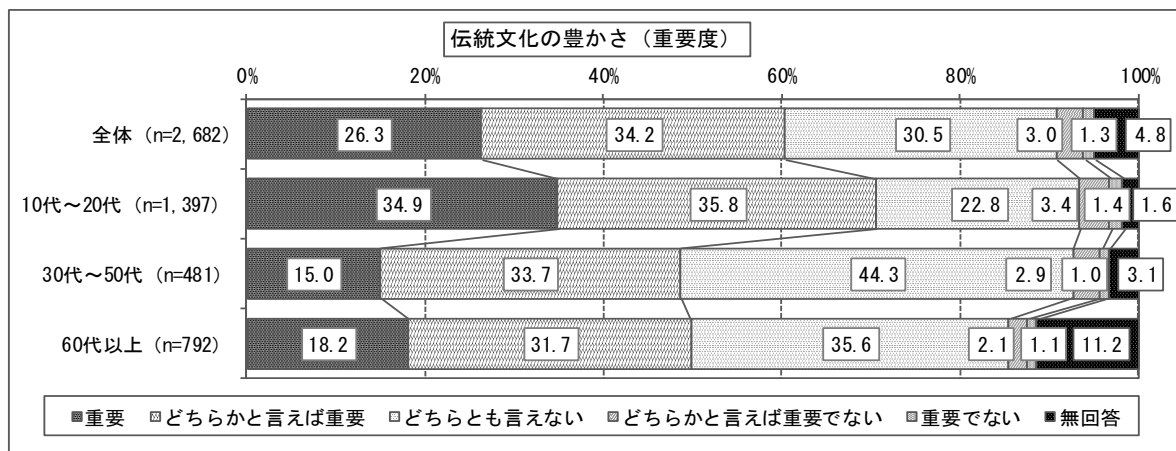
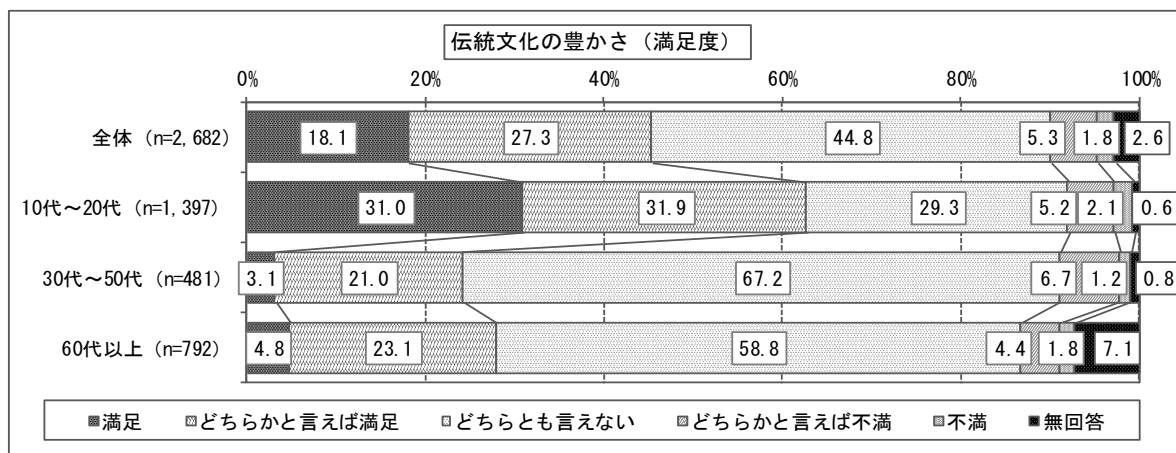
シ 学校教育の充実



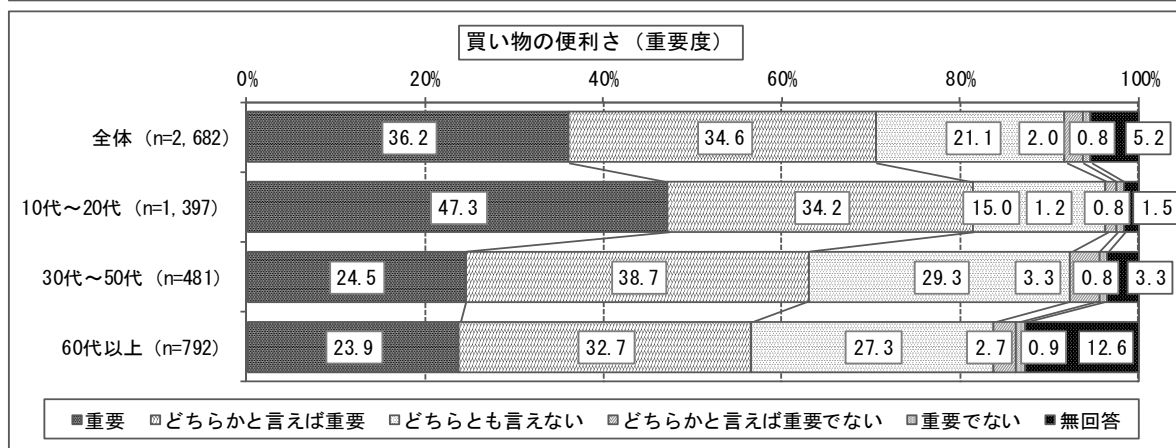
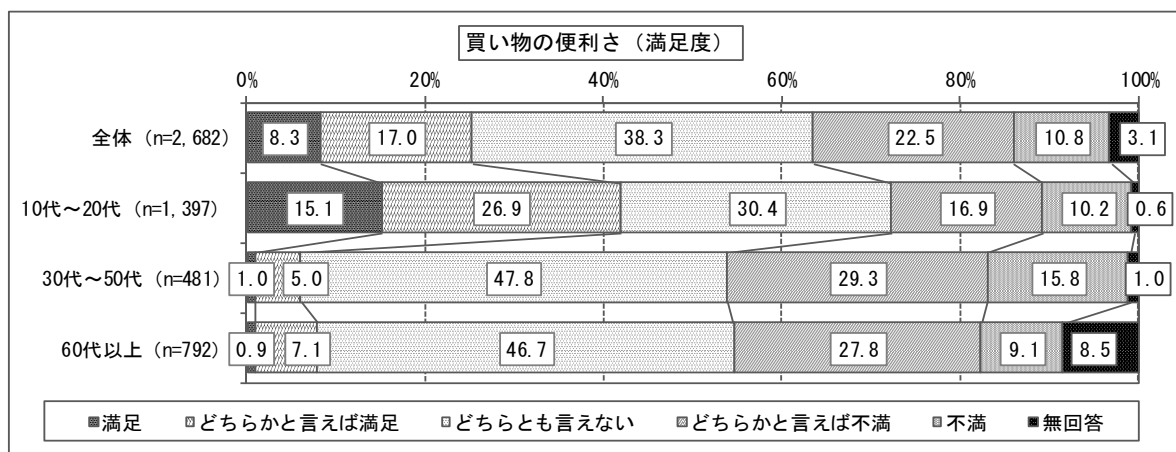
ス 学校施設の充実



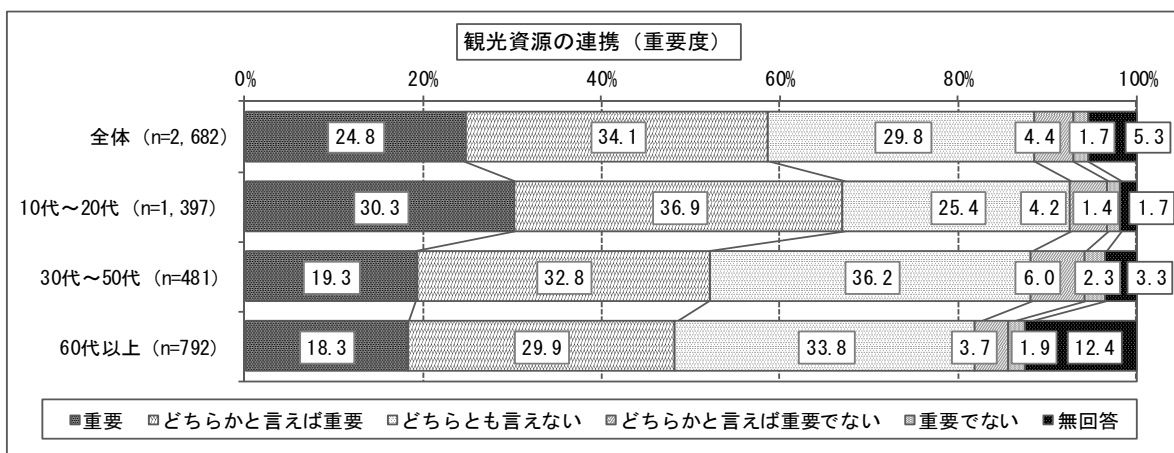
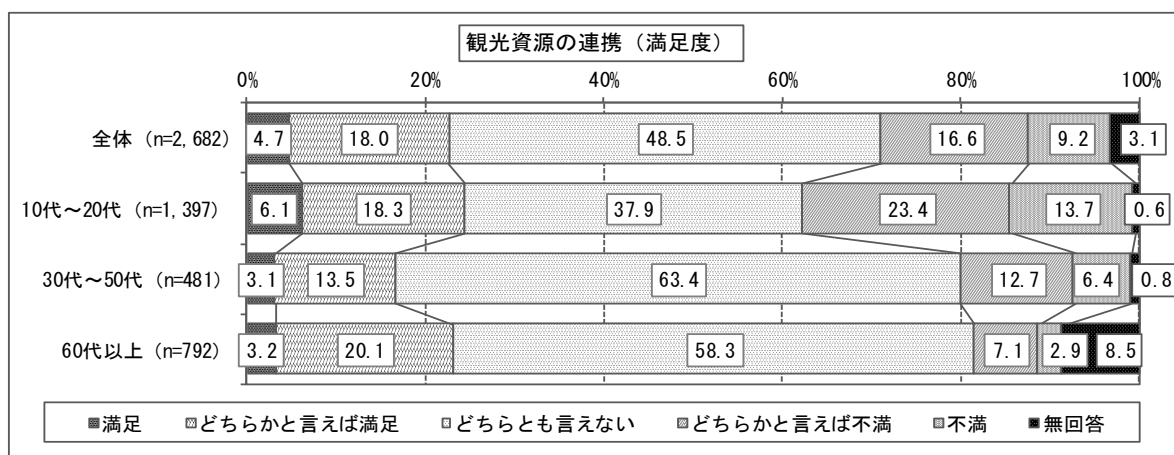
セ 伝統文化の豊かさ



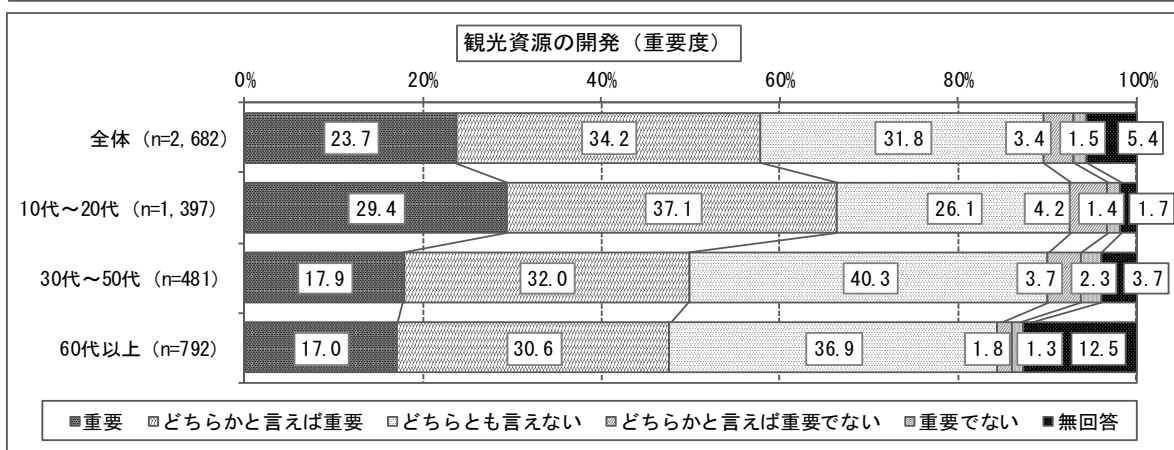
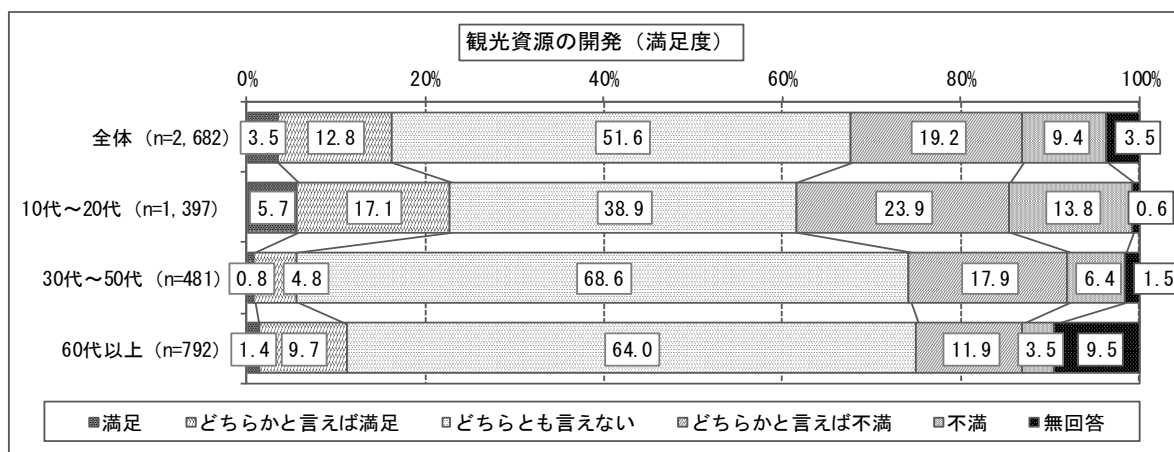
ソ 買い物の便利さ



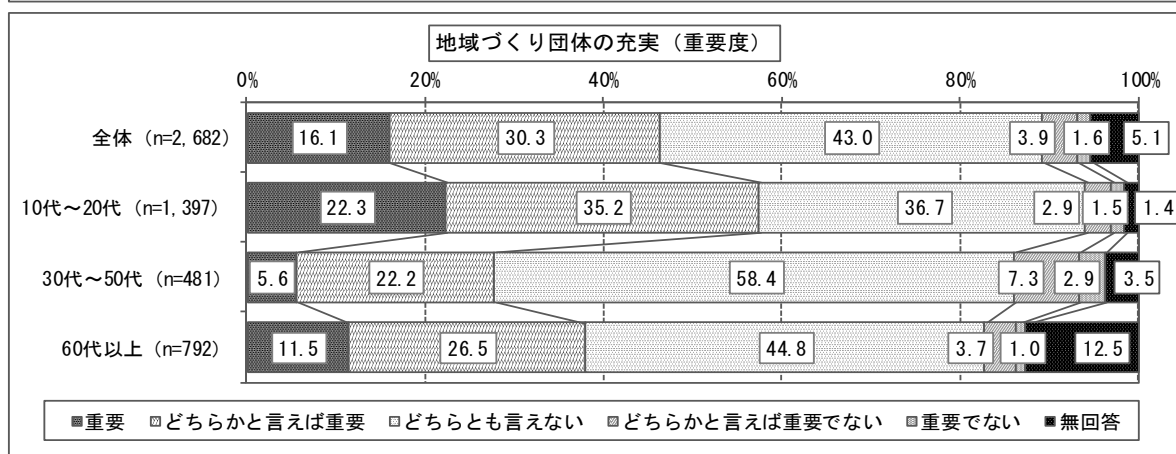
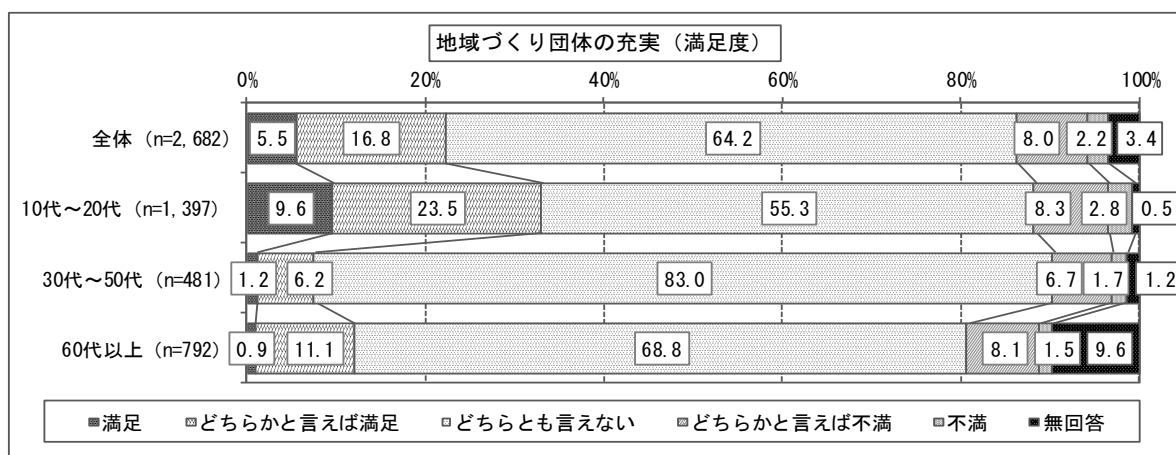
タ 観光資源の連携



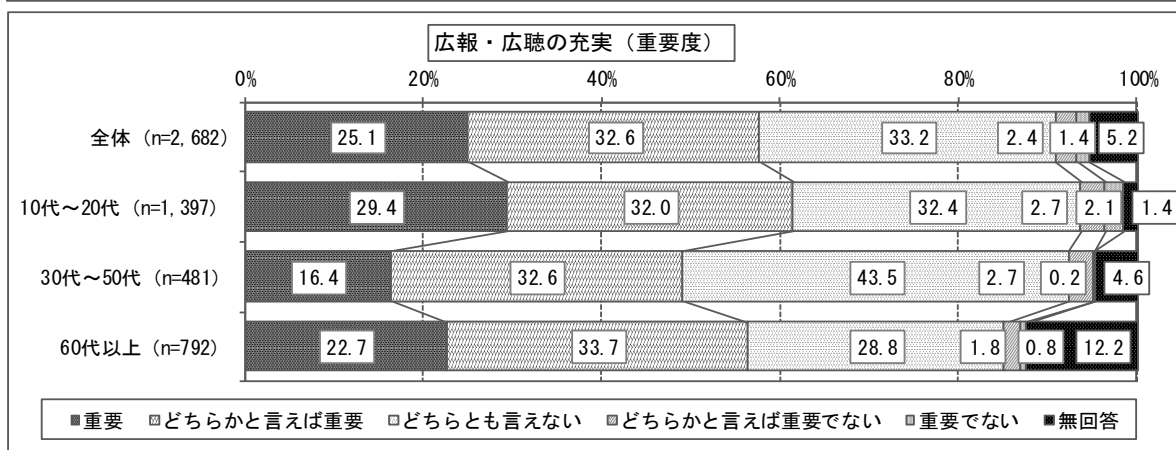
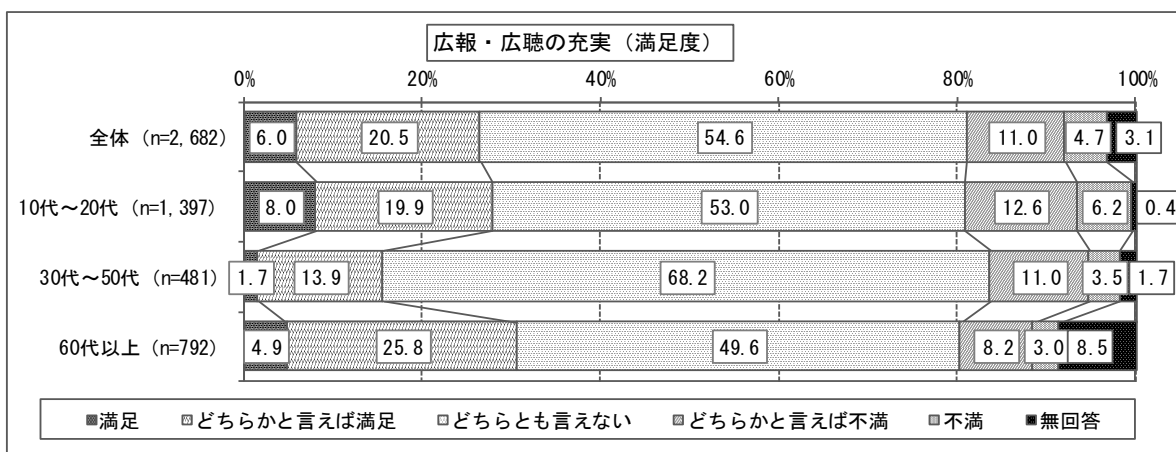
チ 観光資源の開発



ツ 地域づくり団体の充実



テ 広報・広聴の充実



第2次渋川市総合計画の策定に向けた 渋川市 市民アンケート調査 皆さまの声を新しいまちづくりに！

《市民アンケート調査ご協力をお願い》

本市の行政運営に対しましては、日頃より格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、平成19年度に「渋川市総合計画」を策定し、目標とする将来像「やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち」の実現に向けて行財政運営を進めています。

この間、本市を取り巻く社会経済環境は大きく変化し、時代に合った新たなまちづくりの指針が必要になっています。

このアンケートは、新たに「第2次渋川市総合計画」を策定するに当たり、これまでの取組を検証するとともに、これからのまちづくりにいかすため、市内在住の18歳以上の方の中から抽出した4,000人にお伺いするものです。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

平成28年6月

渋川市長 阿久津 貞司

ご記入に当たって

- 1 宛名のご本人がお答えください。
- 2 お答えは、質問ごとに「1つ選んで」や「2つまで選んで」など、それぞれ選び方が指定されていますので、ご注意ください。回答は番号を○（丸印）で囲むようにつけてください。
- 3 「その他」に当てはまる時には、その番号を○で囲むとともに、（ ）の中に具体的な内容を記入してください。
- 4 ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

平成28年7月8日（金）までにご投函ください。

- 5 回答は全て統計的に処理し、目的以外には使用することはありません。

（お問合せ先）

渋川市 企画部 企画課 政策係

電話：0279-22-2111（代表） FAX：0279-24-6541

E-mail：hp-kikaku@city.shibukawa.lg.jp

総合計画について（ご説明）

○総合計画とは

将来のまちづくりの方向を定め、それを実現するための手段などを示す、市の計画の中で最も上位に位置づけられる計画です。まちづくりを総合的かつ計画的に進めることを目的とし、まちづくりの長期的な展望を示します。

この計画に基づいて、市の様々なまちづくりに関する事業が進められます。

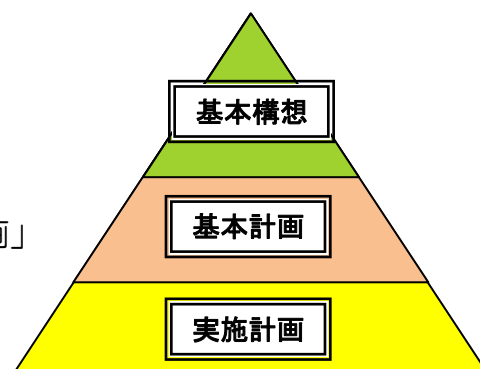
○計画期間

現在策定を進めている総合計画の計画期間は、平成30年度から平成39年度までの10年間です。

○計画の構成

総合計画は、次の3層により構成されています。

- ・市の将来像「やすらぎとふれあいに満ちた“ほっと”なまち」などを示す「基本構想」
- ・基本構想を実現するため方法を示す「基本計画」
- ・基本計画を具体化する事業を示す「実施計画」



○計画策定に係る市民参画スケジュール（予定）

平成28年	6月～7月	市民意識調査（市民アンケート調査）の実施
	9月	市民ワークショップ（ワールドカフェ）の開催
	10月	第1回 地区別・分野別懇談会の開催
平成29年度		第2回 地区別・分野別懇談会の開催
		市民意見公募（パブリックコメント）の実施
		第2次渋川市総合計画の完成

※総合計画の策定状況については、広報紙やホームページでお知らせします。

あなたご自身のことについてお伺いします。

【F1】あなたの性別はどちらですか。（1つ選んで○をつけてください。）

1. 男

2. 女

【F2】あなたの年代はどれですか。（1つ選んで○をつけてください。）

1. 10代

5. 50代

2. 20代

6. 60代

3. 30代

7. 70代以上

4. 40代

【F3】あなたの主なご職業はどれに当てはまりますか。（1つ選んで○をつけてください。）

1. 正社員・正職員

6. 家事専業

2. 派遣・嘱託・契約社員

7. 学生

3. パート・アルバイト

8. 無職

4. 自営業（農林水産関連）

9. その他（ ）

5. 自営業（商工関連）

【F4】あなたのお住まいはどちらですか。（1つ選んで○をつけてください。）

1. 渋川地区

4. 子持地区

2. 伊香保地区

5. 赤城地区

3. 小野上地区

6. 北橋地区

【F5】あなたが、渋川市にお住まいになっている年数をお答えください。なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。（1つ選んで○をつけてください。）

1. 3年未満

4. 10年以上20年未満

2. 3年以上5年未満

5. 20年以上30年未満

3. 5年以上10年未満

6. 30年以上

【F6】あなたの現在の家族構成はどれに当てはまりますか。（1つ選んで○をつけてください。）

1. 一人暮らし

4. 三世帯同居（親と子と孫）

2. 夫婦のみ

5. その他（ ）

3. 二世帯同居（親と子）

市政との関わりについてお伺いします。

〔 渋川市は、平成18年2月20日に1市1町4村（渋川市、伊香保町、小野上村、子持村、赤城村、北橋村）が合併し、誕生しました。 〕

【問1】あなたは合併後のまちづくりについて、どのように感じていますか。まちが整備され、生活が便利になったと感じるかどうかで判断してください。（1つ選んで○をつけてください。）

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. まちづくりが進んだ | 4. どちらかと言えば進んでいない |
| 2. どちらかと言えば進んだ | 5. まちづくりが進んでいない |
| 3. どちらとも言えない | |

【問2】あなたは合併後のさまざまな分野での市民サービスについてどのように感じていますか。（1つ選んで○をつけてください。）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 向上している | 4. どちらかと言えば向上していない |
| 2. どちらかと言えば向上している | 5. 向上していない |
| 3. どちらとも言えない | |

【問3】あなたは市内の他の地区とのつながりが深まったと感じられるようになりましたか。（1つ選んで○をつけてください。）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 感じられる | 4. どちらかと言えば感じられない |
| 2. どちらかと言えば感じられる | 5. 感じられない |
| 3. どちらとも言えない | |

【問4】あなたは、市政についてどの程度満足していますか。（1つ選んで○をつけてください。）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 満足している | 4. どちらかと言えば不満である |
| 2. どちらかと言えば満足している | 5. 不満である |
| 3. どちらとも言えない | |

【問5】あなたは、これからもずっと渋川市に住み続けたいと思いますか。それとも他のところへ移りたいと思いますか。（1つ選んで○をつけてください。）

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. 住み続けたい | 3. 市外に移りたい |
| 2. 一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい | 4. わからない |

総合計画についてお伺いします。

【問6】あなたは渋川市の総合計画を知っていますか。(1つ選んで○をつけてください。)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 計画書を見たことがある | 3. 知らない→問8へ |
| 2. 名称は知っている | |

【問7】前問【問6】で1、2を選んだ方にお聞きします。総合計画をどこで知りましたか。(該当するものすべてに○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 広報しぶかわ | 4. 知人から聞いた |
| 2. 市のホームページ | 5. その他 () |
| 3. 市の施設 | |

【問8】市民の皆さんに総合計画を身近に感じていただくためには、どのようにお知らせすればよいと思いますか。(該当するものすべてに○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 広報しぶかわ | 5. 公共施設への冊子の常備 |
| 2. 市のホームページ | 6. 出前講座などの開催 |
| 3. SNS※への掲載 | 7. その他 () |
| 4. 冊子の配布 | |

※SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略)

インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと。
フェイスブックやツイッターなど。

市の現状の評価についてお伺いします。

【問9】あなたは市の取組について、どのように感じていますか。また、これからのまちづくりに、どのような取組が重要になると思いますか。

（次の1～48までの項目それぞれについて、「満足度」欄および「重要度」欄の5段階評価の中から、1つずつ選んで番号に○をつけてください。）

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかとも言えない	重要でない
(例)	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1	国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	生活に身近な道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の確立	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	良好な市街地の形成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	自然エネルギーの導入や環境対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	森林、河川などの豊かな自然を守る取組	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	河川の清掃などによる環境愛護活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	自然景観や歴史的景観などを守る活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	いつでも安全に利用できる安定した水の供給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	公共下水道整備や水洗化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	災害や火災から生活を守る消防力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	災害などの発生に備える防災機能の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	交通安全対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかとも言えない	重要でない
15	移住・定住環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16	市街地のバリアフリー化の促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17	安心して暮らせる防犯体制の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18	市民の消費生活の安定と向上を図るための活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19	身近な公園などの整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20	すこやかな生活のための健康づくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21	市民が安心して受診できる医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22	社会的困窮者が自立できるための地域福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23	安心して子どもを産み育てられる環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24	高齢者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25	障害者の社会参加、生きがいづくりなどの機会の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26	介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28	幼稚園、小・中学校の教育の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	幼稚園、小・中学校の施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	学校、家庭、地域が連携した青少年の健全育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31	誰もがいつでも学ぶことができる生涯学習の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	主な取組	満足度					重要度				
		満足	どちらかと言えば満足	どちらとも言えない	どちらかと言えば不満	不満	重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
32	地域に残る文化財の保護、伝統の継承	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33	生涯スポーツ、競技スポーツの振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	豊かな自然を活かした農林業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	創業・活性化支援による工業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	商店街の活性化と商業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
37	伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
38	地域資源の活用による新たな観光資源の開発	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
39	雇用の充実や職場環境の改善などの勤労者対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
40	地域づくり団体などの活動基盤の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
41	国内外の交流都市との交流連携の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
42	あらゆる分野での男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
43	人権意識の向上と平和な社会の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
44	市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
45	公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
46	情報通信技術の活用などによる情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
47	無駄のないスリムな行財政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
48	周辺自治体との連携による業務の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

市の将来像や、市民によるまちづくりについてお伺いします。

【問 10】 これからのまちづくりに期待する内容として、どのような言葉がふさわしいと思いますか。

(3つまで選んで○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。)

1. 自然	7. スポーツ	13. 景観	19. 安心・安全
2. 健康	8. 観光	14. 交流	20. 都市整備
3. 歴史・文化	9. コミュニティ	15. 生涯学習	21. その他
4. 子育て	10. 環境	16. 人権	〔 〕
5. 教育	11. 情報	17. 産業	
6. 道路	12. 交通	18. 福祉	

【問 11】 あなたは渋川市がどのようなまちになってほしいと思いますか。

(3つまで選んで○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。)

1. 企業活動が活発な、経済的に豊かなまち
2. 商業や流通機能が充実する、消費生活が便利なまち
3. 豊かな自然を活かした農林水産業の充実したまち
4. 鉄道・バスなどの利便性が高い、活動しやすいまち
5. 良好な住宅環境を備えた住みやすいまち
6. 互いに助け合い、安心して子どもを育てられるまち
7. 公園や緑地、街路樹などの環境保全を積極的に進めるまち
8. 水質汚濁や騒音、振動などが少ない環境のよいまち
9. 歴史や文化に誇りを持ち、次代に継承する文化的なまち
10. 市民が生き生きと学ぶ生涯学習のまち
11. 地域をよくするために、多くの市民が地域活動に参画するまち
12. 市民が明るくすこやかに過ごせる健康づくりのまち
13. 高齢者や障害者などが安心して暮らせる、福祉の充実したまち
14. ボランティア活動やスポーツ活動など市民が活発に活動するまち
15. その他 ()

【問 12】 渋川市をよくするために、あなたはどのような活動に取り組みたいですか。
 (該当するものすべてに○をつけてください。選択肢以外にありましたら、「その他」にご記入ください。)

1. 自然	7. スポーツ	13. 景観	19. 安心・安全
2. 健康	8. 観光	14. 交流	20. 都市整備
3. 歴史・文化	9. コミュニティ	15. 生涯学習	21. その他
4. 子育て	10. 環境	16. 人権	〔 〕
5. 教育	11. 情報	17. 産業	
6. 道路	12. 交通	18. 福祉	

【問 13】 あなたが渋川市の市長になったとしたら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。(ご自由にお書きください。)

ご協力ありがとうございました。
 平成28年7月8日（金）までにご投函ください。